

2022年1月1日



月刊 もぐら通信

2025年1月1日 第151号 初版

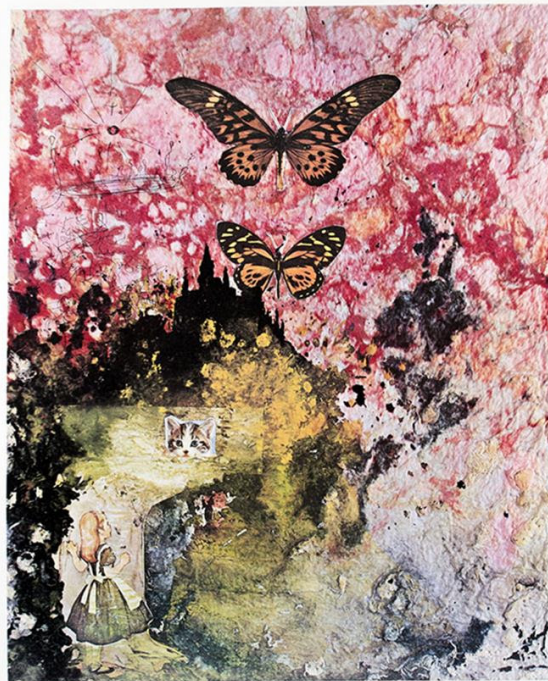
<http://abekobosplace.blogspot.jp>

あなたへ:
迷う事のない迷路を通して
あなただけの番地に届きます

電話
042-ABE-KOBO

FAX
042-KOBO-ABE

弱者への愛には、いつも殺意がこめられてゐる



Alice in Wonderland by S.. Dali



目次

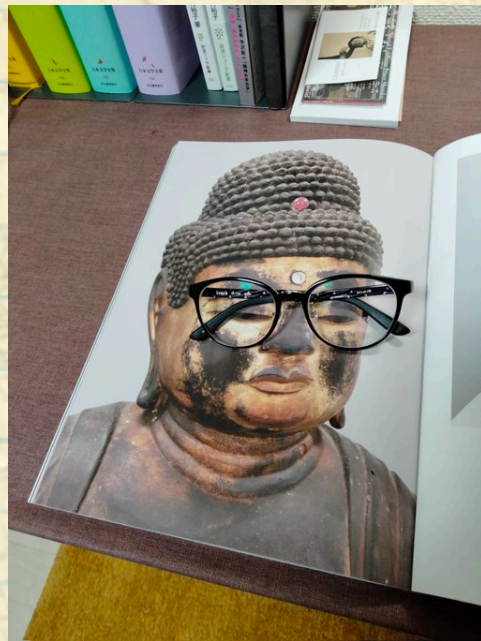
- 1 目次...page 2
- 2 記録&ニュース&掲示板page 3
- 3 巻頭詩（35）：孤独より 其の七：安部公房.....page 3 4
- 4 『都市への回路』論（6）：（4）「試験管ベビー」として生まれた副院長の秘書の女：岩田英哉.....page 3 5
- 5 SF作家荒巻義雄氏との賀状のやりとり：岩田英哉.....page 4 5
- 6 『文章読本』論（11）：井上ひさし（2）：岩田英哉.....page 4 9
- 7 第一回オンライン安部公房読書会報告：編集部.....page 5 0
- 8 私の本棚（39）：西村幸祐/ロバート・D・エルドリッチ共著『中国侵攻で機能不全に陥る日米安保』を読む：岩田英哉.....page 7 2
- 9 日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（4）：（4）新ゲーム・ルール2.1（中華帝国向け）個別論：岩田英哉.....page 7 6
- 10 糞尿と性愛の文学~生殖器・排泄器同一社会論仮説~（3）：1。古事記の中の糞尿と性愛/1.1 神武初代天皇の皇后（きさき）の出生譚（2）：待て次号：岩田英哉...page
- 11 ネット・モナド論（23）：グレートリセットとは何か？：マイケル・レクテンウォルド博士；和訳：岩田英哉...page 8 9
- 12 縄文紀元論：Topologyで日本人を読み解く（31）：5.25 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲/5.26 日高見国と播磨国の関係：ダイダラボッチの共有：岩田英哉...page 1 1 0
- 13 Topologyで日本の文化を解説する：内なる辺境シリーズ（12）：扇：岩田英哉... page
- 14 編集後記...page 1 1 2
- 15 編集方針.....page 1 1 3



The best tweets of the month

Golden Mole
Prize

三柴ゆよし/蛙坂須美@Mishiba_Y·Jan 6
安部公房じゃん！



Silver Mole
Prize

Quote Tweet
yomi@yomi27145381· Jan 4
(読みかけの図録の上に眼鏡を置いたらなかなか似合っていたので)
Show this thread

夢見りあむ VS. ○○○@RiamuYumemi_VS·Jan 9
夢見りあむ VS. 安部公房の「無関係な死・時の崖」
#対決夢見りあむ



みちみち@kankinokaeru·Dec 28, 2021
そういえば、古の昔、渋谷区ふれあい植物センターには
鯰がおった。勝手に「安部公房」っていう名前を付けて呼んでいた。

ゆるや@YURUYA_furufuru·Jan 8
【謎】安部公房が爆売れする現象。
最初に置いてあった数から半分くらいに
なっていました。



王谷晶『ババヤガの夜』10月23日発売@tori7810・Nov 23, 2021

ロランバルトや安部公房は読めるのに役所の書類が読めないのなんで????

ふしぎ過ぎる ふしぎで済まないのだが... (ふべん.....

なる@n_4xX_Jan 5

僕ちんの誕生日安部公房の一緒と知った今日。かなり嬉しい

しおみ@hamanakaouji-8h

昔から思ってるんだけど、まだ世の中の仕組みもよくわかってない小学生が筒井康隆とか安部公房とか読むと普通に世界の仕組みを勘違いした子供になるからよくないと思う.....

ゆにに@yuniyuni__1122・Jan 7

安部公房の恋の表現へのときめきが忘れられない。今まで見たことなかったのに完全に私好みの表現だった。

ozaki@r_ozk・Jan 8

安部公房全作品(全15集)持ってるのに結局全然読んでない。

the worst tweet of the month

hなhな@固ツイ新規絵@AqNdloErMZTBENq・Jan 8

テスト勉強ってテストの後まるっきり忘れるって言うじゃん? 私何故か世界史の内容はまるっきり頭に入ってるんよ。他のは綺麗さっぱり忘れてる。安部公房の有名な作品もう忘れたもん

今月のスパイダーマン

Cherry blossom@Coven1009-8h

MCU『スパイダーマン』シリーズの中でMJが読んでる本が興味深い。

ドストエフスキーの『未成年』

ヘンリー・ジェームズの『鳩の翼』

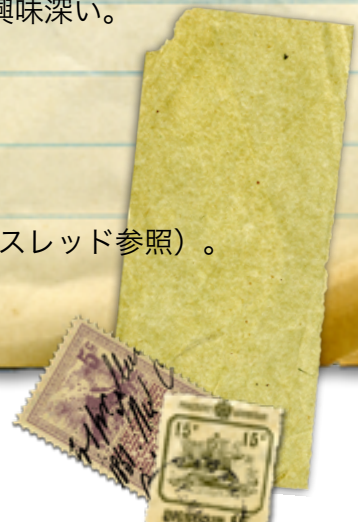
安部公房の『砂の女』

サマセット・モームの『人間の絆』

マヤ・アンジェロウの『歌え、翔べない鳥たちよ』 etc... (スレッド参照)。

2022年の課題図書にしよう

Quote Tweet





cloud PETER GET BEHIND ME
@CANTHAVELUV · Dec 23, 2021
after much digging i proudly present
the books mj has read in the mcu: a thread
Show this thread

今月のSF作家たち

tatsuya@tatsuya1682 · Jan 5

『暴走する正義 巨匠たちの想像力〔管理社会〕』（ちくま文庫）読了。筒井康隆「公共伏魔殿」、星新一「処刑」、小松左京「戦争はなかった」、水木しげる「こどもの国」、**安部公房**「**闖入者**」、式貴士「カンタン刑」、半村良「錯覚屋繁盛記」、山野浩一「革命狂死曲」、光瀬龍「市二二二〇年」収録。

今月のSF思考

高野敦志@lebleudeciel38 · Jan 8

S F 的思考 (pdf) <http://takanoatsushi.seesaa.net/article/485121925.html>...

@lebleudeciel38

より #SF #ジュール・ヴェルヌ #スタニスワフ・レム #安部公房

今月の鞆

垂水 隆幸@taru_takayuki · Jan 8

安部公房の短編小説『鞆』は深い。

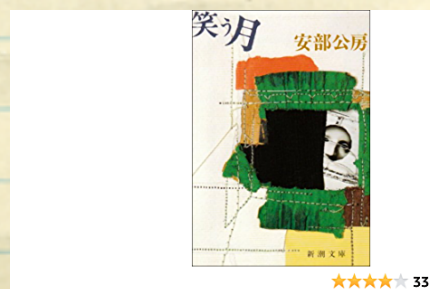
「選ぶ道がなければ、迷うこともない。私は嫌になるほど自由だった。」

この小説は人生航路を自律的に選択する人間と、人生航路を”道”に委ねる人間とを巧みに対比した作品だと思う。受動意識仮説と重ねて読むととても興味深いだろう。

今月の赤い繻

ひみたい@himitai_nayatsu · 3h

安部公房『赤い真佑♡』



今月の西武パルコ劇場

鹿島 将介 / NOBUUSUKE KASHIMA @shikanobu · Jan 8

いまの渋谷パルコが良い感じにキッチュに仕上がってるあたり、パルコ劇場の虚空に彷徨う安部公房の魂もニヤニヤしてると思うんだよね。いまさら山口果林が何を書こうと、愛の眼鏡は色ガラス。

海軍工廠の廃材置き場 (見る用) @

miruyou_kure · Jan 6

なんか安部公房の赤い繭思い出した

Quote Tweet

犬のかがやき @inunokagayaki · Jan 6



houzou1947@houzou1947 · Jan 4

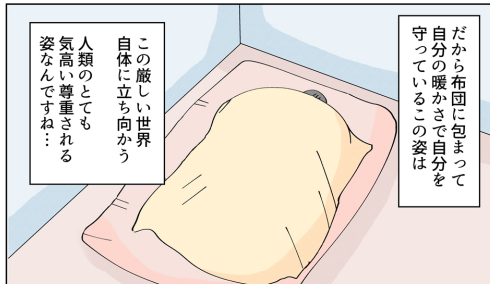
(覧古考新：3) 現実と仮想 「ニューロマンサー」

仮想空間に没入、見失う他者

ニューロマンサーが今のメタバースを描いているというなら、

中国SFの劉慈欣「三体」で出てくるゲームの仮想空間はどうだろう。

また安部公房の短編「赤い繭」は？ 前者は政治思想状況のVR→



今月の表紙

文學界@Bungakukai・Jan 1

明けましておめでとうございます。2022年もどうぞよろしくお願ひいたします。1月7日発売の文學界2月号は柳美里さん、円城塔さん、辻田真佐憲さんの新連載、特集「AIと文学の未来」など盛り沢山。表紙の作家は安部公房です。文學界(2022年2月号)(特集「AIと文学の未来」)

大江信@oemakotoqq・Jan 7

なんてことだ。表紙、安部公房じゃないか！ 何故このタイミングで？ 意味がある？ 驚いた。買わないといけな。驚きましたが。はあ。気を落ち着けよう。

村@kyositsudance・Jan 9

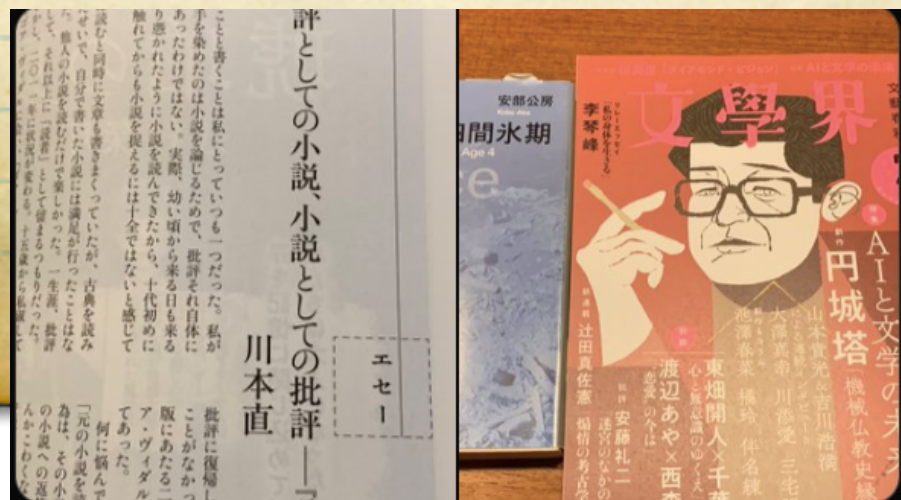
安部公房が表紙だと知って買った 頑張っ て完読する

Tadashi Nagasawa@『70年代ロックとアメリカの風景』@Sonopapa・Jan 10

『文學界』2022年2月号の川本直氏「批評としての小説、小説としての批評—『ジュリアン・パトラーの真実の生涯』覚書」を拝読。見開き2ページの短いエッセイ。できればこの五倍くらいのボリュームで読みたい内容。



表紙が安部公房だったので、AIといえばこれでしょうと『第四間氷期』と並べてみた。



評としての小説、小説としての批評—
川本直

エッセイ

特撮ピストルズ@SFXPISTOLS・18h

「自分はそれなりの文学好き」という奢りがあるため、表紙のイラストが誰だかわからなくてショック。一瞬、安部公房かと思ったけど.....違うよね？

みんな誰だかわかるの？

Quote Tweet

たちはら とうや@ttouya・19h

こちらは紙本で購入。SFなので。「文藝」は電子書籍が出ていたので、そちらで購入。雑誌が電子書籍になるのは大変ありがたいです。

ゆうたろうイキ@Taro_ikiyuu・Jan 7

今月の文学界の表紙、もしかして安部公房？

馬屋 豊@yutaka_umaya・Jan 10

安部公房だと思ったら安部公房だった(表紙)

今月のピーター・ボグダノビッチ

秋山耕一郎@kakiyama0055・Jan 7

安部公房も観たラスト・ショー、紹介してた。

映画監督ピーター・ボグダノビッチさん死去 「ラスト・ショー」など(朝日新聞デジタル)

url) <https://u.lin.ee/>

[70f3MbQ?mediadetail=1&utm_source=Twitter&utm_medium=share&utm_campaign=none...#linenews](https://u.lin.ee/70f3MbQ?mediadetail=1&utm_source=Twitter&utm_medium=share&utm_campaign=none...#linenews)

今月の液体人間

どうそく@madanaizo・Dec 25, 2021

安部公房は「液体人間」を批判したが、それは彼は当時の映画評論家達のようにSF映画を低くみただけでなく、寧ろ高い期待を寄せていたからだ。彼は本作が「空想に十分な飛躍がなされず、最後反原爆という道徳的説教に堕ちた」のを惜しんでる。「空のもつ現実的な力」についての指摘は今こそ重要だろう



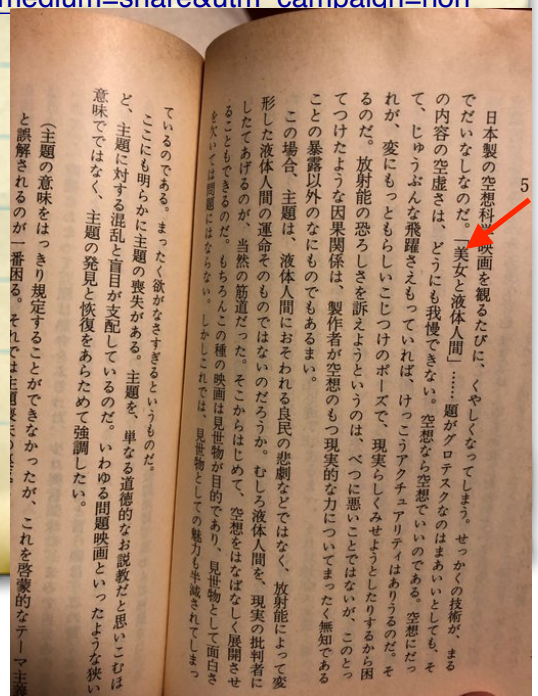
映画監督ピーター・ボグダノビッチさん死去 「ラスト・ショー」など(朝日新聞デジタル) u.lin.ee/70f3MbQ?mediad...#linenews



news.line.me

映画監督ピーター・ボグダノビッチさん死去 「ラスト・ショー」など - LI...

AP通信によると、米国の映画監督ピーター・ボグダノビッチさんが6日、ロサンゼルスで死去した。82歳だった。親族によると、自然死とい...





今月の公演

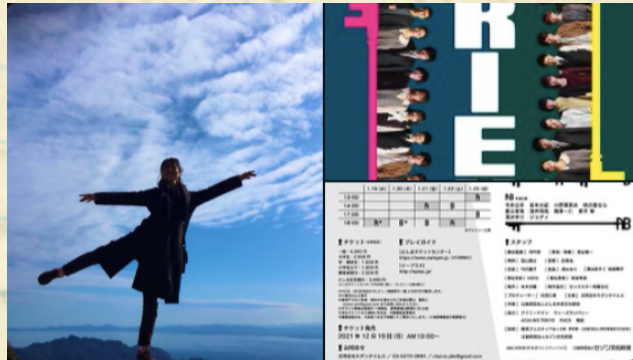
ステージナタリー@stage_natalie-Dec 27, 2021
CHAiroiPLIN、安部公房「友達」もとした
「FRIEND」を新キャストで上演

<https://natalie.mu/stage/news/459483>

遠藤留奈@rururururu_na-Jan 3
明けましておめでとうございますTiger face
年明け早々
念願のCHAiroiPLIN出演ですDash symbol
全力でルナチャップリンしますTop hatSparkles

ぜひDouble exclamation markDouble exclamation markDouble exclamation mark
観に来て欲しいよーーーGlowing starGlowing starGlowing star

踊る戯曲『FRIEND』
演出:構成:振付:スズキ拓朗
原作:安部公房「友達」
@あうるすぽっと
1月19~23日



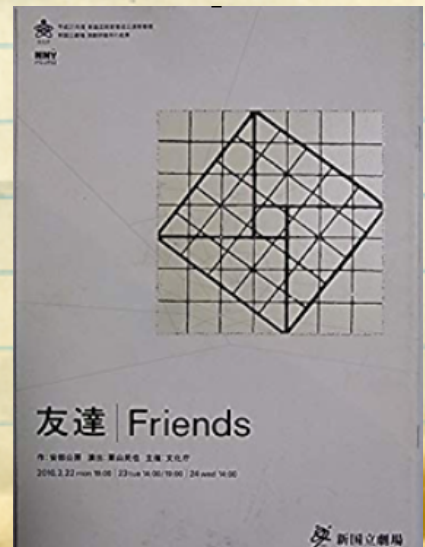
演劇古書店松紫庵@artandbookcom-Jan 7
舞台パンフレット 友達 Friends 2010年新国立劇場 演劇研修所の成果 作：安部公房 演
出：栗山民也 出演：辻村優子 野村真理 渡邊樹里 米川... https://amazon.co.jp/dp/B07YMWYCMCB/ref=cm_sw_r_tw_dp_H7E012MD1VBMCKY9Y510...
@amazonJP
より

今月の電子書籍

川原圭人@kawaharakeito-Jan 8
なぜ安部公房の作品は電子書籍化されていないのだろう？

今月の寺山修司

Studio BiSHOP@StudioBiSHOP-Dec 19, 2021
というわけで #B機関 『#レミング
一世界の涯まで連れてって一』 観了。
怪奇幻想、虚と実、虚々実々。



時々タンゴと全裸監督と疫病流行記。
壁が安部公房じゃなくてカフカだった。
とにかく堪能した。
120分が短く感じた。
満足。

今月の頭木弘樹

頭木弘樹Closed bookUC 新刊『366日
文学の名言』『食べることと出すこと』
5刷御礼 キノベス！7位・Jan 1
「文明というのはなによりも共存しよう
という意味だ」
オルテガ



「人類の歴史は弱者の生存権の拡張だった。社会の能力が増大すればするほど、より多くの弱者を社会の中に取り込んできた。弱者をいかに多く取り込むかが文明の尺度だったとも言える」

安部公房

頭木弘樹Closed bookUC 新刊『366日 文学の名言』『食べることと出すこと』5刷御礼
キノベス！7位・Jan 1

「発明・発見などを考えてみても、弱者が自分の弱い欠落を埋めるための衝動じゃないか。(中略)非常に体が強健で、寒くても平気な奴には衣服は要らない。すぐにブルブルとくる奴が寒さしのぎに衣服を発明する。そういう弱者の組織力というものが、社会を展開し構築していくわけだ」

安部公房

今月の壁

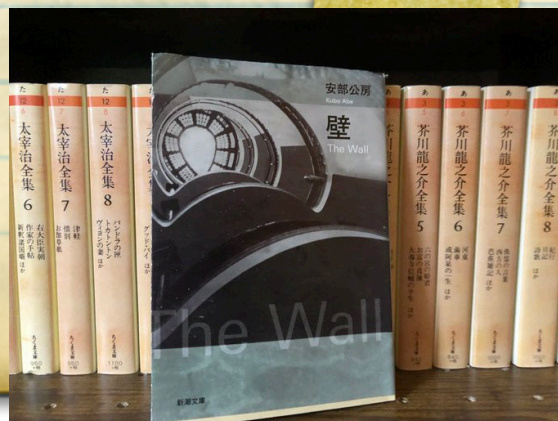
noruniru@nekomeshi1・Jan 4

安部公房『壁』読み終わりました。新年1発目。"自分が自分ではないもう一つの何かに変化する"主人公の心情は察するに余りある。"壁"がメタファーになってる作品ですね。

airon@flatairon・11h

『壁』 安部公房

第一部「S・カルマ氏の犯罪」で主人公は名前を失うのですが、ちょうどテレビで見た「千と千尋の神隠し」の内容と重なって、名前ってすごい大事だなって読みながら考えました。



第三部の「洪水」は、かなり前衛的な内容なのに、とてもリアルで面白かったです。

A_kiriko@Sister_Twelve·Dec 23, 2021

日本文学では最近安部公房にはまっててね。「壁」を放り投げて以来、この作家は敬遠してただけど、まさかここまで自分に作品への適応性があるとは思わなかった。みんな大江大江って言うのは、彼がノーベル賞受領者のせい？安部公房を熱っぽく語る人をあんまり見かけないのもいい。全部読破しそうだ。

ガロア@ 読と映と旅@dhrxdaBF6xzO8uz·Dec 13, 2021

Replying to @shoji_arisawa

こんにちは

安部公房の「壁」は昭和26年の作品ですから、当時としては、驚くべきシュールさと前衛的な作品ですね。

ノーベル委員会のペール・ベストベリー委員長は、かつて「(安部公房は)急死しなければ、ノーベル文学賞を受けていたでしょう。非常に、非常に近かった」と述べています。

してき断片bot その市@fragments_bot·Jan 5

.....街は、逃げてゆく日曜日に追いつくやろうとする、疲れた家族連れのおぼろげな目つきで渦まいていました。日曜日によって満たされた目はどこにもなく、曲った父親の背は途方にくれ、今にも泣出しそうな晴着の子供の腕が、不機嫌な母親の手でひきちぎられそうになっていました。(安部公房『壁』)

はとむぎ(読書アカ)@life_hatomugi·Jan 9

安部公房著「壁」とヘミングウェイ著「老人と海」を買ってきた。でも先に「ジキルとハイド」を読む。

今月の安部公房

3531TANAKA@3531TANAKA·18h

Replying to @SFXPISTOLS

え？ わたしも安部公房だと思ったSmiling face with open mouth and cold sweat

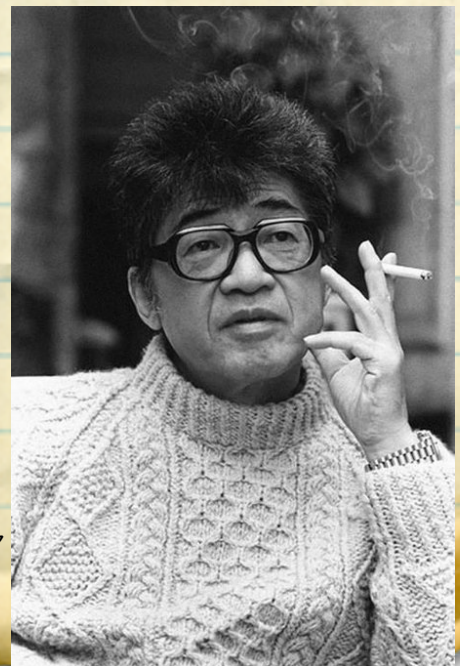
クルト・ヴォネクト@talkie_silent·Jan 7

来年はいよいよ安部公房没後30年か

IIIL@ffcc00club·Jan 3

安部公房の天才ぶりとは作風。三島由紀夫・山口果林との関係。家や娘について | アスネタ - 芸能ニュースメディア

<https://asuneta.com/archives/68175>



Tadashi Nagasawa@ 『70年代ロックとアメリカの風景』

@Sonopapa・Jan 10

Replying to @Sonopapa

and @petrol0110

安部公房のイラストって、だいたいこのポーズとアングルが多いんですよね...



kk-bestsellers.com

没後25年「今こそ読むべき」が最もふさわしい作家・安部公房の世界 | BE...
イメージを鋭く呼び起こす言葉で書かれた安部公房の小説は、死後25年経っても古びることはない。ブラックなユーモアがあふれ、深い思索の結実し...

最上直美 MOGAMI Naomi@mgmnom・17h

Replying to @SFXPISTOLS

もうわかったみたいね。「違うよね」と思うのがわかんなかった。メガネフレームががちがち安部公房。ゲンブツは一度だけ、かつて大学に講演しに来たのを見た。

今月の安部ねり

椎名 由太佳@shiinayutaka777・Dec 19, 2021

Replying to @kobo_spitz_2487

安部公房の娘さんが医者で

埴谷雄高の主治医でした。

当時は、夜の会があり

埴谷雄高、安部公房、岡本太郎、関根弘とか詩人も集まり談笑。三島由紀夫もオブザーバーでたまには参加。現代ではあり得ない、素敵なお光景ですね。

今月の安部公房の舞台セット

じょてんまるぶんぶん@eggjoshu・Jan 8

このセットなんとなく安部公房先生の小説みたい



今月の安部公房全集

ムラたん@murachan48・Jan 4

新潮社の安部公房全集は30巻ありますので、読むのが大変です。しかも字が小さい。

今月の三浦雅士

有川オレガ@orega2061・Jan 6

岩井克人は『貨幣論』そのほかにおいて、商品価値を労働に帰し、貨幣を実体と見なすマルクスの考え方を根もとから覆している(略)先進国の賃金は高く、途上国の賃金は安い(略)人間の経済は深淵のうえで繰り広げられる遊戯にすぎない、というのだ(安部公房全集第30巻「贖月報」三浦雅士)

今月の箱男

洛仙@luoxian_t · Jan 5

私の一番好きな映画、音楽アルバム、小説。

陳凱歌「霸王別姫」

坂本龍一「B-2 UNIT」

安部公房「箱男」

この三つはもう更新されない気がする。

ステージナタリー@stage_natalie·Nov 18, 2021

田中遊、「戯式」で安部公房「箱男」モチーフにした作品を“段ボール箱に入り”披露

<https://natalie.mu/stage/news/453994>



紳士@Gentle_ST·Dec 19, 2021

昨日今日と安部公房の『密会』『壁』『箱男』を読んでいたのだが、安部公房の作品は孤独なときに読まないとも真価を發揮しない気がしますね。

箱男 ハコオ@hakotheboxman·Jan 6

走りつづけたが

追いつけなかった人々の

鷹のゴール

旗は振られ

審判も観客も

とうに引揚げてしまった

夜の競技場

～安部公房「箱男」



Ragged ODG@odg1967·6h
安部公房『箱男』についての
ゼミにダンボール箱をかぶって
参加した女子学生がいたらしい。

吉きち ㊦。°oO@kichi_2112·Jan 7
いや、写真撮るのあまりにも下手
すぎるやろ…。安部公房は国語の
教科書の「鞆」で好きになりました。
が、合わないものもあり…これ
は面白かったです。箱の中を覗
いている自分…を覗いている自分
…を覗いている…みたいな螺旋構
造みたいなお話。

怠慢部屋@taimanbeya·Jan 7

"小さなものを見つめていると、生きていてもいいと思う。雨のしずく……濡れてちぢんだ革の手袋……大きすぎるものを眺めていると、死んでしまいたくなる。国会議事堂だとか、世界地図だとか……"

安部公房
『箱男』

プー@pooh6years·Jan 8

この前読んだ小説の中に、安部公房「箱男」がチラッと出てきたのだけど、ほんの少しの紹介だけでもクセの強さが凄かった。段ボール箱を頭から被ってる男が出てくる話とか。。。謎過ぎる。

箱男 ハコオ@hakotheboxman·Jan 7

そして安部公房「箱男」にも武器としてのブラックジャックが登場し、かつ、鷹医者は主要な登場人物のひとり

Quote Tweet

平野啓一郎@hiranok· Sep 16, 2011

安部公房の『小説を生む発想－箱男について』（72年6月）という講演では、最初に「ブラックジャック」という武器の話があり、そのあと、戦後、衛生兵上がりの無免許医がよくいたという話題に及んでいる。手塚治虫の『ブラック・ジャック』の連載は73年から。偶然か、講演がヒントになったのか。



走りつづけたが
追いつけなかった人々の
鷹のゴール
旗は振られ
審判も観客も
とうに引揚げてしまった
夜の競技場



怠慢部屋@taimanbeya-Jan 5

"裸と肉体は違う。裸は肉体を材料に、眼という指でこね上げられた作品なのだ。肉体は彼女のものであっても、裸の所有権については、ぼくだって指をくわえて引退るつもりはない"

安部公房
『箱男』

怠慢部屋@taimanbeya-Jan 6

"これまでに書いてきたことに、まったく嘘はない。想像の産物ではあっても、嘘ではない。嘘は相手を言いくるめて、真実から遠ざけることだが、想像はむしろ相手を真実に導くための、近道になりうるものだ"

安部公房
『箱男』

箱男 ハコオ@hakotheboxman-Jan 9

欠乏した自由
充足した独房

充足した独房ではあらゆる時間が予測し得る
欠乏した自由では次の瞬間が予測できない
予測可能なところに身を置きたいという願いと、
予測可能な未来なんてクソ喰らえという姿勢

安部公房 小説を生む発想 「箱男」について 1.wmv

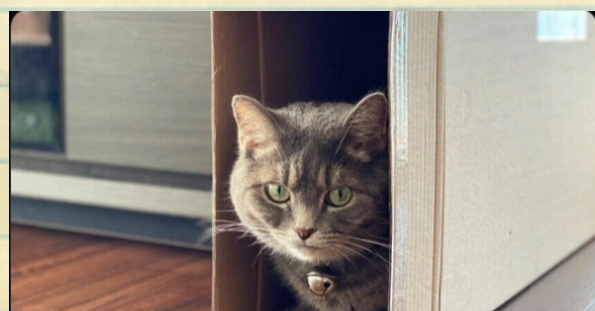
https://www.youtube.com/watch?v=Jl_V9gZJoJ0&t=2s

Blue book水石鉄二（読書と文学）@TetsujiMizuishi-Jan 7

安部公房の書く〈壁〉や〈顔〉や〈箱〉は、すべて自己と他者を仕切る境界だと考えれば、本質的に同じものなのかもしれません。

#安部公房 #壁 #他人の顔 #箱男

壁・顔・箱～自己と他者を仕切る境界 | 水石鉄二



note.com
壁・顔・箱～自己と他者を仕切る境界 | 水石鉄二 | note
**ヘッド画像は カワサキタカシ さまより 安部公房『壁』のネタバレがあります。安部公房は『壁』『他人の顔』『箱男』にて、一貫して同じ問題...

今月の読書会

本屋B&B@book_and_beer-Jan 7

【来店・リアルタイム配信イベント】 01/16 ,02/20,03/20 Sun 10:30-

フィクションス 文学の教室

安部公房『砂の女』を3ヶ月かけてじっくりと読む

<https://bb220116-0320a.peatix.com>

ドキュメンタルな手法、サスペンスあふれる展開のうちに、人間存在の極限の姿を追求した『砂の女』に迫る3ヶ月になります！



フィクションス 文学の教室
安部公房『砂の女』
を3ヶ月かけてじっくりと読む

B & B

今月の感想

おっつおっつ(・ω・)ノ進藤くんだお@shindo_kun-Jan 11

はてなブログに投稿しました #はてなブログ

安部公房を読み始めました - ねこの毛

<https://nekonoke.hatenablog.jp/entry/2022/01/10/233000>

間宮雅彦@neonimu026-Jan 4

【箱男 (新潮文庫)/安部 公房】を積読本に追加 → <https://bookmeter.com/books/580839>

#bookmeter

今月の夜桜

うたうたいbot@hirari_ktnh-Jan 10

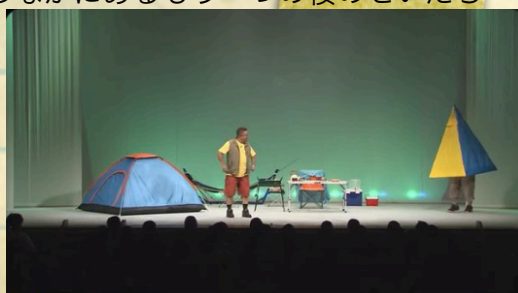
ぼくは桜の花が嫌いだ。闇にたなびく雲のような夜桜のトンネルをくぐったりする時、美しいと思う。美しくても嫌いなのだ。日本人のなかにあるもう一つの桜のせいだろう。『エッセイ「方舟さくら丸」/安部公房』

今月のサンドイッチマン

かんだ@0sak1_m1d0r1-Jan 8

サンドイッチマンのコント見返してるけど、安部公房リスペクトとかあって熱いな。

<https://www.youtube.com/watch?v=pwTleEb48hg>



【公式】サンドウィッチマンコント【キャンプ】2019年
439万回視聴・1年前

今月の砂の女

松田光市@ttu_ko・Dec 17, 2021

アックスvol.144今月末発売予定。第2特集「私が描きたい小説の挿絵」安部公房「砂の女」掲載いただいております。第一線で活躍されている作家の方々の中で大変恐縮です
<https://axstore.net>



カラシニコフ(Books)@kalashnikovread・Nov 25, 2021

安部公房著『砂の女』を読みました。著者の代表作で、5回は読んでます。何回読んでも掴みどころの無い、像が現れては消える、砂のような小説で、素晴らしいです。

昆虫採集の目的で砂丘に行った男性教師と部落に住む女性の話です。やはりこの世は、砂のように変化していくのだな、と感じました。#読了

くそげろっぴTSR@sabaku_chitai・Jan 9

安部公房「砂の女」は社会的な不条理を砂の生活を通して描かれ、人間存在の普遍的な自由と孤独に対して深い洞察がなされている。劇中の「孤独とは幻を求めて満たされない渴き」は人間の尊厳を云わしめる欲求でもあり、砂の生活を通して普遍的な社会性を築く個人の嘆きを描いた象徴的な台詞である。

aikosFlag of United StatesFlag of United Kingdom英語講師&翻訳学習中

@as78359220・Nov 2, 2021
 #私を構成する9冊

父の蔵書だった遠藤周作と安部公房。中高時代に遠藤周作作品は殆ど全部読んだ。塩狩峠を読んだ後教会に通うか真剣に考えてた。安部公房の影響で、大学で短編映画を撮った。「熱源」だけ最近の小説だけど、読んで欲しいから敢えて入れた。

羊男。@MeeHitsujiMan・Dec 14, 2021

「砂の女」1964年 勅使河原宏

砂の女役は岸田今日子。小説を先に読みましたがイメージぴったり。安部公房が自ら脚本を書いていたんですね。公開時のコピーは「突然 ある日 仁木順平は失踪した ずりおちた穴の奥深く 激しく開く女がいた...」

映像もスタイリッシュですRelieved faceDash symbol

<https://youtu.be/08Q-psIsMal>



石井 遼@actor0703·Jan 10

#今日の小説 9本目

安部公房『砂の女』 2/3

性生活のあり方や、やり方を描写しているシーンに衝撃を受けました。性欲解消の仕組みを「袖を通して皺くちやになった古い服にアイロンをかける」という文章で表現するなど、発想力が豊かすぎます!!!

彼の戯曲も読みたくなってきました。

クラシタ アヤカ@AyakaKurashita·Jan 6

初めて安部公房の『砂の女』を読んですけけどとても面白いですね。まだ半分しか読んでないので後半は未知ですが、閉鎖空間だからほとんど一人称で進められる効果も良く分かるし、人間そのものの脆さとか、その人間が形成した世間の機械的な呼吸が大変不気味でよいなあ、とずっと唸っています。

こたけ@toricoro4169011·9h

Replying to @mishimashinji

投稿を採用して下さってありがとうございます。三嶋さん、私は除雪作業をする人々を見て、去年の課題図書で読んだ安部公房の『砂の女』を思ってしまった。あちこちで鳴る笛の音が切なく感じました。

今月のゴミ

鹿島 将介/NOBUSUKE KASHIMA@shikanobu·Jan 8

安部公房の習慣で気に入ってるのは、タバコの吸殻と街中にあるゴミ捨て場を写真に収めること。あと寝起きに夢メモをつける。抽象化すると、打ち捨てられた素材の即興性、都市の無意識、脳が記憶編纂する際のエラーなどかね。別役実の批判は正当性あったが、生活の身振りや感度は安部公房に近づいてる。



今月の飢餓同盟

かずし@kazuc_24·Dec 15, 2021

酔っぱの師匠。

「飢餓海峡」のDVD借りちゃったよ。「飢餓海峡」も良いけど安部公房の「飢餓同盟」が良いんだよ。本人は駄作みたいに言ってるけどあれは安部公房のだな〜、あっ! 「第四間氷期」なんて最高だよ!

今月の榎本武揚

uga Zzzz@kat_uga·Jan 6

そういえばこの前、安部公房の「榎本武揚」読んだんだけど、最初「私」は安部のことで、エッセイから小説に入っていく構成なのかなと思ってたら、最初っから小説だった笑笑



今月のユダヤ人

砂肝@sunagimon_taro・Dec 14, 2021

『ユダヤ人の私』

安部公房『内なる辺境』を読み、ユダヤ人の歴史や民族性に興味を持ったために観た映画。求めていた内容とは少し違ったが、ホロコースト生存者の口から語られる凄惨な経験や当時の映像はとても貴重だった。ただ2時間にも渡る独白形式のこの映画は、自分の不慣れもあって体に堪えた。

今月の他人の顔

ベルソさん（装丁と読書と雑談）@versographic・

Dec 27, 2021

『他人の顔』 安部公房

顔を失い、病み悩む男が編み出した精巧な仮面が、最後に辿り着き、矛先を向けた一人の女性。仮面によって隠秘されたかに見える人間の本性、嫉妬、欲望が逆に顕在化される展開に心が抉られる。SNSで手軽に仮面を被って交流できる現代で、自分の本当の顔はどこにあるだろうか。

今月の三島由紀夫

えりん@erin_taso・Jan 7

追い三島由紀夫。4冊読んだけど三島さんはマッチョなムツツリスケベという印象が強いな...そんな不健全な感じがしない。安部公房の方がド変態な感じがして、人体を物体として解析したがるってというか文章から体臭が漂ってくるような...

今月の藤野君

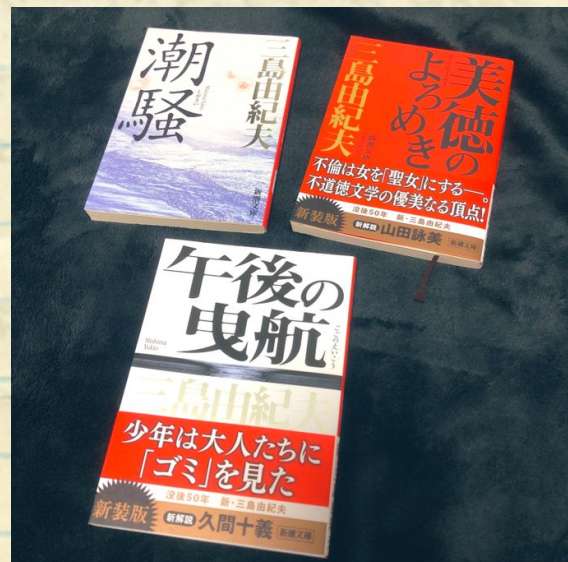
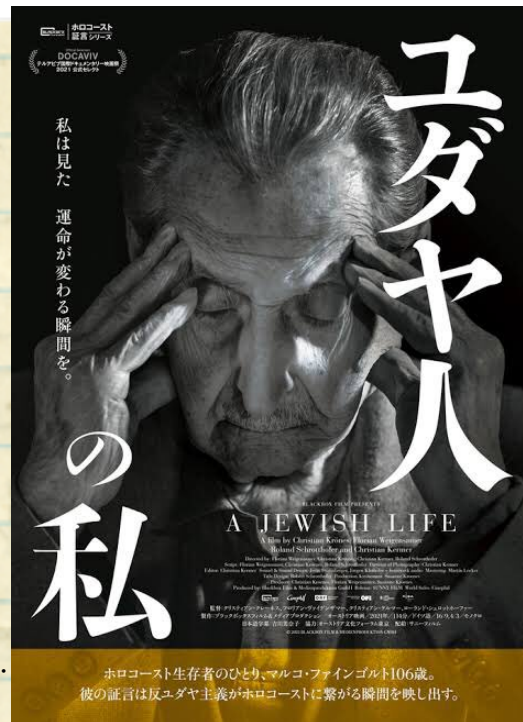
飯テロ小説bot@nuenonamae・Jan 5

親指ほどの太さもある、チョコレート・キャンディだった。つまり、容器にふさわしい内容だったわけである。藤野君は、赤い大きな舌を出して、そのチョコレートの棒をしゃぶりはじめる。ひと舐めごとに、息を入れ、ゆっくり時間をかけて、しゃぶりはじめる。安部公房「藤野君のこと」

今月の飢餓同盟

いそがいはじめ@ISOGAI_1・Nov 28, 2021

よみた屋と古本のんきをパトロールしてから『YOUCHAN個展「本を巡る冒険2」古本タワー再び』@ギャラリーshell102に行ってきました。ポストカードと安部公房を購入。





今月の幽霊はここにいる

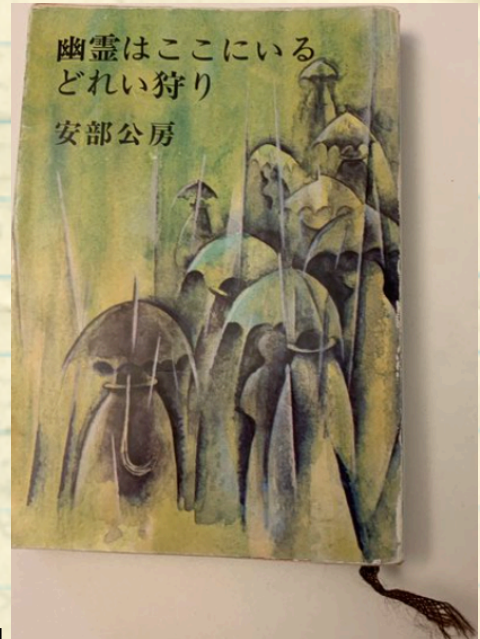
スナツキン【プロフカード必読】@SnaS66on6・Jan 8

#読了/#安部公房/幽霊はここにいる

死人の口に花が咲く

初期戯曲3選

表題作の主人公は戦友の「幽霊」を見、市民達もその声に振り回される。しめたとばかりに幽霊ビジネスを始める者もー登場人物も、観客さえも、幽霊の姿を見られないのに。不確かな物や記憶「実在物」として扱う様はまさに演劇的。



今月の養老孟司

kaede-kazuo@kazuo_kaede・Jan 10

養老孟司「人間が意図的に作ったものには興味がない」

この言葉の意味がこの年になってようやく理解できた気がする。

安部公房氏も同じような考えで作品を作ってるし。

そんな今日この頃でした。

今月の森茉莉

秋梨Speaking head

in silhouette@DzTXyA51VuIP

4iL・Jan 9

久々に古本屋行ったら高額買い取りの作家のところに、太宰治や安部公房とか文豪が並んでたんだけど、その中に森茉莉もいてちょっと二度見したいや森茉莉先生は好きだけど...何か最近再注目される何かあったっけ？類の余波とか？



今月の噂話

椎名 由太佳@shiinayutaka777・Jan 5

1970年大阪万博で、経済に酔いしれる日本に絶望して、三島由紀夫は割腹。

日本文学も終了。ノーベル賞を期待された安部公房は愛人宅で死亡。何してたの？クリスチャン作家、椎名麟三は、夜中に牛乳を飲もうと階段から滑り落ち死亡。夜中に牛乳なんか飲むなよ。最後まで、頑張ったのは埴谷雄高。

今月のヤマザキマリ

おくでいNew moon with face読書垢&積読家Books@oku_D3・Dec 27, 2021

ブログ更新しましたBooks

テルマエ・ロマエのヤマザキマリさんが、ハドリアヌスから安部公房まで「いい男」を語り尽くす



今月の劇団員募集

劇研アクターズラボ@actorslabo・Dec 28, 2021

【京都／そばえ】

4期受講生募集中です！そばえはこれまで安部公房、チャーホフ、宮沢章夫の脚本を上演。1年に1回の公演に加え、2019年には三重県とポーランドでも公演し、2022年2月には豊川へ行きます。興味がありましたらお気軽にお問い合わせください！

詳細はこちら：<https://gekken.net/actorslabo/cn31/pg727.html>



今月の花田清輝

ヤマニシ@bkbkbook29・Jan 10

巻数が違うとはいえ『花田清輝全集』を『安部公房全集』の十分の一くらいの値段で揃えることができ驚愕してる。

今月の核爆弾

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961・Jan 6

核保有国5カ国の共同声明に思うこと

「段階的軍縮のほうが实际的提案であることは私も認めます。しかし实际的であることは、実現しないことの言い替えのような気もするのです」（安部公房）、この言葉に尽きると思います。抑止力なんて言っていないで、早く核廃絶して頂きたい。

今月の密会

犬井作@miduki_neko-Jan 5

安部公房の「密会」単行本の宣伝文句カッコ良すぎるから俺もいつか書きたいよこういうの...ってなってる(「地獄への旅行案内を書いたみた。」)

レスナーその1 @jdoijisjhspiej-Jan 10

あずみ君安部公房の密会が1番好きだったらどうしよう

サルモンキー@maakeetaa-Jan 4

目黒区にある国立医療センターに来ている 規模がけっこう大きいので、安部公房の「密会」の舞台ってこういう感じなんだろうなと思った(近くに高台はないからここじゃないけど)

犬井作@miduki_neko-Jan 6

安部公房「密会」5年ぶり2度目か? 人生で初めて読みきった安部公房の長編だから不思議な思い入れがあるけれど、安部公房をある程度通って今作に帰ると確かに大江健三郎の評のとおり「集大成」そのもの。非常識を解さなかったせいで常識的な過ちを犯し、選ばなかった欲望に復讐されるセカイのメタファ...

犬井作@miduki_neko-Jan 6

安部公房「密会」びっくりするくらいいろんなガジェットが出てくるのが豪華だよなあ。舞台は病院というハコなのに道具立てがいちいち面白い

今月の作曲

河村壽仁@KAMUTAN-Jan 10

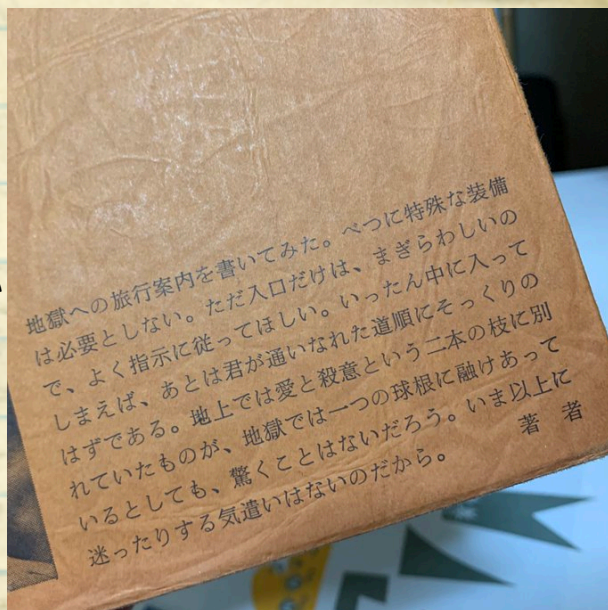
安部公房氏の作曲。 <https://blog.goo.ne.jp/6d920ca593d834d1a79d0e589560bf23...>

今月のカンガルー・ノート

青津夏@読書垢@shikaku_books-Nov 29,

安部公房「榎本武揚」

歴史小説...とはいっても、安部公房なので一筋縄ではいかない。やっぱり歴史小説は興味のある人や地域の話じゃないと退屈に感じてしまう...。ちなみに、これを読んだことで、安部公房の長編小説でまだ読んでないものは「カンガルーノート」だけになった。



blog.goo.ne.jp

安部公房氏の作曲。 - カームラサンの奥之院興廃記

「安部公房」氏 (ウィキペディア) の記事より。。。 (前略) ロック・バンドピンク・フロイドの大ファンであり、まだ普及する以前にシンセサイザ...

哲学するカメ@新大@Philo_Kame·Jan 10

人間自身よりも、身につける小物に関心が強いのは、孤独の証拠なのだ (安部公房『カンガルー・ノート』)

今月の笑う月

彼岸(怪談 怖い話 朗読チャンネル管理 総再生数1億回)@acchinohou · Jan 8

Replying to @Seek72775743

安部公房氏の書かれた『笑う月』は夢日記そのままでしたね

氏の書籍の中では最も好きな著書でございます...w

ひすみや(日角屋withミー)@hisumiya1·Dec 16, 2021

Replying to @miki_gonohe

@GROOVELINE813

and @minminTV

お疲れ様で〜すFlexed biceps

え〜と

ツリーを飾ってる、丸い笑う月のオーナメントが、

向かって右から左に移動した〜Clapping hands signSmiling face with open mouth and

tightly-closed eyesCat face with wry smile

因みに

「笑う月」と言えば、安部公房の'75年の随筆集で、表題作「笑う月」は、安部公房が小学生の頃から何度も見る夢の話で、ずっと追いかけてくる、笑う月が怖かったそうで〜

すFolded handsPerson bowing deeplySmiling face with open mouth and cold

sweatWeary cat face

今月の山尾悠子

ともも@tomomo_saito·Jan 6

読み始めて驚いた。この小説はすごいね。小川洋子をシュルレアリスムっぽくしたというか。んー、安部公房を上品にした感じとでもいえばいいのかな。幻想の世界にどっぷりと沈み込んでゆく。山尾悠子、恐るべし。

今月の病院

えりん@erin_taso·Jan 4

安部公房や夏目漱石の小説もそうだけど、今だったら「この主人公普通に統合失調症じゃねーか病院行けよ！」ってなるところ文学として昇華されたんですよね...Cat



今月の第四間氷期

frais@frais98281299-Jan 8

#第四間氷期 はタイムリープSFの安部公房の解釈とも考えられる。

タイムリープは未来干渉の可否で大別されるが、これは干渉可能なタイムリープに分類されよう。儂くも勝見先生は予言機械の計算通りに散るのであるが。

#安部公房

木石岳 / Gaku Kiishi / Asahi (macaroom)@asahisism8-

Dec 7, 2021

日本で最初の長編ハードSFと呼ばれる安部公房の『第四間氷期』について。名作はいつ読んでも最先端に思えるからすごい。環境問題、生命倫理、AI、未来予測と盛りだくさんだけど決して愉快なだけじゃない。

日本で最初のハードSF長編小説 安部公房『第四間氷期』

<https://youtu.be/8mi7CVtV1Wk> via @YouTube



frais@frais98281299-Jan 7

遠景にはいつも秩序がある。どんな奇妙な出来事だって、遠景のもつ秩序や枠からはみだすことなど、できはしない.....

安部公房 『第四間氷期』

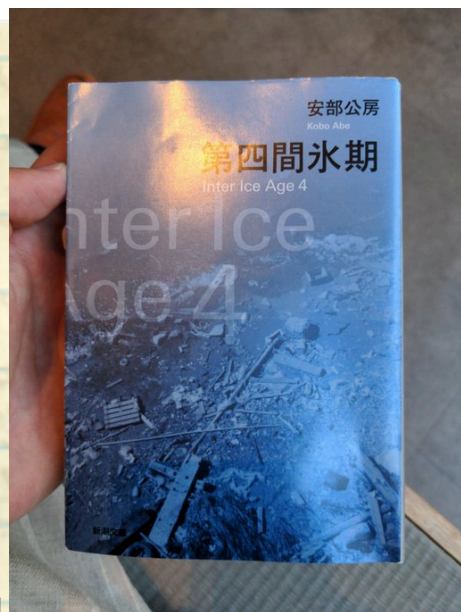
今月の落とし穴

まさなつ@miyu0902mh-Jan 10

おとし穴 #京都文化博物館

勅使河原宏と安部公房による社会派風ブラックコメディ?!
いや～面白い!

このコンビだから当然シュールなんですけど、底辺で生きる人々の姿や経営者対労働者という構図は社会的に当時の世相を皮肉ってる殺された人がそのまま幽霊として出てくるあたりは笑えます^_^



今月のカフカ

ヤマニシ@bkbkbook29・Dec 27, 2021

頭木弘樹『カフカはなぜ自殺しなかったのか?』で紹介されてるカフカの日記と手紙がおもしろすぎてカネッティの『もう一つの審判 カフカのフェリーツェへの手紙』を買った。安部公房も言及してるカフカ論の古典。

今月の燃えつきた地図

サブカルmonk@Monk21692973・Jan 4

#燃えつきた地図/安部公房

都市生活者はある意味でみな失踪者であるという見事な切り口を持つ探偵小説風不条理劇場。またファミファタールを配したノワール的な甘美さも絶品。そして失踪事件を追う探偵が失踪者になってしまうという入子構造は秀逸。万華鏡を覗くように世界の見え方が変わる傑作。

うたうたいbot@hirari_ktnh・Jan 7

血が凍り、凍った血が心臓に流れついて、赤いハート型の氷嚢になる。

『燃えつきた地図/安部公房』

ロカ@ROKA_dokusyo・Jan 8

Replying to @inu_book

推したいのはローレンス・ブロック『八百万の死にざま』なんだけど、これはシリーズもので前の作品を読んでないともったいないからなあ……。やっぱり、殿堂入りの安部公房『燃えつきた地図』かなあ。燃えつきた地図はマジでビビると思う。これを超える作品にまだ出会ってないもん。



m m@MMm11487039・Jan 8

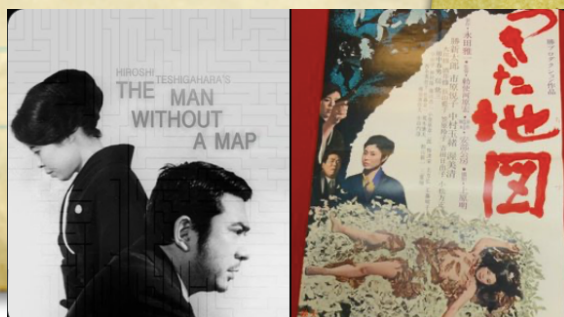
Replying to @acchinohou
and @Seek72775743

おお!! 安部公房! 私も大好きです! 夢日記はつけると気が狂うと言われますが、安部公房なら狂うことなく記録し続けることができただろうと思えます。私が一番好きなのは「燃え尽きた地図」です。夢の話では無いですが、悪夢の中から出られないうちに夢の住人になってしまうような不安感に惹かれます。

ヒロ.HIRO@setu1452・Jan 9

Replying to @doug_marco
and @chandanrawal316
これは面白そう。

砂の女の安部公房が脚本書いている。



今月の友達のブルース

ホッタタカシ@t_hotta-Jan 8

安部公房『友達』の主題歌をリコーダーで演奏した動画を見つけた。友達のブルース：

https://www.youtube.com/watch?v=OR8Msoj4fRw&feature=emb_logo



今月の周辺飛行

音隅 管譜@otonezumi-Jan 8

「秩序＝騒がない世間」という発想は、それ自体、創造行為の圧殺なのである 『周辺思考』 安部公房

今月の砂の女

絵描きのBudoriくん@EKAKI45611063-Jan 3

小説の絵を描くだけシリーズII-3

#砂の女 / #安部公房

#蜜柑 / #芥川龍之介

読んだ小説でイメージした絵を描くだけの連載。好きな台詞または文章も添えたりして。



今月の妖怪

どうそく@madanaizo-Jan 5

安部公房は「妖怪」と「科学」を対立的に捉える見方に批判的で、「日常世界は科学の世界よりは異常で、妖怪の世界より正常に近い又工的な存在だ。その又工の秩序で包み切れなくなった現実のエネルギーが、本能的に表れた場合は妖怪の世界に、知的に表れた場合は科学の世界になる」と書いていたのだった

今月の田中邦衛

韓国の近現代文化遺産 (りうめい) ※旧「韓国古建築散歩」 @liumeiuru

Jan 7

田中邦衛の名前が出てこなくてすこし泣きそうになったFace with tears of joy

勅使河原宏Heavy multiplication x安部公房Heavy multiplication x武満徹

素晴らしすぎる



今月のエリアス・カネッティ

ベロチュウSmiling face with horns読書垢@sh41tsu9-Jan 8

古本はこちらBooks

8冊Smiling face with horns

カネッティ「眩暈」は2004年の新装版。前回読んだのは96年頃だったかな。

安部公房が「死に急ぐ鯨たち」で紹介していた本ですね。再読用ですDetective



しよし 中 中国語《平凡的世界》阅读中@zwshoshi-Jan 6
安部公房のこれ思い出した。

From China (AFPBB News)
@Afpbbfromchina
中国の研究者、クジラ類が
打ち上げられる原因を発見

<https://afpbb.com/articles/-/3383183...>

研究者の分析によると、異常気象などの
要因を除き、持続的な慢性水中騒音
公害と高エネルギーのパルス音による
騒音公害が、この個体の聴
覚障害の主な原因に当たる
という。



今月の異孝之

鈴村智久 Tomohisa SUZUMURA@sempreinparo01-Jan 7

ここで異孝之が、円城塔の文学空間を安部公房、小松左京、山尾悠子らに連なる
Speculative fiction (思弁小説)としてカテゴライズした上で、特に「Parergonの文学」
と表現していた点を想起しておこう。

今月の愛読者

悠@abekobovsme-Jan 6

安部公房の短編集は最も上質なコメディだと思う。初めて読んだ時、ほんの1度も口角
は上がらなかったけれど、何よりも終始心から笑い続けた。表情に出して誰かと共有し
ようと言うような事なんて不要だと—お笑い好きでゲラな自分がそう思えるくらいに面
白かった。でも、こうして読書垢を作った分...

良い事が起きてほしい@KottsmYamanashi-4h

ここは敷布団と掛け布団の狭間...

自己放任の葛藤を制した末に湯に浴した者を優しく包み込む...柔らかい暗がり...何も見え
ないけど...暖かいでしょう...この温もりは1日を生き抜いた貴方への荣誉...胸に抱いて寝
ると良いわ...湯湯婆と違って冷める事はないのだから...【寝支度は難しい/安部公房】

セルジュ@Nelson_Togo・Jan 6

急に新潮文庫の安部公房作品全部読みたくなってきた。
壁と砂の女は読んでるから他のを。

グリーン@GreenParker63・Jan 3

砂の女を読んだのはいつだったか...
確か中学生ぐらいだった気がするが
10代の僕では理解しきれない部分が多かった。
今読み返せば分かることが増えてるのかも知れない。
僕は今もなお安部公房に惹かれている。

石油おう@petrol0110・Jan 10

Replying to @Sonopapa

私も安部公房を知ってから箱をかぶって足に便器をはめて暮らすようになりました。
「マー姉ちゃん」のフランキー堺演じる菊池寛が強烈でした。
「真珠夫人」と小森和子抜きに菊池寛は語るできません。

今月のSNS

RocketDizzy symbolモノリス²⁰⁰¹Glowing starSparklesSparklesSparkles**・

@monolith20001・Jan 5

安部公房だったらSNS時代も面白く書いたと思う。

今月の盲腸

佳@kwhr_tbs・Jan 7

安部公房「盲腸」。「イエーン」の辺りで、トカゲのおっさんっぽいと思った。哀愁。
そのあとにつづく、食卓で藁を噛みつぶけるシーンはもうまっちゃんとメンバーが演じる画として見えてくる。噛み疲れてきてもっと楽な噛み方を模索する感じとか、実際に目で観れたらたぶん笑える。

しんじ@shinji9・7h

安部公房の短編で盲腸ってのがあってね 来たる食糧難に備えて羊の盲腸を人間に移植する実験をされた男の話 牧草食べられるようになったはいいが草を噛み切って飲み込むのにむちゃくちゃ苦勞したり最後は拒絶反応で...って話を思い出したわ

久杉大助@3genzamurai・8h

おととい安部公房の短編集読んだばっかなのよね...
米男性にブタの心臓移植 世界初 2022年1月11日

ゆや@yrd_z3・18h

安部公房の小説に似たようなのがあったな
Quote Tweet



ライブドアニュース@livedoornews・19h

【世界初】57歳男性に遺伝子操作したブタの心臓を移植 米

[https://news.livedoor.com/article/detail/21488996/...](https://news.livedoor.com/article/detail/21488996/)

米メリーランド大は10日、重い心臓病の57歳男性に、免疫拒絶が起きないように遺伝子操作したブタの心臓を移植したと発表。手術から3日後の今も患者の経過は順調で、注意深く推移を見守る。

今月の弱者への愛

紫苑(Mariko Sakurai)@purple_aster・Jan 4

(覚え書き) 安部公房『公然の秘密』

Quote Tweet

村越 透@murakoshi_jcp・Jan 4

今日、凄い文章を読んだ

弱者への愛には、いつだって殺意がこめられている

だって

高校の教科書にも載っていたらしいですね

今月の便器

文学の粋な一節@iki_bungaku・Jan 10

とくに嘔き声というやつは、便器にまたがった下半身の形にそっくりだ。疚しさが好奇心のマスクをつけると、人間はめくれ反って、裏返しの他人になる。急性盗聴中毒症。視覚を軸に構成されていた、外界との関係の崩壊が、高所恐怖症に似た眩暈をひきおこす。－「密会」安部公房

今月の昭和時代

土居豊@urazumi・Jan 7

この件、文学にもいえる。

現在の学生が村上春樹はおろか、大江も三島も安部公房もろくに読まないのはもったいない。高校の国語教科書でかろうじて漱石や鷗外や太宰は読んでいる。だがそこから現代文学をすっ飛ばしてラノベまでジャンプしている。昭和の小説の到達した多くの果実をまずは読まなければ

Quote Tweet

Miyuji-K 金子三勇士 official@miyujik・Jan 7

ピアノを専攻している現役の学生さんたちと話して感じる事。今の時代、CDプレーヤーを持っていない、テレビもない。音楽はスマホかPCで、主にYouTubeで鑑賞している→ここまではなんの問題もない。しかし、グールド、ポリニー、ツィメルマンやアルゲリッチを知らないのは、やはり悲しい...

今月の死に急ぐ鯨たち

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961-Jan 4

『靖国神社の閣僚公式参拝に不快感を感じるのは、単に中国から抗議されたからでも、軍国思想につながるからでもなく、それが国家儀式の露骨な上乗せ強化だからである。』（安部公房『死に急ぐ鯨たち』）

岡野友治 No Cats No Life@10mokun3961-Jan 4

『冷戦を通じて肥大化しつづけた軍事力が核兵器であったために、やがて力の均衡という奇妙な平和にたどりつく。むろん均衡で戦争が中断されたわけではない。不信の天秤の両端に、同じ速度で荷重がかかっていく軍拡の均衡なのだ。』（安部公房『死に急ぐ鯨たち』）

今月の縄

GUY FAWKES@genuine_organ-Jan 10

>わしは西陣織好きじゃが、和風の家具や織物に使う能力も持ち合わせてないだろう。物質主義の成れの果て、土着という“繋がり”の死喪。

たとえどんな秀麗な布であれ、採寸が合わねば纏うこと叶わず。

『縄』は『棒』と並んで、最も古い人間の道具だった。—安部公房「なわ」より

Quote Tweet

J.Hirasaka@j_hirasaka-Jan 10

もはや日本人に消費をさせても外国の車・時計・鞆に使うことしか知恵がないので、デフレ脱却には鎖国すべきだろう。わしは西陣織好きじゃが、和風の家具や織物に使う能力も持ち合わせてないだろう。金持ちが免税店で買ってきたお下がりをお下がり大黒屋で奪い合ってるのがニッポン人には似合っている。

今月の勅使河原宏

バケツ居山@bucket_iyama-Jan 9

これ、売る気無いよね。発売当時の定価が19,800円。最近のヤフオクでは54,800円あたりという品物。ま、どのみち手が出ないけどね…。#勅使河原宏 #安部公房 #映画 #日本映画



勅使河原宏の世界 DVDコレクション
出演 井川比佐志, 矢野宣 (DVD)

★★★★★ 11

1点の新品/中古品 ¥898,789より

今月の三島由紀夫

《好人經濟》EP459 Part B

【大香港早晨】第2053集《三島由紀夫：最後思辯》(上)為了拉攏對手的辯論柔術。
PassionTimes hk. PassionTimes hk. . 245 views 1 day ago.

<https://www.youtube.com/watch?v=hN4n4tBEIsQ>

もぐら通信第151号 (第6版) をお届けします。

ダウンロードは：<https://docdro.id/41RVJCO>

訂正箇所は次の通り：

P57：第一段落：上から2行

訂正前：彰義隊と幕府軍

訂正後：彰義隊と新政府軍

ダウンロードは：<https://docdro.id/41RVJCO>

もぐら文学賞第一回募集要領

もぐら通信の創刊号（2012年9月30日）から数えて来月が丁度10年目です。この10年の節目を記念して、誠に「時知らず者」の安部公房には申し訳ないが（『中埜肇宛書簡第4信』全集第1巻78ページ下段）、敢えて小説の募集をします。

1. 応募期間：2021年9月1日より2022年8月31日まで1年間。発信主義。着信主義ではない。8月31日付の発信は有効です。

2. 送付先メールアドレス：eiya.iwata@gmail.com

3. 対象ジャンル：小説

4. 小説の長短：

次の安部公房の短編の量の間のいずれかの量：

- (1) 『赤い繭』の量：最小2000文字（400字原稿用紙5枚）
- (2) 『魔法のチョーク』の量：最大6300文字（400字原稿用紙16枚）
- (*）コントは対象外とします。

5. 応募条件：

- (1) 安部公房の読者
- (2) 一人何篇でも応募可。応募のたびに名前を変へること可。
- (3) 年齢：不問
- (4) 性別：不問
- (5) 国籍：不問
- (6) 言語：不問。編集部で日本語に翻訳し、原文とともに掲示します。
- (7) 提出文書のフォーマット：pdf
- (8) かな・漢字：新旧字体不問、正仮名・当用仮名不問

6. 応募名：

- (1) 本名を名乗つてはならない。
- (2) 安部公房作品の主人公または登場人物の名前を名乗つてはならない。
- (3) ネットのハンドル・ネームまたは独自に案出した応募名で可
- (4) 最も望ましい応募者は国家に登録されてゐない者である

7. 選考委員：

- (1) もぐら通信の全ての読者
- (2) 国内外の読者を問はない。

8. 作品の公表：

- (1) 編集部には到着後都度読者に配信します
- (2) 月毎の配信の号に掲載して応募記録を残します

9. 評価方法・評価基準：

- (1) 安部公房の読者としての選考委員の独自の判定基準に委ねる
- (2) 採点の範囲は、1点から10点まで
- (3) 最終的な判定は、もぐら通信編集部及び発行人が各作品に下す

10. 評価・選考のためのネット選考会月次開催

応募のあつた月のみ開催します。これは都度案内します

11. 賞金：10万円

- (1) 一等賞：受賞者一名
- (2) 最終受賞者の複数ある場合には均等に分割する

12. 将来の展望：

- (1) ノーベル文学賞の日本円換算1億円以上にします
- (2) ゆくゆくは、詩部門・戯曲部門・写真部門・音楽部門を併設し、安部公房文学の性格に相応しいジャンル横断の総合的な文学賞にしたい

以上

巻頭詩
(36)

孤独より
其の七

安部公房

其の七

船べりの とつくと 外国の

玉虫色の かゞやきの

ゆらゆらの くらげの肌の

行き過ぎし ほの白さ

思ひつめ 吾が身恋ふ

心 つめ 病いやしつ

ゆらゆらの 波間の藻の

日にかざす ほの青さ



『都市への回路』論

(6)

(4) 「試験管ベビー」として生まれた副院長の秘書の女

岩田英哉

(4) 「試験管ベビー」として生まれた副院長の秘書の女

「試験管ベビー」として生まれた人間が一体どのような大人に成長するかは答へるに難しい問です。何故なら、もの心ついた時に二親はゐず、試験管から生まれるなどといふことは人間の、それも母親の胎内から生まれたわけではありませんから、おかしい生まれ方をした人間といふことになり、これが国家といふ組織ならば前史の欠落した人工国家または人造国家に相当し、個人といふ人間組織ならば、人間的な欠落から生まれた人間といふことに、理屈の上ではなるからです。この場合の人間的な欠落とは、次の二つの意味を持つ欠落です。

- (1) 人間としての何かが欠落してゐる。
- (2) その欠落の結果としての人間の在り方が人間的である。

恐らく、上記(2)は人間としての苦しみであるといふことになり、上記

(1)は(2)の苦しみの感情の裏表にある非情な人間といふことになりはしないだろうか。それが男ではなく女であるとしたら、この女性は一体どんな女性であるものか。と、ここまで考へて来ると、このやうな思考実験をしながら、安部公房は此の登場人物を生み出したといふことではないのだろうか。ここまで書いて来て、私はまだインタビューの本文に目を通してゐません。

このやうな人間として生まれて来て、

- (1) 女性であること
- (2) 病院に勤めてゐること、即ち医者・強者と患者・弱者の関係にあつて、殺意のある愛を前者が後者に対して抱くことの意義と意味が日常問はれる場所であること、即ち安部公房のいふ通りに此の病院は地下に張り巡らされてある上下水道管のやうにある何かの上に「～のやうに」建つてゐる建物であり、また植物の喩へでいへば地下茎のやうに、またドゥルーズのいふリゾーム〔註1〕と呼ばれるネットワークの上に建つてゐる建物である此の病院に勤めてゐること。この地下茎が建物のどこから出て来るのか、恰も副院長馬の盗聴機の存在のやうに、皆目予想が付かないといふこと。しかし、そして、このリゾー

ムの上にて、

(3) 副院長といふ病院の高い地位にゐる医者・強者の秘書で、女性として、あるといふこと。さうして小説を読むと実際配下のトレパン男たちに警備主任の殺人を命ずるほどに権力者であり、従ひ強者である。

[註1]

「リゾームとは、rhizome (希: ρίζωμα、ラテン文字転写: rhizōma) の音写語であり、「地下茎」の一種。「根茎 (こんけい)」と訳す人もいる。

概要

日本では主として、ドゥルーズおよびガタリの共著『千のプラトー』の中の登場する比喩的用語あるいは哲学用語として知られている。両者は、伝統的に西洋の形而上学はある絶対的な一つのものから展開していくツリーのモデルをとってきたと解釈し、それに対抗して、中心も始まりも終わりもなく、多方に錯綜するノマド的なリゾームのモデルを提唱。狙いは、体系を作り上げそれに組みこまれないものを排除してきた西洋哲学に反抗し、リゾーム (地下茎、根茎) をモデルに発想の転換をさせるところにある。 (<https://ja.wikipedia.org/wiki/リゾーム>)

これら三つのコトの関数として、この特定の固有の名前のない女性は描かれてゐるといふことになります。さて、一体このインタビューで、安部公房は此の女性について何と発言してゐるかをみてみませう。副院長の馬も含め、女性である此の試験管ベビーについての発言を「強者・弱者と男女性別と愛および安部公房のユーモアと笑ひの関係」と題して一覧表にしましたので、ご覧下さい。この一覧表は、『都市への回路』(全集第26巻、196ページ下段から197ページ上段)の発言を〔(男、女)、(強者、悪者)〕の組み合わせの視点で、安部公房の発言を私が整理したものです。ダウンロードは：<https://docdro.id/UoO8STq>

(図は次のページに掲載)

2022/01/06
eiya iwata

強者・弱者と男女性別と愛および安部公房のユーモアと笑ひの関係

	男	女
登場人物	副院長の馬	馬の女秘書
強者	A ↓	B ↓
弱者	C ↑	D ↑

この境界線に
笑ひが生まれる

この境界線がニュートラルである。
強者であり且つ弱者であるといふ論理 (AND) はあり得ない。
強者でもなく弱者でもない論理 (NAND) がニュートラルである
第三の道 (超越論) です。安部公房の超越論は二進数でいふNANDの論理
(否定論理積) = 算術演算でいふ掛け算の否定の論理です。

安部公房の意思疎通の論理：
「他者とのトンネルは、自分の
ほうからだけ掘っていたんじゃ駄目
なんだ。むしろ他者のほうから始め
なければいけないという掘り方の
テクニックがある。」

この赤い実践の矢線は意思疎通のために

他者の方からトンネルを掘る (安部公房の意思疎通の論理) のではなく、
「副院長は「人間関係中枢」を冒されている存在」なので、逆になることを盗聴によつて
一方的に行ふことを意味する

この赤い破線の矢線は「他者のほうから掘るということを
前提にした上で、【トンネルを】掘る力を失つ」であることを意味する
= 「副院長は「人間関係中枢」を冒されている存在」である。

この青い実践の矢線は意思疎通のために

一方的に、強者であることを弱者に及ぼす
ことを意味してある = 「男を九九だけで制覇してある」
= 「一方的に掘るので、どうしても他者に到達できない。」

↑ 他者の方からトンネルを掘ることを知らないことを
意味する = 「試験管ペビーの女秘書は生まれながらにして
人間関係を喪失している。」それ故に「男を九九だけで制覇してある。」

(5) 愛と他者の問題

上記 (4) の一覧表をみると、安部公房のいふ愛とは、安部公房の意思疎通の論理のことであつて、「他者とのトンネルは、自分のほうからだけ掘っていたんじゃ駄目なんだ。むしろ他者のほうから始めなければいけないという掘り方のテクニックがある。」といふこの論理の行ふことの難しさを「愛と他者の問題」としてみるのが解ります。さうすると、安部公房のいふ愛の定義は、

愛の定義

愛とは、他者への愛であつて、自分が他者の身になつて、他者になつた自分が他者の方から自分へのトンネルを掘り始める技術 (テクニック) である。

といふことになります。ここで、私たちは安部公房固有の話法「僕の中の「僕」」を思ひ出すことになります。この話法の一人称・二人称・三人称の関係を「『デンドロカカリヤ』論 (後篇)」 (もぐら通信第54号) より引用します。即ち、一体どうやつて安部公房は他者の身になることができ、他者からトンネルを掘ることができるのか?といふ安部公房文学の秘密の解明を、こ

の話法の問題を解くことで、行つたのでした。この論考の中で提示する順序とは逆になりますが、理解を容易にする順序として最初に結論を述べて、詳細に入ります。

「3。まとめ

(略)

安部公房が詩人として世界を歌ふときには一つの特徴があると冒頭いひました。それは、現実の世界と其の中にある諸物諸事諸人に対して、呼びかけるといふ事であり、次に自問自答するといふ事です。『〈今僕はこうやつて〉』といふエッセイに、次の、言語で表現する事に関する安部公房の禁忌（タブー）のある事を、同じ引用箇所の後半に着目戴いて、締めくくりと致します。

「例えば今此の庭に立つ見事な二本の樹を見給え。見る見る内に生が僕の全身から流れ出して其の樹の葉むらに泳ぎ著く。何と云うゆらめきが拵る事だろう。僕の心に繋ろうとする努力がありありと見えて来る。さあ、此処で僕達が若し最善を發揮しようとしたならば一体何うすべきなのだろうか。こんなに僕を感じさせる或るもの、そこにある秘密を見抜く可きであろうか。いやいやそんな事ではあるまい。それは限りある行為であり外面への固定に過ぎないのであるまいか。」 [註6]

[註6]

このエッセイの全体と上の引用の箇所についての詳細な分析と解説は、『安部公房と共産主義』（もぐら通信第29号）の[註15]に詳述しましたので、これをご覧ください。」

「2。2 安部公房独自の話法（個別）

さて、それでは更に考へを進めて、この話者と話者に呼びかけられるコモン君の関係は、どのやうな関係なのでせうか？この答へがもう少し先の段落に書かれてゐます。

「ぼくらの病気はとりもなおさず、あのぼくとこのぼくが入れちがひになって、顔はあべこべの裏返しになり、意識が絶えず顔の内側へおっこちてしまう……、それが植物になることさ。」（全集第1巻、235ページ上段）

これは、「ぼく」といふ一人称の中に、もう一人「ぼく」といふ一人称がゐる

といふことを言つてゐるのです。安部公房の話法は内省的であり、普通の話法とは違つて、この分複雑です。そして、これは其のまま、安部公房の終生変はらぬ作者・読者論であり、主観・客観論であり、主語・述語論であり続けました。

例へば、論ずる対象を問はず、政治的な社会現象を論ずる場合でも、同じ全集第2巻にあるエッセイ、『デンドロカカリヤA』の前年に書かれた1948年の『平和について』に於いても、「僕の中の「僕」」に向かつて、話者（この場合の話者は、小説ではなくエッセイであるので安部公房自身）が話かけ、語りかけてゐます。（同巻、57ページ）

『終わりし道の標べ』では、同じ論理が感覚の問題としては、「二重感覚」と呼ばれてゐます。（「第三のノートー知られざる神一」、全集第1巻、363～369ページ）合わせ鏡の世界にゐる再帰的な自己のことです。〔註3〕

〔註3〕

安部公房の此の再帰的な自己については、『安部公房の変形能力17：まとめ～安部公房の人生の見取り図と再帰的人間像～』（もぐら通信第17号）に詳述しましたので、これをご覧下さい。この論考から以下に一部の引用をします。：

「安部公房は、この再帰的な人間の持つ二重感覚を『終りし道の標べに』の「第三のノートー知られざる神一」中で、高という登場人物の口を借りて、「二重感覚」とか、「二重の判断や意志」とか、また「二重の意識」とか、そして「あの感覚」と言わせております。」

これは、私の中の私、一人称の中の一人称、自己の中の（もう一つの）自己といふことであり、後者の私、後者の一人称、後者の自己は、実は前者の私、前者の一人称、前者の自己から見れば、実は三人称の役割を演じてゐるのです。

上記の『平和について』では、このことを次のやうに言つてゐます。前後の脈絡がわかると一層よく理解ができますが、引用の量と解説が多くなりますので、最小限の量に留めて引用します。

「そして実用主義的にその人間学が「君」の（僕の中の）平和を創り出すだろう。（略）「彼」のということさえ危険だ。平和はあくまでも「君」の、そして其処に於けるものだから。」

「僕の中の「僕」」を巡つて、僕と君と彼が登場するのです。これらは皆、安

部公房の意識の内部の一人称、二人称、三人称でありますから、それを示すために「僕の中の「僕」」と、後者の僕には一重鉤括弧が付されてをります。この「僕」が、「君」であり、「彼」なのです。そして、これらの人称が、そのまま安部公房の小説の登場人物たちの関係であるといふことなのです。

そして、上記の3つの人称の関係は、安部公房の世界を理解するためのキーワードである存在、象徴、部屋、窓、反照、自己承認の関係と繋がつてをり、これらの用語と一緒に論ぜられてみて、23歳の安部公房が哲学談義を交した親しき友、中埜肇宛の手紙に書いてある「新象徴主義哲学（存在象徴主義）」（『中埜肇宛第10信』全集第1巻、270ページ）といふ安部公房独自の哲学の骨格をなしてあるのです。

エッセイ『平和について』は、謂はば（同じ年に書かれた）『終りし道の標べに』の理論篇といふことができ、ここに書かれてある論理を以って、そのまま『終りし道の標べに』といふ実践篇を、それも上記に引用した「二重感覚」は勿論のことこれも合わせて、理解することができます。安部公房独自の哲学については、『安部公房の象徴学：「新象徴主義哲学」入門』と題して稿を改めて論じます。

閑話休題。

さて、コモン君の話です。

このように考へて来ますと、

「ぼくらの病気はとりもなおさず、あのぼくとこのぼくが入れちがいになって、顔はあべこべの裏返しになり、意識が絶えず顔の内側へおっこちてしまう……、それが植物になることさ。」

とある「あのぼく」と「このぼく」の関係は、

- (1) 「あのぼく」の中の「このぼく」なのか
- (2) 「このぼく」の中の「あのぼく」なのか

この二つの「ぼく」があつて、この関係そのものが既に最初から、交換関係を前提にし且つ「既にして」（超越論的に）結果してあることが判ります。このような関係にある「ぼく」には時間の先後は無いのです。従ひ、「あのぼく」

が「このぼく」と入れ替わり、「このぼく」が「あのぼく」に入れ替わることは、時間の無い、幾何学的な変形なのです。さうすると、

安部公房>相手に呼びかける話者>コモン君

の話法の3階層の構造の中では、

作者>作者の中の「僕」>作者の中の「僕」の中の「僕」

となり、更に一重鉤括弧との関係で考へを進めれば、

作者>作者の中の僕>「作者の中の僕」の中の「僕」

となり、いや、作者の中にも「僕」がある筈だと考へれば、世間で安部公房と呼ばれる作者の僕を一番上位の階層の一人称であるので、全ての僕に一重鉤括弧をつけて呼べば、

作者の僕>作者の中の「僕」>「作者の中の「僕」」の中の「僕」

といふ事になりませう。

これは、そのまま『デンドロカカリヤA』の世界では、

安部公房>相手に呼びかける話者>あなた（と呼びかけられる読者であるあなた）

となつてをり、安部公房の作者の僕の中の、その「僕」が呼びかける、「作者の中の「僕」の中の「僕」」といふ此処この場所にゐる「あなた」であるといふ複雑な位置にゐる（読者である）「あなた」なのです。

この関係を示してゐるのが、例へば次の箇所です。話者の声調は変はりません。

「そうすれば、そら、もう夕方だろう、あたりがすっかり冷えて、きつとぼくらの坐っているところが石段かなにかで、特別寒いからなんだと思うにきまつている。だから、気にしなくてもいいんだ。まだ植物になつてはいけないというぐらい、誰でも知っている。誰も君を咎めたりしやしないよ。」（全集第1

巻、235ページ上段) (傍線筆者)

ここで「ぼくら」と二人称複数に呼ばれてゐるのは、話者と「あなた」、つまり、次の下線部の「ぼくら」、即ち (B) と (C) のことなのです。

作者の僕 (A) > 作者の中の「僕」 (B) > 「作者の中の「僕」」の中の「僕」 (C)

さて、ここまでが冒頭部分の人称と話法の様子です。

この冒頭の導入部と、小説の本文の開始の間に、安部公房は「コモン君がデンドロカカリヤになった話」といふ一行の立て札を立ててゐます。この趣向は既に『S・カルマ氏の犯罪』や『デンドロカカリヤB』を思はせます。

さて、この立て札または案内人の次に始まる本文の人称と話法は一体どのやうになつてゐるでせうか。本文の文章は、次のやうに始まつてゐます。

「さて、コモン君のことを思い浮べてごらん。無理だつて？なに、どんな具合にでもいいんだよ。名前のおりでいいんだよ。コモン君がコモン君さ。ぼくの友達だったんだよ。なに？君の友人だつて？むろんそれでもいいさ。要するにコモン君でありさえすればいいんだよ。」 (全集第1巻、235ページ下段) (傍線筆者)

「さて、コモン君のことを思い浮べてごらん。」と話者の呼びかける相手は誰なのでせうか？誰に「コモン君のことを思い浮べてごらん」と言つてゐるのでせうか？

これは、読者であるあなたに呼びかけてゐるのです。あなたは、いつの間にか、さうすると、

作者の僕 (A) > 作者の中の「僕」 (B) > 作者の中の「僕」の中の「僕」 (= 「あなた」) (C) > 「作者の中の「僕」の中の「僕」 (= 「あなた」)」の中のコモン君 (D)

といふ安部公房独自の話法の構造の中で、

「作者の中の「僕」の中の「僕」（＝「あなた」）」の中のコモン君（D）

といふ階層にゐる「コモン君」に、いつの間にか、あなたはなつてゐるのです。即ち、読者は「作者の中の「僕」の中の「僕」（C）」を通じて、「作者の中の「僕」の中の「僕」（＝「あなた」）」の中のコモン君（D）」がいつの間にか現れて、あなたの意識の中に入つて行くのです。いや、あなたがコモン君（D）の意識の中に入つて行くのです。

そして、このコモン君といふ主人公は、話者である「作者の中の「僕」（B）」の友達であり、しかも同時に「作者の中の「僕」の中の「僕」（＝「あなた」）」（C）」とも友達であるといふのです。

これで、話者と読者が繋がる事になるのです。

しかし、『デンドロカカリヤB』では、『デンドロカカリヤA』の冒頭の導入部にある叙情的な呼びかけは削除されてゐて、最初からいきなり「コモン君がデンドロカカリヤになった話」といふ立て札で始つてゐます。

これは、前篇冒頭に掲げたチャート「詩人から小説家へ、しかし詩人のままに」を見ますと、『デンドロカカリヤB』の前に『赤い繭』『魔法のチョコレート』、そして芥川賞受賞作『S・カルマ氏の犯罪』といふ三人称で書かれた小説が並んでをりますので、その延長で『デンドロカカリヤB』が書かれたといふことを意味してゐます。とすれば、『デンドロカカリヤB』の話法の構造は、『デンドロカカリヤA』での、

安部公房＞相手に呼びかける話者＞コモン君

といふ構造ではなく、

安部公房＞相手に呼びかけることのない話者（＝単に話者としてある話者）＞コモン君

といふ構造に変換されてゐることがわかります。即ち、

安部公房＞話者＞コモン君

といふ構図になり、話者がコモン君を語り、話者がコモン君の意識の中に入つて此れを語るといふ話法に変はつてゐます。これが、リルケ風の叙情を取り除くための蒸留法であつたといふ事になります。

しかし、忘れてはならないのは、上述しましたやうに、

作者の僕 (A) > 作者の中の「僕」 (B) > 「作者の中の「僕」」の中の「僕」 (C)

といふ安部公房独特の内省的な構造は変はらないといふ事です。

また特記すべきは、この蒸留法の成功は、

作者の僕 (A) > 作者の中の「僕」 (B) > 「作者の中の「僕」」の中の「僕」 (=「あなた」) (C) > 「作者の中の「僕」の中の「僕」 (=「あなた」)」の中のコモン君 (D)

といふ『デンドロカカリヤA』の話法の構造の最下層の「「作者の中の「僕」の中の「僕」 (=「あなた」)」の中のコモン君 (D)」を取り去って、『デンドロカカリヤB』が成り立つてゐるといふ事です。」

(6) 『密会』の持つ神話性

(続く)

SF作家荒巻義雄氏との賀状のやりとり

令和4年 明けましておめでとうございます。

18世紀後半から19世紀にかけて起きた産業革命の根幹は、石炭利用のエネルギー革命であり、さらに蒸気機関や内熱機関へと発展し、先進国家群を戦争の世紀へ導いたとも言えます。しかし、2020年代では、世界という名の超巨大機械のエンジンを動かすエネルギーは、太陽光や風力、地熱、波浪、さらに水素へと転換されようとしています。

一方、時代の相も〈物〉から〈情報〉へと変換され、電波に代表される〈波の時代〉へ変わると同時に、今後は仮想現実技術が急速に発達するはずです。

また、手触り感や重さのある通貨なども、いずれは姿を消し、ビットコインのような価値はあるが、実質感のない電子マネーのみとなるでしょう。

私は、こうした20世紀とは全く相貌を異にする近未来を、**マニエリスム時代**と名付けたいと思います。大豆から作られた合成肉で象徴されるような、本物そっくりの偽物が、本物以上の商品として流通するような社会の到来です。

問題なのは、我々人類は、そうした抽象度が極めて高い社会にうまく適応できるかどうかですが、皆様はいかがでしょう。

荒巻義雄

拝復

令和4年 鰻年、明けましておめでたうございます。

勝手に今年をとらへどころがない年なので、鰻年と名づけました。まあ、十二支の神様も驚いてゐるであらませう。

マニエリスムを時間から解き放つと、この原理は古今東西に通じます。二十一

世紀がいよいよさうだといふお考へには賛成します。私はバロックと呼んでみますが、要するに数学でいふならトポロジー（位相幾何学）の世紀です。

しかし、思想といふものも堆積します。物質の通貨も残ります。原子力も内燃機関も石油ストーブも残ります。層をなして残ることでせう。電子マネーも通貨ですから、通貨である以上、ヤップ島の大きな石の通貨と同じ性質を有してゐます。それは0と1のデジタルの間（非連続）もさうですが、隙間凹があること、穴が空いてゐること。それから永久的な不変性と耐久性を素材が備へてゐること（例：石、金属、紙等）。この二つが通貨の決定条件です。あとは材料に対する加工技術の問題です。

とすれば、後者の素材の不変性と耐久性を、デジタル通貨の場合には国家の定める安全保障戦略とシステムの保証する完全性（ハッキングされないこと）がなければなりませんので、特に後者は技術が秒進分歩ですから、全てをデジタル通貨にするには、特に今の日本の政治家と官僚の頭の遅れは（本当は頭の悪さといふべきですが）救ひやうがありませんので、完全には移行しないでせう。いづれにせよ、私も好きなT.S.エリオットの『伝統と個人の才能』の時代となり、世紀となるのではないでせうか。伝統回帰です。そして同時にニーチェの著作の題名を借りれば「善悪の彼岸」に既に私たちはゐることに気づくでせう。これを混沌と呼ぶなら混沌、混乱と呼ぶなら混乱、影絵の時代と呼ぶなら影絵の時代です。プラトンのいふ洞窟の壁に映る外部の影絵を私たちは見てゐることに日々気づくでせう。気づく人は生き残り、気づかぬ人は愚か者になるでせう。

かく考へれば2500年前の思想の歴史的発現が、当時は地域的にはバラバラに出現した賢者たちが、今度はネットのお蔭で空間的に同時にひと所に出現するでせう。即ち、マニエリスム作家の言葉でいへば、贋の賢者たちが出現することになります。真理と冗談紙一重といふやうな理論（マニエリスム）や人間そつくり（詐欺師）や贋の通貨（トークン）、贋の現実（仮想現実）が二十世紀から引き続き盛んになることとせう。しかし根本はトポロジーといふ数学があり、これが地球上に広まることになります。

この柔軟な真理には、共産主義の中国はついて来ることはできず、従ひアメリカも同じ状態になつて、やはり共にこの二つのイデオロギー国家は衰退します。日本はもともと縄文時代からトポロジーの国ですから、伝統と個人に回帰して、特に後者の個人の才能を本当に大切にすれば、逆に栄えるでせう。しかし哲学を忘れ呆けてゐる日本の国ですから（上は政治家から庶民に至るまで）、どうなるかは不明です。このための教育を余りに疎かにして来ました。

といふことは大学は一層淘汰され、役人もさうなり、政治家もさうなるといふことになります。私は、一見滅びにむかふ時勢は良いことだとおもつてゐます。本物だけが残るでせう。

そしてこの地点で、私は御主張に同意しますが、目に見えない価値のみが残り、この残つた目に見えない価値から物質が生まれるでせう。二十世紀とは逆の事態となります。浄土真宗の法話を聞くと本当にダメですから、この宗派も滅びます。しかし臨済宗のお坊さんの言葉は実に生き生きとして非常にいいのです。といふことは、烏合の衆は滅び（二十世紀型の大衆は滅びるといふことですー親鸞聖人が哭（な）いてゐるでせうー）、伝統を弁へた個人は生き残ります（栄西は喜んでゐるでせう）。個人の才能を活かすことが大事な時代になります。

問題なのは、我々人類は、おつしやる通り、そうした抽象度が極めて高い社会にうまく適応できるかどうかですが、私の昨年末のAIを使用した翻訳経験に鑑みれば（『AIの功罪とゲーロバリズム』（もぐら通信第150号）参照）、急激に人間の定型業務は、消えてなくなり、これによつて収入は激減し（対価を勘定する際の金額の桁が一桁消滅しました。20世紀には6桁で期待し計算していた対価が5桁になりましたので）、益々SFする心が大切になり、思考するSFが大切になると思ひます。弱者の救済。弱者と強者、即ち、患者と医者、貧乏人と金持ち。このやうな二項対立の構図で近代欧米諸国の偽善が益々暴かれ、キリスト教の偽善も暴かれるでせう。しかし、これは大衆化とともに起こる必然ですから、これが地獄の底を打てば、運気は上昇します。あとは忍耐の問題です。かうして滅びるものは滅び、私たち個人は隣に廢墟の存在を知つて生きることになります。私は素晴らしい時代だと思ひます。

ヨーロッパの歴史に同類の時代を求めれば、ペストの流行したメメント・モリの時代です。歴史は確かにくりかへしてゐますね。今までドイツの複数の放送をネットで視聴して来てみて、このmemento mori（死を忘れるな）といふ言葉は耳にしたことがありません。ヨーロッパ地域の彼らもまた歴史を忘れたツケを払つてゐることが判ります。毎日毎時間毎回常にウイルスの死者の数のことばかり報道してゐるにも拘らず、です。EUも自壊することを、これは意味してゐます。アメリカについてはいふまでもありません。死を忘れた共同体は滅びます。私は十五世紀のサヴォナローラではありません。しかし、新年早々廢墟と死について語ることになることは。

かくみれば、しかし、今年は廢墟の好きだつた安部公房の年といふことになります。モダン・タイムス（近代といふ時代）を生きる彼らの歴史に鑑みれば、ペストの十四世紀も復活してゐる周期の年西暦2022年が、私たちの文明の令和4年だ

といふことになります。私たちの歴史の十四世紀は、鎌倉・室町・南北朝の時代です。

不思議な一致ですが、私たちからみてユーラシア大陸の極西であるヨーロッパ地域でのペストといふ疫病の流行は、死に対する消極的な警句メント・モリを生み出しましたが、同じ世紀に極東の日本ではサムライが死に対する積極的な精神を実践してゐたといふ歴史的事実が、洋の東西で再び西暦2022年・令和四年に繰り返すことになれば、国際の世の中も大いに変わることでせう。私たち日本人は死を思ふべき新年なのです。

日本の疫病の歴史を紐解けば、第十代崇神天皇（神武天皇に次ぐ二人目のハツクニシラス・スメラミコト）の御代に、疫病が機縁になつて伊勢神宮が建立されたわけですから、令和四年は伊勢神宮に帰り、天照大御神に帰り、崇神天皇に帰り、やまと言葉で考へるならば、同じハツクニシラス・スメラミコト初代の神武天皇に帰る私たちの一周期は2000年単位で物を考へよ、といふことになります。

こぞ みたび やたがらす
去年のうち三度現はる八咫鳥 今年は吾も東へゆかむ
春の雪降りける宮の初詣 神慮あらはる鹿嶋灘かな

岩田英哉拝

『文章読本』論
(11)
井上ひさし (2)

岩田英哉

10。1987・昭和62年：井上ひさし（53歳）昭和生

7月17日

第一回オンライン安部公房読書会報告

第一回安部公房読書会が開催されました。以下、簡単な報告をして、読者の記録と記憶に残します。

- 1。開催日時：2022年（令和4年）1月9日（日曜日）13：00から15：45
- 2。作品：『密会』
- 3。出席者：多士済済の老若男女の9名
- 4。進行：下記の説明資料を元に共通の理解基盤を共有した上で各自の自由な発言が行はれた。
- 5。説明資料：後世の読者のために量の多寡を厭はずに、以下に転載します。

第一回読書会説明資料#0

もぐら通信

小説『密会』の全体は如何なるものであるか

目次

- 1。形式
- 2。内容
 - 2.1 報告の始まりと報告書の始まり
 - 2.1.1 報告の始まり
 - 2.1.2 仮説設定の文学の論理に従った登場人物と役割
 - 2.2 シャーマン安部公房の秘儀の式次第
 - 2.2.1 差異を設ける：報告書の始まり
 - 2.2.2 呪文を唱へる
 - 2.2.3 存在の招来
 - 2.2.4 いよいよ物語が始まる

1。形式

ノートⅠ、ノートⅡ、ノートⅢ、「付記」

1.1 「付記」：これは安部公房のいふ《余白》であり《沈黙》であり、要するに《……》である。

以下、任意に選んだ作品の最後を見てみると次のやうになつてゐます：

(1) 名もなき夜のために：（ここに空白がある。空白の告白がある。（略）僕ら人間を物への供物としよう。名もなき夜に生きて昼を織り出すものとなろう。/ ある日……………。）

(2) S・カルマ氏の犯罪： ★見渡すかぎりの曠野です。/ その中でぼくは静かに果てしなく成長してゆく壁なのです。

★が余白である曠野と其れ以前の世界との境界を示してゐる。

(3) 箱男： いつも驚くことだが、ある種の落書は余白そのものなのだ。（略）/ 救急車のサイレンが聞こえて来た。

(4) 密会：いくら認めないつもりでも、明日の新聞に先を越され、ぼくは明日という過去の中で、何度も確実に死にづつける。やさしい一人だけの密会を抱きしめて……………。

《……》が余白です。

(5) 方舟さくら丸：「人の命より 魚の命」「俺が散って 桜が咲くころ 恋も咲くだろう」

この最後の25の章全体が余白であり沈黙の、即ち「透明な」景色の章です。そして、この章にある上記の詩の一文字空白の隙間凹も存在の宿る余白であり空白なのです。

(6) カンガルー・ノート：

人さらひの詩と呪文（オタスケ オタスケ オタスケヨ オネガイダカラ タスケテヨ）

この存在の中で歌はれる詩（ ）の記号がそれを示してある一の間の一文字分の余白が凹なのです。そして描かれてある冷蔵庫大の段ボール箱といふ凹の形象も、余白と沈黙の空間なのです。これを安部公房は短編小説『使者』では、主人公に「箱の論理」と呼ばせてある。

2. 内容

小説は、次のようなネスト構造、入籠構造、フラクタル構造となつてゐる。基本的な構造は、安部公房固有の話法である「僕の中の「僕」」または「私の中の「わたし」」といふ構造です。以下示します。

妻は主人公の夫の案内人であり、夫である主人公は私たち読者の案内人になつてゐるのです。この存在への案内人である主人公の報告書を、読者である私たちは読むといふことになります。さうしていつの間にか（超越論）、存在といふ迷路の中を彷徨ひ歩くことになります。即ち、次のような話法の階層を、この小説は備へてゐます。

作者>読者>存在の話 [妻の失踪>夫・主人公の失踪>夫・主人公が報告者である存在の話《ノートⅠ、ノートⅡ、ノートⅢ、「付記」》

2.1 報告の始まりと報告書の始まり

2.1.1 報告の始まり・出だし・イントロダクション・頭出し

競技場が舞台、即ち、箱男の詩が舞台です。『箱男』の中に挿入されてゐる自動車の廃棄場の写真の下の夜の競技場の詩を参照下さい。引用します。

走りつづけたが
追いつけなかった人々の
匱のゴール
旗は振られ
審判も観客も
とうに引き揚げてしまった
夜の競技場

2.1.2 仮説設定の文学の論理に従つた登場人物と役割

副院長の馬（怪物、化け物、モンスター）の設定：異化作用による非日常化
（例：フランケンシュタイン）

依頼人：副院長の馬
調査員：主人公

依頼人と調査員といふ構図は『燃えつきた地図』と同じです。

馬から受け取ったもの：(1) ノート (1冊)
(2) カセット・テープ (3本)：馬の盗聴した録音
テープ

存在の中での彷徨に関する《報告書》が(ノートⅠ、ノートⅡ、ノートⅢ、「付記」)です。

2.2 シャーマン安部公房の秘儀の式次第

2.2.1 差異を設ける：報告書の始まり

(1) 時間：「夜明け前、たしか四時十分頃」といふ夜と朝の隙間の時間

(2) 空間：

(a) 「射撃位置である西側の端は黒い穴のようだ。」→凹の形象：他には紙
パック

といふ箱凹の形象からの牛乳(この牛乳を飲むと馬は存在の世界の副院
長となる)

(b) 「突き当たりの壁には、幾重にも土嚢が積み重ねられ、そのすぐ手前が
標的操作用の深い濠だ。」これを読むと実は、旧陸軍射撃場といふ空
間自体が凹の形象であることがわかる。または凸凹の形象を備へてあ
る。さうしてみれば箱男の詩も含めて、競技場とは全体が凹の形象を
した空間であることに気づきます。存在の窪みで存在の物語が始まる
のです。

そして、その次には、存在を招来するために呪文を唱へなければなりません。

2.2.2 呪文を唱へる

以下、下線部はみなくり返しの動作であるので呪文です。

(1) 馬が射撃場跡を、端から端までダク足で走りつづけてか、「八往復もし
たらしい。」

(2) 「せわしい呼吸音に言葉をとぎらせながら、首にまいた手拭で顔の汗を

ふき、搬んでやった紙パックの牛乳を息もつかずに飲みほすと、得意気に後脚だけで立って、軽くスキップを踏んでみせた。

呪文を唱へると存在がやつて来る。人さらひがやつて来るのです（例：『カンガルー・ノート』の最後の章）。

2.2.3 存在の招来

「ある夏の朝、誰も呼んだ覚えがないのに救急車がいきなり乗りつけて、男の妻を連れ去った。/ まったく寝耳に水の出来事だった。不意のサイレンに起こされるまでは、夫婦ともぐっすり眠り込んでいたので、なんの準備も出来ていなかった。」

存在は結末継承によつて、即ち、前作の結末を次作の冒頭で共有することによつて招来されて、出現します。

(1) 冒頭共有：『箱男』の最後の救急車のサイレンの音の結末継承・結末共有で存在の話が始まる。

(2) 結末継承：地下の密室の中での「明日の新聞」を読む存在の世界。それ故に、次作は『方舟さくら丸』の地下洞窟の世界となつてゐます。

2.2.4 いよいよ物語が始まる

ここから読者会も本格的に始まります。以上で全体が明らかですので、参加者は好き勝手なことをいふことができます。自由に発言して下さい。

以上

読書会のための資料#1

もぐら通信

1。安部公房の小説観：小説の目的 [モデルとしての小説]

二十歳の安部公房は、『没落の書』（1944年11月21日）の中で、次のように書いてゐます。十八歳の論文『問題下降に依る肯定の批判』と同じで、アンドレ・ブルトンならば『シュールレアリスム宣言』に相当する宣言書といふことのできる『没落の書』といふ安部公房自身の小説に関する小説観について

ての文章です。

「私は唯一の解決者たる宿命を拒みはしない。私は自分が他愛の義務を、自分の詩魂の内に感ずる事を人々の為に祝福する。私は総てを展開しよう。だが常に注意し給え。解決は言葉の最後にのみ与えられるものではない。君たちは画き出す人でなければならぬ。私は単に暗示者だ。絵具と構図は君たちに任せる。私はモデルを象徴しよう。それは先ず以下書き述べる概念の古塔だ。すぐれた頭脳の所有者である君達は、次の象徴詩で総てを理解するであろうけれども、尚も論理的解決を望む特殊の人々の為に、別に私自身でも一つ絵を書き上げて見よう。

〔註〕それも恐らく新世紀の存在論として、重要な思想的価値を有する事になるであろうけれども、今此処では述べたくも無いし、又其の必要も認めない。私はむしろ此の古塔の詩の方を愛する。

〔註〕 存在論的現象批判、並びにその構造」（全集第1巻、141ページ上段）

と言つてから、「概念の古塔」といふ散文詩が書かれてゐます。この詩の御一読をお薦めします。

私が『没落の書』から引用して、その趣旨をまとめると、次の通りです。

（1）安部公房は小説をモデル（模型）として製作したのだといふこと。（これが、普通の作家とは異なる、安部公房の小説の一大特徴）

（2）このモデルは象徴的なモデルであつて、これを読者に提示するので、あとは読者よ、あなたの人生を描く構図と絵の具の選択は、君たちに任せる、自分固有の人生を生きよといふこと。自分の人生は自分の白紙のキャンバス（画布）に自分で描いてくれ。それが生きる事だ。と、安部公房の小説は、さう云つてゐる。それ故に、安部公房はいつも存在への立て札を立てる。

（3）安部公房のどの作品も、安部公房の「詩魂の内に感ずる事を人々の為に祝福する」、そのために書かれてゐること。（安部公房は、この精神をリルケに学んだ）

（4）このモデルは、存在論的現象批判によるものであり、その作品構造もまた、さうであること（これが安部公房の「新象徴主義哲学」、即ち汎神論的存

在論)。20歳の論文『詩と詩人(意識と無意識)』に此の事は詳しい。このやうな、安部公房の志を読みますと、安部公房の読者であるといふことは、幸せなことであり、私たちは稀有な読者であることなのだと思います。こんなことを嘗て考へた言語の藝術家はゐないし、読者もゐない。これが、安部公房の読者がSFの読者と重複してゐることの理由であり、両方の文学に偏見なく自由に往来する私たちだといふことになります。存在の方向へと生きるためのモデルを掲げることを「板を掲げる」と安部公房は次のやうに言つてゐます：

「だが実は地球に於いて人類の歴史が始まって以来、高く新しき板を掲げたニイチェがやっと百歩進んだのに過ぎないのだ。ドストエフスキイは幾度も立上ったが二三步毎に息切れがした。」(『問題下降に依る肯定の批判』全集第1巻、15ページ下段)(傍線は原文傍点)

2。「終りし道の標べに」安部公房はいつも立つて小説を書いてゐる

- (1) 初めが終わりであり、終わりが初めであるメビウスの環の世界
- (2) 亡くなつた親友金山時夫への哀惜と鎮魂の感情がいつも底に流れてゐる。
- (3) 劇場の幕の上がる前にいつも芝居は終はつてゐる。《開幕五分前》(『箱男』の最後から二番目の章の題名)に存在してゐる此れは読書会である。

3. 安部公房の超越論：汎神論的存在論(この読書会のこと。存在の読書会としたい)

4. 存在への案内人

- (1) 『密会』の場合は、この案内人の役は主人公の誘拐されて失踪した妻
- (2) 主人公はレポーター・報告者

5. 仮説設定の文学：SF文学

附録：安部公房の小説論総覧：(安部公房全集より)

4つには便宜上分けてありますが、お互ひに相互参照的(referencial)であることはいふまでもありません。青字のものは、安部公房の小説論としては最初に読むと其の考への全体が書かれてゐて安部公房の小説観への良い入り口になると思ふものです。

1 物語は、時間の空間化であるといふ安部公房の小説観

時間の空間化、即ち函数化といふ小説観はこのまま安部公房の演劇観であり、これを演技論に問題下降したものが、安部公房スタジオの演技論の中核概念「ニュートラル」である。

1。『歴史を棄てるべき時』：全集第25巻、392ページ：武満徹との対談にこのことが出てくる。それから、プロットの強固さについて：ポーから学んだことが。

2。安部公房氏（散文精神）：全集第28巻、298ページ

3。『賭け』という小説がある：全集第11巻、305ページ

4。『作品が命じる』：全集第19巻、21ページ

5。『作品の側に主導権（私の小説作法）』：全集第19巻、21ページ

6。『抽象的小説の問題』：全集第7巻、154ページ

7。『何を書きたいか』：全集第4巻、348ページ

8。『なぜ書くか』：全集第28巻、69ページ

9。『生の言葉』：全集第1巻、481ページ

10。物語とは：第23巻、111ページ

11。わが作品を語る：第30巻、174ページ

12。わが小説（「第四間氷期」）：第15巻、436ページ

13。わが文学の揺籃期：第23巻、24ページやはり1970年には、前期20年を振り返ったということ、この題名は意味している。

14。わたしの小説観：第4巻、282ページ

15。わたしの小説作法：第19巻、21ページ

16。わたしの文章：第5巻、343ページ

17。周辺飛行1：物語とは（全集第25巻、111ページ）「物語とは、因果律によって世界を梱包してみせる思考のゲームである。現在というこの瞬間を、過去の結果と考え、未来の原因とみなすことで、その重みを歴史の中に分散し、かろうじて現在に耐え、切り抜けていくための生活技術としての物語。」

18。私の文学観 演劇観：全集第23巻、350ページ

19。『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ

20。全集第23巻、109ページ：夢化作用—第13回女流新人賞選評。ここに積算の文学についての自分の創作方法のわかりやすい説明がある。これを活用すること。

21。『散文精神』：全集28巻、298ページ

22。『小説の書き方』：全集第4巻、492ページ

23。『小説の好悪像と書き方（二）』：全集第4巻、492ページ

24。『小説の秘密』：全集第27巻、54ページ

25. 『小説は考えて』：全集第25巻、537ページ
26. 『小説は無限の情報を盛る器』：全集第28巻、49ページ
27. 『小説を生む発想』：全集第23巻、337ページ
28. 『ストーリー主義の克服』：全集20巻、136ページ
29. 『ストーリーという罫』：全集第8巻、141ページ
30. 『「砂の女」と小説作法』：全集第19巻、207ページ
31. 『創造のプロセスを語る』：全集27巻、29ページ
32. 『創造のモメント』：全集第2巻、98ページ
33. 『誰のために小説を書くか』：全集第2巻、375ページ
34. 『僕の小説の方法論』：全集第3巻、177ページ
35. 『一寸後は闇』：全集第23巻、24ページ：

私小説を書かない理由を3つ挙げてある。これは短い重要なエッセイ。ポーのことが書いてある（理由の2）。また理由の1は作品が函数であること、作者はその変数の一つであることが述べられてある。

II 仮説設定の文学とSF文学論

自分の仮説設定の文学の淵源をポーに求めてある。

1. 私の文学を語る：全集第22巻、42ページ上段
子供のころから文章を書くのが好きだったという発言がある。小学生のころ作り話をして先生に盗作の疑いをかけられて叱られたこと。そして、中学二年頃に、ポーに熱中したことが発言されている。このインタビューは、この前後も非常に重要な安部公房の発言を含んでいる。
2. 私の創作ノート：全集20巻、162ページ
3. 『仮説の文学』：全集第15巻、237ページ
4. 『仮説・冬眠型結晶模様』：全集第7巻、77ページ
5. 『空想科学小説について』：全集第15巻、237ページ
6. 『空想科学小説の型』：全集第8巻、252ページ
7. 『空想的リアリズム』：全集第7巻、50ページ
8. 『ぼくのSF観』：全集17巻、288ページ
9. 「SFの流行について」（全集第16巻、376ページ）

III 小説の構造と言語の構造

安部公房が考へてゐたのは、言語構造と作品構造の一致である。作品構造がそのまま言語構造である小説を書かうとした。以下、これに関する当該箇所を。

1. <安部公房氏語る>：：第29巻、194ページ
『長編書き下ろし（仮題「飛ぶ男」）やってて、ひどい病氣して。で、入院し

てる間に、ちょっと焦ったんじゃないか。あんまり長いこと書いていないこともあるし。それで向こう側から、あるものが見えてきたんだよ。』

2. <安部公房さんに聞く>：全集第29巻、228ページ：

『カンガルー・ノート』は、「全体がびっくり箱みたいに」「フランス料理から日本の懐石まで全部入っているような」

3. 大江健三郎との対談：「構造が全部ぬけたテントの梁みたいな小説」（全集第29巻、74ページ上段）

IV 安部公房の言語論

『安部公房文学の毒について~安部公房の読者のための解毒剤~』（もぐら通信第55号）の一章「4. 言語論といふ毒（問題下降の毒）」の最後に、安部公房の言語論をまとめて引用しましたので、ご覧下さい。

安部公房の言語論に関する発言はこれ以外にも全集のあちこちに多くありますが、ここでは小説論との関係で僅かに上記の参照に留めます。

V 逆進化論

この年1978年は、『密会』の刊行後で、逆進化の言葉が多い。とすると、『密会』とは、逆進化論、そして言語とエロス（性愛）、言語構造と小説構造、言語のデジタルとアナログ性を巡る小説といふ事になる。

1. 全集第26巻、143ページ：「密会」の安部公房氏

2. 全集第26巻、146ページ：構造主義的な思考形式：渡辺広士のインタビュー

3. 全集第26巻、193ページ：都市への回路：密会を巡って逆進化論が始まる。『都市への回路』については、『都市への回路』論（もぐら通信第147号以降にて連載で詳細に論じてみますので、これをご覧下さい。）

以上

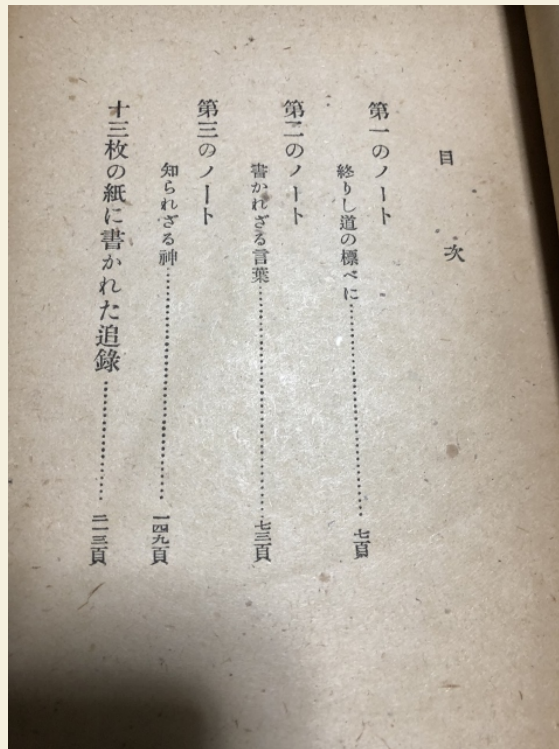
読書会のための資料#2

2021/12/22 eiya iwata		小説『密会』の構造(v2) (存在の3階層)						
地上	主人公の妻 (案内人)	誘拐 (突発事件) 救急車	病院 (<建物)	個別文法 (日本語の文法)	日本語	クレオール語	漁村 浜辺 砂浜 境界 電宮 城	浦島太郎の物語
地下				普遍文法 (チョムスキー)				
存在	設計図			「開かれたプログラム」 (= 言語)				
余白・沈黙	[[空間 (隙間・歪み)、時間 (遅延 = 《明日の新聞》)]]							

読書会のための説明資料# 3

『終りし道の標べに』の目次構成
(存在の三階層+)

『密会』の単行本の体裁を調べてみて、よく似た目次のある本のことを思ひ出しましたので、このことを其のまま読書会のための説明資料3としてお届けします。



『密会』の体裁は、安部公房の処女作『終りし道の標べに』に全く同じでした。当時の初版本の目次は次のものでした。初版本の体裁の写真を最後に載せましたので、ご覧下さい。

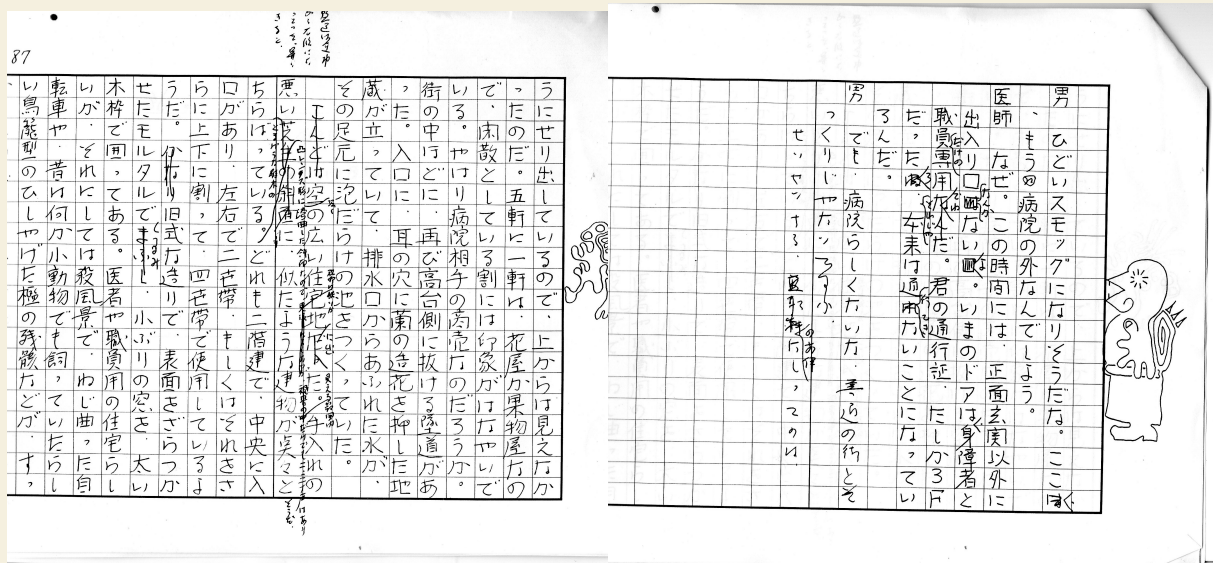
2021/12/22 eiya iwata		小説『密会』の構造(v2) (存在の3階層)							
地上	主人公の妻 (案内人)	誘拐 (突発事件) 救急車	病院 (<建物)	個別文法 (日本語の文法)	日本語	クレオール語	漁村 浜辺 砂浜 境界 電宮 城	浦島太郎の物語	
地下				普遍文法 (チョムスキー)					
存在	設計図			「開かれたプログラム」 (= 言語)					
余白・沈黙	[[空間 (隙間・歪み)、時間 (遅延=《明日の新聞》)]]								

かうして二つを眺めて比較をしてみますと、『密会』の三階層目の「〈付記〉」が、余白であることに気が付きました。上図にいふ「余白・沈黙」の最深部の階層にあたる余白です。『箱男』について、安部公房が余白は大事だといつてゐる其の余白です。箱男にとつての箱の内部で壁に書く落書きが、この〈付記〉です。この落書きで安部公房の実際に『密会』の原稿用紙の余白に描いた落書は、「『密会』の書き捨て原稿に描いた安部公房の落書き」（もぐら通信第63号から第65号）と題して掲載しましたので、これらの落書きをご覧下さい。

第63号のダウンロードは：<https://docdro.id/62ypij7>

第64号のダウンロードは：<https://docdro.id/4SKBm7h>

第65号のダウンロードは：<https://docdro.id/9lpBNDZ>



ここに至つて私たち読者の知ることは、「明日の新聞」としていつも最後の場面に出て来る安部公房固有の存在論の新聞である《明日の新聞》とは、この『密会』ならば〈付記〉に当たる章であり、処女作『終りし道の標べに』になれば最後の四番目の章である「十三枚の紙に書かれた追録」が其れであるといふことです。試しに今『終りし道の標べに』の最後の章である追録の冒頭第一行を見ると、次のやうになつてゐる。

「夜が明けた。いよいよ本当の夜が明けた。」（全集第1巻、379ページ）

これに対して『密会』の〈付記〉と両脇に三角形の括弧といふ安部公房固有の存在論の記号で囲んで題された余白の章〈付記〉の最初の一行は、既に十分過

ざる位に形象化された安部公房の存在論の、次の隙間の形象となつてゐる。上記の引用は時間の隙間、下記の引用は空間の隙間です。

「車椅子ごと、腕に〔溶骨症の少女を〕抱えるようにして、人工の岩の隙間から這い上がると、記念館前の広場は前夜祭見物の車ですでにいっぱいになっていた。」（全集第26巻、122ページ）（傍線引用者）

本祭の開始する「以前」の、即ち劇場の幕の上がる「以前」の、正確には《開幕五分前》には劇は終はつてゐて《そして開幕のベルも聞かずに劇は終わった》のは（以上『箱男』の二つの章の題名である）のは、夜明け「以前」の夜明け一時間の隙間一、即ち「本当の夜」明け、あるひは「腕に〔溶骨症の少女を〕抱えるようにして、人工の岩の隙間から這い上がる」と其処に「既に」（超越論）存在してゐる「本当の」「広場」一空間の隙間一（傍線は引用者）。主人公が意識を取り戻すのは、「闇の中で意識を取り戻した」と最後の章の最後の節にはさうあり、この節で主人公は「例の明日の新聞がもみくしゃのまま投げ捨てられて」ゐるのを見つけるのです（全集第26巻、138ページ下段）（以後傍線は原文傍点）主人公には劇としての本祭の記憶は「最初からそもそも」（超越論）喪失してゐる。私たちの日常生活は「最初からそもそも」（超越論）喪失の上になりたつてゐる。各自御研究下さい。安部公房の創造する、存在への《案内人》を思ひ出して欲しい。或る朝目覚めてみたら自分の名前を喪失してしまひ失はれた名前の印字してある逃走する名刺、一度取り逃して失つたハンミョウ、喪失した凹の顔、最初から「燃えつき」てゐる時間の中に存在してゐない存在の地図、失踪した箱男の書いた箱製作マニュアル、突然救急車に搬送されて失踪した妻、存在しない日時計虫ユープケッチャ、脛から朝目が覚めてみたら生えてゐた隙間だらけのカイワレ大根等々等々。

従ひ、本祭は、「岩の隙間」から這い出て来た時には「既に」（超越論）終はつてしまつてゐる。その過去といふ未来の事件を報じるのが《明日の新聞》です。傑作『第四間氷期』の間氷期の氷期と氷期のアイダ（間）の意味を考へてほしい。この小説全体が隙間での物語であり、隙間からなる作品です。さて従ひ、それ故に、「いくら認めないつもりでも、明日の新聞に先を越され、ぼくは明日という過去の中で、何度も確実に死に続ける」のです（小説の最後から二行目の文）。さう、最初からそもそも（超越論）時間の中では存在しない《明日の新聞》に現在時点で「先を越され」てゐて、既に（超越論）未来に発行されてゐた《明日の新聞》に報じられてゐる「明日といふ過去の中で」既に（超越論）死んでゐる生者として、だから「何度も確実に死に続ける」。

とすると、溶骨症の少女は、最初に失踪した主人公の妻の時間を遡行した女性の「未分化の実存」になつた性分化「以前」の性でありセックスなのかも知れない。即ち、溶骨症の少女はニュートラル・中性の、時間の中では必然である二項対立を超越した従ひ存在なのであり、それ故に、妻には結局会はず仕舞いのまま時間の中での存在即ち実存である主人公は「やさしい一人だけの密会を抱きしめて……」ゐるのであり、初期安部公房以来の（リルケに教はつた）沈黙の記号「……」でさう書いて終つてゐる此の小説の最後の一行が、実はメビウスの環になつて最初私たち読者の表紙に印字されててゐて既に（超越論）目にしてしまつてゐる題名「密会」の意味だといふことになります。《密会》と、小説『箱男』にならつて〔註1〕、さう書くべきでせう。

このやうに考察して参りましても、小説『箱男』は初期安部公房〔註2〕で頻出した存在論の記号〔註3〕の復活といふことですから、後期安部公房20年の幕開け（劇団たる安部公房スタジオの立ち上げと同期。演技論の中心概念はニュートラル即ち存在）の小説として相応しい小説といふことになります。

〔註1〕

『箱男』の章の見出しは全て存在論の記号《》で囲まれてゐる。即ち、全ての各章がいはば『第四間氷期』なのです。隙間の中での物語であり、隙間を繋いで書いた物語、これが『箱男』だといふことができます。

〔註2〕

『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について（1）』の中の「I 安部公房の自筆年譜と『形象詩集』の関係について」（もぐら通信第56号）より：

初期安部公房の定義

『安部公房の初期作品に頻出する「転身」といふ語について』といふ題でお話を致しますが、ここでいふ安部公房文学の「初期」といふ言葉の定義について最初に簡単に説明をして読者のご理解を得てから本題に入ります。

この場合の「初期」とは、既に「『デンドロカカリヤ』論（前篇）」（もぐら通信第53号）にて明らかに致しました「詩人から小説家へ、しかし詩人のままに」のチャート図に基づいて定義をすると、次のやうになります。

1。狭義には、3つの問題下降の時期、即ち詩人から小説家への変身に3回の問題下降によつて美事に成功する時期、即ち全集によれば詩集『没我の地平』を著した西暦1946年（昭和21年）安部公房22歳から『デンドロカカリヤB』〔註1〕を著した西暦1952年（昭和27年）安部公房28歳までの期間を言ひ、

2。広義には、3つの問題下降以前の時期、即ち西暦1942年（昭和17年）安部公房18歳から西暦1944年（昭和19年）安部公房20歳までの問題下降論確立の時期及び、西暦1945年（昭和20年）安部公房21歳までの1年間を含んだ時期を併せた全体の時間を言ひます。

[註1]

「『デンドロカカリヤ』には二種類あります。一つは、全集によれば「雑誌「表現」版」と呼ばれてゐるもの、もう一つは、「書肆ユリイカ版」と呼ばれてゐるもの、この二つです。便宜上、前者を『デンドロカカリヤA』と呼び、後者を『デンドロカカリヤB』と呼ぶことにします。前者の発行は1948年8月1日、安部公房25歳の時、後者の発行は1952年12月31日、安部公房28歳の時です。この二つの作品の間に、『S・カルマ氏の犯罪』で芥川賞を受賞してゐます。」（「『デンドロカカリヤ』論（前篇）」もぐら通信第53号）

[註3]

安部公房独自の存在論の記号に関する意味の説明を『カンガルー・ノート』論（もぐら通信第66号）の「3.『カンガルー・ノート』の記号論」より引用して、お伝へします。

「3.『カンガルー・ノート』の記号論

- (1) 《 》：《存在》と《現存在》に関する『終りし道の標べに』以来の哲学用語を意味する。
- (2) 『 』：存在の中の存在の詩人または其の物語の作者《縞魚飛魚》の書いた物語についてのものであることを意味する。
- (3) []：存在の中の存在の中の存在であることを意味する。
- (4) 「 」：地の文にある立て札を意味する。
- (5) ()：存在の中に存在することを意味する。

これらの記号の階層は、次のやうになります。

存在といふ視点から分類すれば、その階層は、階位の高い順に並べると、

- (1) ()
- (2) 《 》
- (3) 『 』
- (4) []
- (5) 「 」

この論考[『カンガルー・ノート』論]をお読みになると次第にお分かりになると思ひますが、この記号の関係そのものが、この小説の構造そのものなのです。」

安部公房が『密会』で初めて「〈付記〉」といふ三角形の鉤括弧を使用したことの意味は、本文での考察の通りに従ふと、「(3) []：存在の中の存在の中の存在であることを意味する」ことに対して、更に余白と沈黙の第四層目の最深部の階層を意味するためだといふこととなります。とすると、これ以降の作品にも余白と沈黙の超越論の第四層に〈付記〉の記号が出て来るかと思ひ、『方舟さくら丸』を開いてみますと、最後の第二十五章である「25」の章には次の記号がありました。引用します。

《活魚》の印のトラックが小旗をなびかせていた。旗には「一人の命より 魚の命」と書いてある。

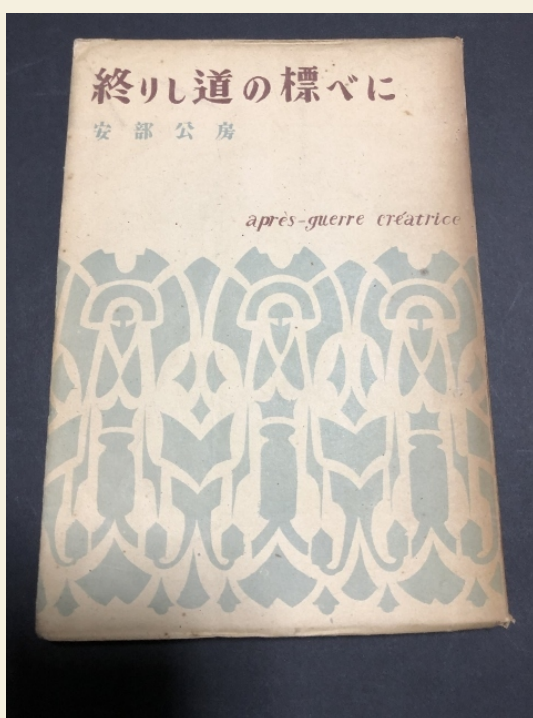
「一人の命より」と「魚の命」の間に、詩人安部公房の初期安部公房以来の一文字分の余白の置いてあることにご留意。詩人安部公房は生きてゐるのです。

さて、とすると〈付記〉の記号が見当たらないので、引き算をする以外にはではなく、とすると残るのは、安部公房が消しゴムを掘って作った各章の冒頭に押した印章画といふことになります。25といふ最後の章の印章画は次のものです。



これと同じ安部公房画伯の手による印章画の押印されてゐる章は、他には4と18ですから、これら二つの章は最終章25に通じてゐるといふことになります。この『方舟さくら丸』の印章画論は後日とします。

以下、「存在の三階層+」の存在論の4階層構造の確定してゐた『終りし道の標べに』（真善美社版）初版本の写真です。



説明資料# 4

小林秀雄の考へる医者と患者の関係

小林秀雄のエッセイに『読者』といふエッセイがあります。最初にサルトルといふ名前が出てきて、時代を感じさせますが、発表年が昭和三十四年9月ですから、安部公房の作品でいへば、同じ西暦1959年6月に『幽霊はここにいる』を新潮社から刊行した35歳の歳です。この年、安部公房は仙川に新居を構へました。

小林秀雄の読書を巡る随想の始まりは、サルトルが『シチュアシオン』といふ批評集の中で、アメリカの出版社から其の時アメリカのベストセラー小説であった小説の翻訳権を得ようとして出版社に尋ねたところ、著作権料を出版社は著作者に支払つてみたものの、実は作者はとつくに自動車事故で随分前に死んでゐて、それも知らぬままに著作権料を或る銀行の作者と同名同姓名義の口座に振り込んでみたといふ話で始まるのです。

サルトルは「アメリカといふ国は、何と広い国だ」と呆れたと書いてあります。サルトル曰く、フランスといふ世間の狭い国の文壇ではさうは行かない。「自分達が、作家といふ天職を発見したのは、中等学校の中庭で、ラシーヌやヴェルレーヌを読み過ぎた為である。自分達は、既に出来上がった文学で養はれて来た。といふ事は、未来の文学も完成した状態で、自分達の精神から、やがて飛び出すといふ確信を育てて来た。」この後に続くサルトルの言葉は、二十一世紀の今のネット上でのSNSをはじめとしYouTubeの動画にまで及ぶ批評性をもつてゐます。

もし日本人が今でも此のサルトルといふフランスの実存主義の世界的流行を実は流行の終つた後も密かに文化的営為の底流にあると思つて生活してゐるならば、次のサルトルの言葉は少しも古いものではなく、今も新しい言葉だと思ふことができるでせう。今かうして歴史を振り返れば、サルトルといふ哲学者の問題は、個人の問題を実存主義といふ立場で考へながら、個人と国家の関係を考へる時には共産主義を信奉してしまつたといふところにあります。二項対立といふEAWAC白人種の問題がいつも此処にあります。他方の一般性を否定するために（個人の一般性）、もう一方（国家の特殊性）を絶対的に肯定するといふ思考論理上の過ちを犯すといふことです。両方を肯定しようとする、二つのものの関係を他方の権威か権力によつて絶対的に（もう一方を否定することによつて）肯定してしまひたいといふ、それこそ悪魔の囁きが耳元で多分聞こえるのでありませう。これはEAWACの思考論理の問題と私は上で書きましたが、しかし、その原因は単純に本人が生活者ではないからです。これに人種も宗教も国家の特殊性も何も関係はない。これを忘れるとサルトルに限らず、いつも人間はさうなります。このエッセイの文脈でいへば、いつも人間は強者になる。

といふことは、日本人個々人も同じ論理・同じ原因で同じ過ちを犯すといふことを可能性の問題として意味してみます。サルトルの此のアメリカ体験での感想は次のやうなものでした。上記の私による問題の指摘にも拘らず、ネットとグローバリズムの流行する今も傾聴に値する発言です。（傍線は引用者）アメリカでは物事のあり方が本末転倒であべこべだといふ認識は、私たち日本人の認識と同じです。存在しないものの存在証明をしようとする不毛の情熱（プラグマティズム）。「いつでも・どこでも・だれにでも」といふ商業的文化（例：マクドナルド）。本末転倒の政治的言辞（自作自演の詐欺的口実の創作）。

フランス人である自分達は「作品とはめいめいの孤独を発表する手段といふ考へに慣れて来たが、アメリカに来てみると、事はあべこべらしい。例へば、西部で農場を経営してゐる一人の女性が、孤独に堪えかねて、或は、自分の孤独の獨創性を単純に信じ込み、これをニューヨークのラジオ解説者にぶちまけたら、どんなにせいせいするだらうと考へる。アメリカの小説家達のやり方は、ほぼこれに似てゐるらしい。つまり、作品とは孤独から解放されんが為の機会なのである。文学の仕事は、学校とも聖職とも何の関係もない。彼等の求めてゐるものは、名誉ではなくて、寧ろ友愛と言つた方がいいのではあるまいか。フランス文学が、まさしくブルジョア文学なら、アメリカ文学をブルジョア文学と呼べるかどうかは疑はしい」と引用する小林秀雄は此の引用の次に続けて「私は、アメリカ文学には不案内だが、かういふ観察は、何か腑に落ちる気持ちを起こさせる。」と、この段落を締め括つてゐます。

上記の引用に傍線を引いた箇所がアメリカ文化の典型的特徴であるならば、この特徴は今の日本の文化の言論活動を含む言語表現の特徴になつてゐると私は思ふが、如何か。私が『YouTube論』でネット上での日本語による表現活動に様式・style・スタイルが欠落してゐるといふ理由から、YouTubeを始めとする動画の類はみな、文学の敵に廻つてしまつたと書いた同じことを、フランス人の目で、即ちフランスの言語文化の視点で眺めるたアメリカをサルトルはフランス人の言葉で、しかし同じことを60年以上前に述べてゐる。とすると、日本にも今だに日本文化と呼ぶに値する文化がネット上以外には、即ちネット層の下には、私によれば密かにまだあるらしい。即ち、日本人はアメリカ人のやうに、そしてフランス人のやうに孤独になつてゐて、その問題の解決方法と解決策が日本人はアメリカ人のやうに友愛を求めて東京などの大都市の有名なYouTuberに自分の孤独の獨創性をぶちまけたらどんなに清々するだらうと思つてゐるに違ひないのであるし、動画のコメント欄の投稿を望見するところ実際にさうである。日本人の此のアメリカ的ネットマス（ネット大衆）の心のあり方は、名誉などどうでもよく、自分の孤独を癒してくれる友愛を他者に求めてゐるのだといふことが、サルトルと小林秀雄のお蔭で今とてもよく解ります。さて、密かにまだあるらしい日本の文化は何処にあるものか。

友達！フレンド！一体一人で何千人、何万人、何十万人といふ数のフレンドが、果たして真の「友達」であり得るわけがないのです。Friend in need is a friend indeed. 困った時の友が真の友。あなたのネット上の「フレンド」は、あなたが窮地に陥った時にあなたに手を差し伸べて呉れるのであろうか？あなたの孤独の独創性を信じて不特定多数の中に理解してくれる他者を求め、その他者に友愛を求めれば、事態がかうなるのであれば、二十世紀も二十一世紀の今も何の進歩も人間には、ない。何よりもあなた自身に何の成長も自己の孤独に関する何の理解の深まりもない。といふことになります。登録者数を増やして、Google大明神からお賽銭の一部を戻してもらふ事は素晴らしいことです。Googleサマの功德であり、確かに御利益である。しかし、あなたの名誉は一体どこに行つたのだ？と私は問ひたいのである。私も日本文学には不案内だが、かういふ日本の文化についての観察は、何か腑に落ちるのです。恰も私が外国人であるかのやうに眺めれば。（お賽銭は日本の古式ゆかしき文化である。神主と坊さんに金銭慾のない限りは。）

これが一体医者と患者の何の関係に関係あるのだと此処で問はれるかも知れません。しかし、安部公房といふ作家が『密会』に関してインタビューに答へてゐる『都市への回路』の冒頭の作家自身による解説を読んでもらひたいのです。「良い医者は、良い患者」。果たしてアメリカ流の小説の生まれて来るあの広い国土の中でのマス・メディアを使つた都市に居住する有名なYouTuberへ自分の孤独をぶちまけるといふ節度のない、従ひ文化のない、孤独解消法または孤独状態解決策が、私の問ひは、日本の文化の土壌から生まれて来る解消法や解決策になつてゐるか、そもそもそんな解決策や解消法があつたかどうかを、あなたに吟味してもらひたいのです。その方法が果たして「都市への回路」足り得てゐるか。否、さうではなかつたといふなら伝統に回帰すべし。歴史の中に教科書はある、教科書の中に歴史はないのです。もしあつたといふならば、その伝統と歴史的事実を発掘して、今の世に生かしてもらひたい。

医者は患者の病を治すのが仕事です。『都市への回路』で安部公房の使つた譬喩（ひゆ）は、読者たるあなた御存知の通り、この医者と患者の関係であつて、「良い医者は、良い患者」。上記のサルトルの指摘したアメリカ文化の事実を日本人に今流行の中華謹製武漢ウイルスと同列にならべてみませう。何故なら人は個人個人隔離されてゐる様子であるから。さて、さうすると、患者であることを自覚して自己の孤独を感じてゐる医者は良い医者といふことになる。機械的に千篇一律に同一の定規をあてがつて処方する医者は藪医者である。何故なら医者もまた患者としてある場合には、体調その他の事は医者医者で異なり、医者としての個人個人で異なるからです。私は先日大きな病院へ行つて、私の血圧を薬剤によつて血圧を上は130、下は80の間がないので薬

の増量で解決を図らうといった医者におもはず、お前は馬鹿かといひさうになりました。次回同じことを言はれたら、言はうと思つてゐます。薬の量があるなら薬の質といふものがあるであらう。薬の質を考へたら、患者一人一人の生活の質といふものもあるであらう。といふふうには頭の血が巡らぬのであります。富山大学の医学部を出た若い30になるかならぬかといふ医者でした。このやうな医者が強者です。悪い医者である。患者の分際で御医者様に病気の有無を尋ね申し上げると、病気はしたことがないと冷たい目でのたまふたのである。(トーマス・マンならば、その人間としての冷たさを「眼鏡の奥にある二つの眼は細いスリットであつた。」とドイツ語で書くところだ。)かく書いてゐるうちに段々と、何故安部公房が医者になりたくなかつたかが理解されて来るから不思議だ。先を急ぎます。

このサルトルの逸話の次に、小林秀雄は当時最近の週刊誌の大流行について(何しろ50位の週刊誌で賑はつてゐるといふ記者の答へです)、意見を求められて電話でするやりとりする会話は、安部公房の小説の会話に大変よく似てゐて、惜しかつたなあ、小林秀雄に安部公房論を作品論なりとも論じてほしかつたと思ふほどの出来です。要するに、このやりとりは、少数者と多数者を巡つての会話なのであり、患者と医者、弱者と強者の話なのです。「弱者への愛にはいつも、殺意がこめられてゐる」といふ此の『密会』のエピグラフとして世に有名な警句を、小林秀雄は次のやうに、マス・メディアといふ多数者勢力に帰属してゐて自己のあり方を疑はない記者の、即ち強者の傲慢の指摘として言い当ててゐるのです。最初の間は質問者です。ジャーナリストと後で知れます。

「[週刊誌の増加が原因で]マス・コミによる文学の質の低下といふものをどう考へるか」

「質は、逆に向上すると思ふ。電気洗濯機を見たまえ」

「冗談は止めてもらひませう」

「僕は、真面目に君に聞いてゐるのだ。君は、何故ジャーナリストとして、そんな風に、読者といふものを見下してゐるのですか」(傍線引用者)

この読者を、私の病院での体験談にならつて、患者である弱者と考へてもらひたい。

サルトルの批評集の題名であるフランス語の「シチュアション」は日本語になりにくい言葉だと小林秀雄はいつて、しひていふならば「「現に暮らしてゐるところ」とでも訳したらよいのであらうか」と言つてゐる。その感想の後で、更に掲題に関する結論を続けかういふのです。この結論とは批評の要諦です。

「これは批評といふものの要諦であらう。週刊誌ブームが、現代日本文化の一種の病気であると考へるのは勝手であらうが、それが、ただ医者の見立てでは詰まらない。自ら患者になつて、はつきりした病識を得てみなくては詰らない。批評家は直ぐ医者になりたがるが、批評精神は、むしろ患者の側に生きてゐるものだ。医者が患者に質問する、一体、何処が、どんな具体的に痛いのか。大概の患者は、どう返事しても、直ぐ何と拙い返事をしたものだと思ふだらう。それが、シチュアシオンの感覚だと言つていい。私は、患者として、いつも自分の拙い返答の方を信用する事にしてゐる。例へば、戦前派だとか戦後派だとかいふ医者の符牒を信用した事はない。」（傍線引用者）花の美しさなどない、美しい花があるだけなのです。此処でも小林秀雄は不動です。

既に『二十一世紀の日本文学のためのスケッチ・ブック（7）』（もぐら通信第124号）の「5. 小林秀雄の塔と安部公房の塔」で論じましたやうに、二人の共通点は、故郷喪失でありますから、さうすると更に此の医者患者・強者弱者論である批評家弱者論を入れて次の二つの共通点ありといふことになります。

- (1) 故郷の喪失
- (2) 医者患者・強者弱者論：批評家弱者論

この(2)を弱者批評家論と逆に置けば、私たち安部公房の読者にとつての世の中と時代に対する批評精神の十分なる論拠となります。これによつて、箱をかぶつてみて撃たれるといふ、多数者である強者による空気銃の弾丸から我が身を護りませう。

この小林秀雄と安部公房のいふ読者、また私たちである読者といふ存在が、一体安部公房にとつて何処に存在してゐるのかは（安部公房独自の話法「僕の中の「僕」」）、三島由紀夫との対談『二十世紀の文学』の「作者の中の読者」に収録されてゐますので、これをお読み下さい（全集第20巻、79ページ）。『密会』を読む際の役に立つ筈です。この読者と作者の関係のあり方もまた、安部公房が小林秀雄と共有してゐる意識のあり方です。否、意識・無意識のあり方であるといひなおします。私たちは此処でも20歳の論文『詩と詩人（意識と無意識）』を思ひ出すことに致しませう。

あつ、思ひ出した、あの強者の医者の名前は、野郎、尾崎といふのだ。

読書会説明資料# 5

逆進化の法則

「『都市への回路』論（5）」（もぐら通信第150号）からの抜粋ですので、『都市への回路』論をご覧ください。配付した資料と同じ抜粋形式の資料「逆進化論」のダウンロードは：<https://docdro.id/ZYLIPCP>

私の本棚

(39)

西村幸祐/ロバート・D・エルドリッチ共著

『中国侵攻で機能不全に陥る日米安保』を読む 岩田英哉

この題名の意味は、中国は必ず台湾を侵攻して戦争を始めるが、このとき日米安保条約は役に立たないといふ意味です。その理由が二国の国内と国外の理由によつて役に立たないといふのです。即ち、この戦争はアメリカには遠いが、日本には近い戦争なので、圧倒的に日本の利益が損はれる結果になるといふ結論が題名になつてゐる。さう日本人の読者である私には読める。何故戦地からの地政学的な距離の遠近が問題かといへば、私のいひ方によれば、更に何故なら外交は内政の延長だからです。それでは、それぞれぞれの内政の問題が何かといふことによつて、この日米同盟の有効性が決まる其の函数だといふことなのであり、その問題と原因分析と解決策がそれぞれの立場から対談されて、提出されてゐる。最後に二人によつて台湾侵攻に対する解決策が具体的に示されてゐないので、読者たる私が提示します。

この対談を理解するための以前と以後を分ける判断の規準、即ちパラダイム・シフトの決定的時点は、トランプが大統領に就任した2016年です。これがパラダイム・シフト、またミシェル・フーコーのいふエピステーメーの転換点であり、「以後」が花田清輝のいふ転形期である今日であれば、このことが自明の前提として両国関係に於ける問題が上記の枠組みで議論されてゐる。

それぞれの国の問題を使用されてゐる闇といふ隠喩（メタファ）を此処で使へば、対談で問題として列挙されてゐるのは、アメリカの闇と日本の闇の二つの闇です。その闇を形成する事項は次のもので、これは日米共通です。この場合、国家理解の理解とは当該国の政治と経済と文化の総体を意味します。

A 共通事項

- (1) マス・メディアと大手ITプラットフォーム提供企業
- (2) アメリカ国民の意識と対日国家理解の貧しさ
- (3) 日本国民の意識と対米国家理解の貧しさ
- (4) 中華謹製武漢ウイルスの流行
- (5) 中国に対する根拠のない幻想
- (6) 中国による対日米工作と侵略の深さ
- (7) 大学の極左・共産主義化の酷さ
- (8) 南シナ海と東シナ海への中国への侵略

今日米で利害の共有できてゐるのは、上記（８）であることが判る。要するに軍事事項である。従ひ、日米同盟が表題になつてゐる。それから上記（４）と（５）（６）（７）もまた両国の特に反省事項である。

両氏による個別の問題の指摘は次の通り：

B アメリカ：

- （１）産軍複合体と、今やディープ・ステートと呼ばれてゐる国際金融資本左派（ユダヤ左派）
- （２）民主党と共和党の対立及び共産主義・グローバリズムと保守主義の対立：問題はこれらの二項対立は見かけであつて、政治的対立は横断的であつてまだら模様で輻輳してゐるといふこと。
- （３）草の根保守の歴史的放置
- （４）貧富の差の極端な拡大

C 日本：

- （１）日本の保守の不勉強。特に上記Aの（２）と（３）。これを悪化させるのが（４）の大手マス・メディア。
- （２）非核三原則といふ幻想
- （３）この幻想の上に成り立つてゐるやうに恰も見えてゐる核の傘といふ仮想現実。映画『マトリクス』の世界。
- （３）現行憲法の問題：日本人による起草ではないことと、憲法第9条の戦争放棄の問題
- （４）平成以来30年続いてゐるデフレ経済
- （５）自民党を含む与党の極左・共産主義化

以上が二人の対談の論旨であり骨子であるが、ここで私の考へを付け加へたい。哲学思潮と政治思潮の相関的な流れのことです。前者のキーワードが後者のキーワードになつてゐる。

（１）政治

1971年にキッシンジャーの訪中と米中の関係の深化の開始。キーワードはアメリカは支那にengagementするキッシンジャーの言つた此のエンゲージメントです。これが1970年代以降の対中国関係でのアメリカの政治的ポリシー（engagement policy）のキーワードです。

（２）哲学

哲学のengagementは20年早く、サルトルがengagementといつて、これはフランス語なのでアンガージュマンといはれて日本で流行してゐた。これが戦後の

国家ではなく個人としての日本人のキーワードである。アメリカでもしサルトルが同時に流行してゐたら、この言葉はトランプの登場までアメリカ国家とアメリカ人のキーワードであつた筈である。日本の国家はアメリカのやうには対中政策をengagementとは捉へてゐなかつたことが将来に禍根を残すであらう。恥ずかしいことに、哲学のない筈のアメリカに哲学があり、哲学のある筈の日本に哲学がなかつた。さて、トランプ「以後」のキーワードは何か。

(3) 日米共通の過ちは、このengagementとは経済的なengagementであつて、これを国家安全保障よりも優先させたといふことであることは今や自明である。といふことは、

(4) これからの日本の対米・対中の外交方針はengagementではなく、disengagementであるといふことが明らかです。これについては別途連載してゐる『日本一極国家論』で論証します。

さて、以上のことを前提に第四章とエピローグと題した最終章が書かれてゐるが、それぞれの章の題名は次の通りである。

(1) 第四章：中国侵攻、絶体絶命の日本

(2) エピローグ：米軍基地を自衛隊の管理下におけ！

さて、第四章の懸念が現実に起きた場合に備へてエピローグでは「米軍基地を自衛隊の管理下におけ！」と読者に呼びかけてゐるわけであるが、しかし、具体的な方策が提案されてゐないので、私が二人の代りに最大最強の解決策を提案したい。これによつて日米の各国内事情あるにも拘らず、軍事同盟上の問題は日本の憲法問題も含めて一挙に同時に解決を図ることができる。それは、

(1) 北朝鮮から核ミサイルを購入し、その対価の支払ひによつて拉致犠牲者を全て買ひ戻すことである。これは16世紀に豊臣秀吉がイエズス会の宣教師が日本人の男女を奴隷として海外に売り払つたことに怒り施したやむを得ざる解決法になつたものです。そして、核ミサイルの弾頭の照準をまづは平壤に、次に北京に、三つ目に今核保有の動きを開始した韓国のソウルに合はせて輸入後直ちに配備することである。

これによつて江藤淳の指摘した戦後の「閉ざされた言語空間」は破壊することができ、西村氏のいふ東京の壁もまた自壊すること必定である。従ひ、「戦後レジュームの脱却」が完成または急速に此の脱却の開始が始まつて完成する。まだまだ良いことが日米同盟に起きるが、これらについてはまた別に論ずるとして、北朝鮮以外に日本の利益に対する優先順位をつけて上位から核ミサイル購入相手国の名前を挙げれば、次の通りである。

- (2) イスラエル
- (3) インド
- (4) アメリカ

4番目に名前を挙げざるを得ないアメリカは本当に日本の国の軍事同盟国であらうか？本当ならば一番最初に購入先として私たちは名前を挙げるべきものである。何故軍人も含めて政治家も官僚も国民も核ミサイルの購入といふ発想が欠落してゐるかといへば、既存の枠組みの中でだけ考へてゐるからであり、パラダイム・シフト、エピスマーター、転形期の意味を自分が個人として生き延びる方策を巡らすことが、非核三原則その他「C日本」に列挙した日本固有の怠惰なる理由によつて思ひつかぬほど想像力が貧しくなつてゐるからである。あるいは枯渇してゐるといふべきか。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。鎌倉仏教の開祖たちに蘇つてもらひ、日本仏教の布教を是非お願い申し上げたい。何故なら、この日本の国は政治家以下、国家による認識と理解とともに、国家による所有といふ概念がすっぽり抜け落ちてゐるからである。これが何故第9条問題解決「以前」に新しい憲法の制定が必要かといふ一番の理由である。穢れとして受け取つた現行憲法の穢れを大祓ひする仕事は神道家にお願いしたい。神道家の使命を果たしてもらひたいのである。いふまでもないが、国家格の祝詞である中臣の大祓詞の第二段落を復元した上で奏上してもらひたい。何故なら、この天津罪と国津罪の罪の列挙の方式は、今の言葉でいふネガティブ・リストであり、この発想がお祓ひに関して日本人の意識と感覚から欠落してゐる原因は明らかに、このネガティブ・リストを消してしまつた粗略な大祓への扱ひにあるからです。それ故に日本の軍隊は、戦前戦後に無関係に、精神の問題として、此の改悪を不埒傲慢にも神社に内務省が命令した大正三年・西暦1914年以来精神の世界からしてポジティブ・リストで戦ふといふ愚かな戦さを強ひられて来たのです。この国家的犯罪といふべき過ちを反省して、神道家が大祓を旧に復することのない限り、自衛隊の問題も憲法第9条の問題も根本的に解決することはない。これが、神道視点からみた憲法第9条問題の本質なのです。即ち、神道家自身による犯罪的といふべき怠惰です。不作為の罪だ。これを憲法第9条は具体的に醜怪に示してゐるのです。だから、これはGHQだとかアメリカだとかよその国に起因する問題ではない。日本の国に起因する日本の国自身の問題なのです。

南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏。。。

(神道の問題を解決するために、何故親鸞聖人が必要なのであろうか?)

日本一極国家論（続篇）

GAME CHANGE理論

（４）

岩田英哉

目次

1. 前編
2. 後編
3. GAME CHANGE理論
 - （１）古いゲーム・ルール：アメリカと中国の共通性
 - （２）古いゲーム・ルール２：アメリカのゲーム・ルール：一般論
 - ①文化：無制限の大衆化・通俗化文化：「いつでも・どこでも・誰にでも」（例：コカコーラ、ジーンズ、コンビニエンス・ストア、クレジット・カード、ディズニーランド等々）
 - ②政治：自作自演の詐欺的言辞を弄する：世界普遍性を欠いたアメリカ土着の民主主義の他国への、謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制
 - ③経済：道徳を欠いた国際金融資本主義、いはゆるグローバリズムといふ名前の共産主義経済の他国への謀略（自作自演）と軍事力を使つた強制

新ゲーム・ルール

対アメリカ帝国：

- （１）新ゲーム・ルール１（アメリカ帝国向け）：一般論
- （２）新ゲーム・ルール１.１（アメリカ帝国向け）：個別論
 - ①文化領域
 - ②政治領域
 - ③経済領域

対中華帝国：

- （３）新ゲーム・ルール２（中華帝国向け）：一般論
 - ①支那とは何か中国とは何か
 - ②中国の経済の構造
 - ③中国の政治の構造
- （４）新ゲーム・ルール２.１（中華帝国向け）：個別論

（４）新ゲーム・ルール２.１（中華帝国向け）：個別論（承前）

さて、華夷秩序とは何か、何が華夷秩序の自己矛盾であるのか、論点を整理しながら、同著を引用します。これによつて上記「新ゲーム・ルール２（中華帝国向け）：一般論」の「②中国の経済の構造」および「③中国の政治の構造」

の両方を一度に、「華夷秩序自己矛盾論」として、論じ、この中華帝国向け個別論の章を終えたい。

華夷秩序自己矛盾論の論点は、

【自己矛盾1】内部の原理を外部に暴力で及ぼすこと：華夷秩序の外部強制アメリカ帝国の政治と経済の自己矛盾論の論点と同じで、内部の自己都合を外部にまで延長として（extension）及ぼすといふ、しかし国家成立の事情はそれぞれ異なる両国の国家特性に応じて現れる国家意志の発現であつて、

いづれにせよ、

【自己矛盾2】時間の連続性を絶対否定すること：自国及び他国の歴史と伝統に関し、自国帝国建国「以前」の存在を許さないといふ、他国の歴史と伝統の絶対否定：自国帝国建国原理に他国もみな服従しなければならないといふ脅迫観念（obsession・オブセッション）。

この強迫観念または脅迫神経症といふべきものは、アメリカの場合には明らかに建国「以前」の住人であつたインディアンの大虐殺に原因し、更にその後のアフリカ大陸から拉致してきた大量の黒人奴隷の残酷な使役に原因してゐる。私たちは、アメリカの建国由来に持つ脅迫観念を、最大の善意を以て最高に悪用すべきなのです。

さて、【自己矛盾1】及び【自己矛盾2】に基づき、このアメリカと中国といふ二つの帝国の意志の共通性は、既述の通りの用語の定義に戻つていへば、国家特性としては堆積性ではなく更新性（革命性・歴史切断性）に、且つ大陸国家性にあるといふことです。

更新性とは、現在ある政府の建国「以前」を絶対否定をして考へないといふことです。それ故に、アメリカは独立宣言「以前」を絶対否定して存在しなかつたことにして（「公然の秘密」を有する偽善国家、人工国家である）、中国は毛沢東による中国共産党の独立宣言「以前」の歴史を絶対否定して成り立つてゐるといふ嘘を信じたふりをする「公然の秘密」を有する偽善国家、あつたことを無かつたことにして成り立つ人工国家である。

また、このやうな性格を有する大陸国家として持つ大陸国家性とは、他国と国境を接してゐて、国境線の確定に関し、常に戦争を前提に国家経営をしてゐるといふことです。

ここまで二つの帝国を合はせ鏡に照らして考へて見ると、共産主義も華夷秩序であり、華夷秩序も共産主義であるといふことになりませんが、如何。また、アメリカ土着の孤立した民主主義も共産主義であり、アメリカ流の「賈の華夷秩序」であるといふことになりませんが、如何。かくして、二つの共産主義国家は、互ひに、お前が「賈の民主主義国家」であり、俺様の方が本物の民主主義国家だといふことを主張しあふことになり。しかし、この抗争は、今のヨーロッパ・EUの姿ではないでせうか。極東島嶼国家日本の国から眺めると、さう見えるのです。EUは、近代西欧国民国家の（たぶん彼らにはさう見えてゐる）弱点といふべきものを克服するためにつくつた（最初の口実は経済的共同体の創設といふことでした）、共産主義・行政官僚絶対支配仮想国家です。経済支配が政治支配になつたといふ意味でも、EUは共産主義仮想国家です。ですから、中国共産党帝国と親和性が高く、アメリカ帝国とも親和性が高いのです。さて、日本はどうすべきであるか？JJS戦略による四角錐の図形の底辺を、これら共産主義国家と軍事的にアジア・太平洋戦略を展開する日本の国であるならば、これらの共産主義国家と対抗するには対抗均衡策を軍事的に採用する以外に一極国家としての自立はなく、従ひ、この方面から素直に考へても、日本は核保有国にパラダイム・シフト、エピスマーター転換すべきであるといふ結論になります。この文明史上に起きてゐる2500年以來（西暦500年前以來）の文明論的転形期には、軍事的には独立国には核が必要だといふことです。

この論を敷衍すれば、実は、大国であらうがなからうが、国家の規模を問はず、国家たるもの自国防衛のためにブータン王国も、ツバルの島国も、フィリピンも、オーストラリアもインドネシアもマレーシアもヴェトナムもみな、自国防衛のために（これこそ弱小国の最大最善の自衛のための国防手段である。北朝鮮をみよ。日本人よ、Look北朝鮮！だから自衛隊といふ名前は素晴らしい。この名前に正直に自衛隊は核ミサイルを装備すべきなのです。核を持つてゐるだけで本当の専守防衛の自衛隊になれる。敵国を攻撃しなくていいのです。何しろ敵が恐れて攻めて来ない。つまり、これは漫画『巨人の星』の主人公星飛雄馬の投げる大リーグボールである）、核を保有することができるし、さうすべきだといふ議論になります。いづれ、かうなると予測しますが、さうなれば、これまでの近代の歴史の示す通り、大量生産して核を世界中に安く販売する国が幾つも現れるでせう。変な言ひ方ですが、核の大衆化です。あるいは、核の万国化です。さうなれば、戦争の本質は核を保有するかどうかではなく、核ミサイルが我が国に飛来したときに如何に防御するかといふ、それこそ上述のすべてのミサイル（核ミサイルを含み、これには限らない）を命中させないといふ技術の開発が、軍事技術開発の本質的な思考領域になるでせう。これを考へるために必要な「戦争空間の領域分類」は後掲します。

この物理層の軍事的動向は論理層での通信ネットワーク上の安全保障問題の動向（専守防衛のセキュリティとハッキング攻撃の一式防衛論）と通じて軌を一つにしてあるので、私の予測は正しいと考へる。

また、付言すれば、大陸が島ではないといふ事実は決定的なことです。その逆も真なり。何故なら、それは生活感覚としては、沿岸部に住む大陸居住人以外の内陸人には、外洋を意識した生活はないからです。とすれば、アメリカを例にとれば、フロリダの人間とニューヨーク州の人間とカルフォルニア州の人間には海に接して共通性があるが、その他の内陸の諸州の人間とはやはり相当に、生活感覚に隔たりがあるといふことです。わかりやすく言へば、最も大きな大陸であるユーラシア大陸の西か東の海に面してゐない土地にあなたが立つてみて、正反対の海辺の生活の想像ができるかどうかを考へてみたらいい。信州の人には奄美大島の人の生活を想像することができないといふことです。

さて、しかし、アメリカが州と翻訳しても実態は確かに50の国家の合した国であるunited statesであるといふのは、海に接した州であるフロリダ、ニューヨーク、カルフォルニアの三州であつても、私の知識と見聞では互ひに大いに異なるからなのです。フロリダのビジネスマンは、カルフォルニアの奴ら？あ、あいつらは仕事をしてゐるんぢあない、遊んでるんだ（確かに私にもさう見える。しかし遊んでゐるやうでみて仕事は当意即妙に判断が速く仕事も速い、発想は自由自在である）、といふ始末ですが、そんなことを言つてゐるフロリダのビジネスマンも会議には平服で、真夏ならばアロハシャツに短いパンツに（日本でいふなら）雪駄で、さうサンダルで、背広にネクタイを締めてゐる日本人のビジネスマンを空港に出迎へに来て、会議をするのはおかしなことではないのです（私にはフロリダのビジネスマンの方がのんびりしてゐて遊んでゐるやうに見えた）。だから、なるほど、海山平原を問はず、アメリカの州は確かに一国であり、stateなのだと思ふわけです。即ち、一国一国一州一州で文化が異なる。これがアメリカ帝国の内実です。さうして、東部と西部だけが大都市であり、その中間はド田舎である。といふ位に思つてゐると、アメリカ合衆国に対する理解が正しくなります。即ち、マス・メディアの報道は東部と西部の大都市から発信されるので、東京を基準にして私たちはこれらの報道に相対すれば、アメリカからの報道の歪曲と捏造を見抜くことができます。要するに、近代国家の都会には、どこの国にも虚飾があり、虚栄心があり、これの実現を引き換へにした（精神的な意義での）去勢が性別を問はずにあるといふことを忘れなければ良いのです。都会にゐると野生を失ふといふのは、このことです。（みよpolitical correctnessの大都市での跳梁跋扈を、LGBTの不毛なる喧騒を）

さて、二つの合はせ鏡・双子帝国の一つである中華帝国の華夷秩序の分類は次の通りです。少し長い引用も含まれますが、お読み下さい（中西輝政著『帝国としての中国 覇権の論理と現実』の「5章 「アジア的粉飾」としての華夷秩序」108ページから109ページより）：

（1）華夷秩序の「対決」の3類型

ここで著者のいふ「対決」とは衝突を意味しない。いつてみれば、対決を装ひながら実は持ちつ持たれつの、安部公房用語でいふならば「公然の秘密」を、もつといへば利害関係の肯定と受容と離間と無関係の関係段階の内に夷狄である国々が華夷秩序に対して持つ距離のことを意味してゐます。この場合、中華帝国を主体とすると、客体たる諸国の、これら二つの対象は、この対決のパターンの現れる「中華」と「周辺」といふ対立軸で、このやうに対立の濃淡はあれ、さう位置付けられてゐるのが華夷秩序と呼ばれるものです。既述の通り、華夷秩序は、中華帝国が周辺に及ぼす政治的側面が冊封体制であり、対して朝貢貿易とは、中華帝国が周辺に及ぼす経済的側面である。この二つは一体となつて中華帝国の文字通りの「体面」をなしてゐる。この中華帝国の「体面」と「周辺」国との均衡を求める双方の関係を著者は「アジア的粉飾」と呼び、それが中華帝国に有利な関係で秩序ある場合には「「アジア的粉飾」としての華夷秩序」と呼んでゐる。

対中華帝国との此の対決といふ用語を含み、双方の対立には次の三つの分類があります。

（1）順応：例は朝鮮。コンフォーミティ（同調圧力無条件受け入れ）。「朝鮮のように積極的に華夷思想に基づいて、いわゆる王化と事大の中華理念に則って行動する「順応（コンフォーミティ）」のパターン」

（2）対峙：例は日本。「相互の沈黙」を基調とする永続的な「対峙」私に「聖徳太子ルール」と名付けたルールが、これです。

（3）対決：例はベトナム。「時として正面から力の論理によつぶつかり合う「対決」」または対抗の対立パターン。

この上記（3）の「対ベトナム以外にも」、中国の「中華」の立場を根底から揺さぶられ、それが東アジアの国際秩序に大きなインパクトを与たものとして、そうして「対決」のパターンには更に三つの類型があつた」として、次の「対決」の下位分類として三類型を著者は挙げてゐます。命名は引用者による

ものです。

(1) 対決型1：外征・軍事制圧型

「「周辺国」との「対峙」が極限まで達したため、「中華」の側が積極的な外征の試みによって「周辺」の側を軍事制圧しようとした例である。」

「これも史上、その事例は枚挙にいとまがないが、漢の武帝、隋の煬帝、唐の太宗、明の成祖（永楽帝）、清の康熙・乾隆帝など通時代的に、王朝初期の国力充実期にはしばしば、「中華」意識の強烈な皇帝の個人的イニシアティブによって積極的な膨張の衝動と軍事征服が現実として生じた場合が多かった。」

(2) 対決型2：中原・北方民族被支配型

支那の中原の地が北方民族によって支配されて、中華思想の上に異民族による被征服王朝として君臨される場合。

挙げられてある例は「宋と契丹（遼）および金、そしてモンゴルの元などである。」

(3) 対決型3：長期的間歇的・侵入単純反応型

「明確な政治目的を有しない恒常化された散発的な侵奪行為を巡る「対決」パターン。このパターン発現の契機は、「「倭寇」や、明以後のモンゴル各部による華北辺境への繰り返される侵入（北虜）などの例で、それ以前の場合も含めて、「しばしば長期的で間歇的につづいたが、それへの対処は明の場合のように「中華」の決定的疲弊をもたらし、その結果、東アジア国際秩序の大変動の因をなす」パターンである。

あと、これら列挙の後での著者による言及で、今私たちが銘記すべきことは、「「中華」の側における日本の「順応」を促そうとする衝動がなぜ、あれほど強く自己抑制されつづけたのか」といふ事実の理由または原因を、この国難の絶好機にわたしたちは探るべきだといふことです。それが日本が日本自身をよりよく知る手段ではないかと察するからです。〔註1〕

〔註1〕

同書85ページ「4章「中華」と「周辺」との距離感覚」の「「卑弥呼」はなぜ優遇されたのか」の節より引用して、この中華帝国の歴史的に持つ対日観について理解を深めたい。

「「卑弥呼」はなぜ優遇されたのか

たとえば日本（倭国）の対華（中国王朝）朝貢への姿勢を前漢以来、通時代的に概観すれば、三つの大きな特徴が自ずと浮かび上がる。その第一は、何といっても終始一貫、きわめて明瞭

な、日本の側の独立志向である。二つめは、経済・文化面での関係の濃厚さに比し、しばしば政治が大きく乖離する傾向である。しかし第三に、より興味深いのは中国の側にある、日本に対する「奇妙に特別な扱い方」なのである。実際、しばしば素っ気なく事務的な響きさえもった正史（王朝編纂にかかる中国史書）の対日関係への言及を読み進むとき、前近代の中国における日本観には、他の周辺諸国に対してはみられない奇妙な距離感と、「無関心を粧（よそお）った」とでも評しうるような、裏面における深い「関心の気配」が浮かび上がる。

（以下この中華帝国による「無関心を粧（よそお）った」対日本帝国への「関心の気配」を帯びた「奇妙に特別な扱い方」についての記述が続きます。）

上記の対立用語分類を使えば、何故日本は聖徳太子ルール（「2。対峙」ルール）によつて、中華帝国に対する敵たり得たのかといふことをよく考察することができます。この場合の敵といふ意味は、聖徳太子が隋の煬帝に国書を送つたとき以来「「匹敵」の敵、つまり「対等国」の意であり、それ以上の意味はない。」（「4章「中華」と「周辺」の距離感覚」同書94ページ）英語でいふcompetitive・コンピティティヴです。

今のバイデン政権と中国との関係を、前者は後者に対して匹敵・対等国の関係だと、この英語の用語を使つて最近述べたことから見て、中国の理解は形式上は上記日本型の「2。対峙」を選択したとみえるが、果たしてさうかは、第三極としての日本から見ると、それは疑はしい。何故なら、アメリカは常に中国に対しては朝貢国並みの幻想を抱いて投資して来たからです。これらのウォール街からの莫大な投資は、かく歴史に学べば、実はアメリカからの朝貢であつたといふことになります。他方、東アジアに通用する歴史的な政治用語を使えば、トランプは此の朝貢貿易を廃止して、実質的にも日本型の「2。対峙」を選択したことになります。これがトランプ「以前」と「以後」の決定的相違だといふことになります。バイデンは、トランプの日本型「対峙」を朝鮮型の「順応」に戻した。もつとも今の日本が果たして歴史と伝統を重視した対中華帝国外交をしてゐるかどうかはまた別の問題です。

難しいのは、この朝貢貿易と冊封体制を含む華夷秩序に（かうして二つの側面から二つの用語で見ると一帯一路とは中華帝国にとつて何かがよく理解できます）、今やダボス会議が国連と組み、中華帝国を悪用して、武漢のウイルス研究所で開発させたウイルスを世界中に悪意を以て蔓延させて、この中華帝国の覇権主義である華夷秩序をグローバリズムといふ名前の共産主義勢力の一部に取り込むことによつた又はと同時に、諸国家横断的に当該標的的国家の中にダボス会議の被支配勢力を送り込んでゐることです。このやり口については「グレートリセットとは何か？」（『ネット・モナド論（23）』（もぐら通信第

151号) および「7.3ビルダーベルク会議とダボス会議と国家との関係」(『ネット・メディア論(14)』もぐら通信第129号)にて詳細に論じましたので、ご覧下さい。後者の論考では、これら二つの会議と中国共産党との関係についても図表化して整理してあります。

また、今回の東京オリンピックは密かにダボス会議に乗っ取られてきたことは、竹田JOC会長の辞任に始まり、森元総理の関係組織からのいはれなき理由による強ひられた退任、オリンピック開催前までの連続的な人事的ゴタゴタはみなダボス会議から資金と技術を提供されてあるダボス会議の「パートナーシップ」組織が国内にあり、そして閉会式の標語に「inclusion」なる意味不明の英語が登場したといふのは、この言葉はダボス会議制定用語であつて、日本をダボス会議の支配下に「含める」といふ国際的宣言を意味して来たからです。これが「パートナーシップ」組織の謀りごと、それこそ陰謀であつたことが「グレートリセットとは何か?」といふ論文によつて明らかになつています。これらに関係した人間たちと組織は社会的制裁と罰を相応に受けさせるべきです。法律には抵触しないが、日本人の道徳には抵触するからです。

さて、この章の最後に、上記華夷秩序のうちの政治的側面、即ち冊封体制の分類を説明します。同著によれば、朝貢には二つあり、一つは此の冊封体制に叙せられることを合はせてある狭義の朝貢と、冊封体制に無関係に在る経済関係だけの広義の朝貢の二つです。以下同書「4章「中華」と「周辺」の距離感覚」(同書92ページから93ページ)より引用します。

「日本の対華朝貢は、卑弥呼以後、五世紀のいわゆる「倭の五王」期に頻繁な記録が残されていることは周知のとおりである。「倭王・武」が四七八年、宋によつて「安東大將軍」(正確には使持節・都督倭新羅任那加羅秦韓慕六国諸軍事・安東大將軍・倭王)に進封された後は、足利三代將軍・義満の「朝貢外交」まで約九〇〇年間にわたつて日本は、いかなる中国王朝にもあえて臣従、冊封されなかつたことは確定された史実である。」

として、確かに中華帝国から見れば、日本の態度は広義の朝貢であると見られることはできたに違ひないが（これが華夷秩序の「粉飾」の意味）、実際には冊封体制に組み込まれてゐる「臣従」ではなく（これが狭義の朝貢国の位置）、日本の対中華の歴史遷移的な位置は、「漢代に原型ができあがる「外臣国」、「外客国」つまり藩属国ないし属国と、いわゆる「不臣の朝貢国」とに対応する区別」のうち、狭義の朝貢ではなく、たとへば倭の奴国王は「印綬を与えられたけれども、臣属せず朝貢するだけの広義の朝貢即ち「不臣の朝貢国」であり、「その後卑弥呼は「外臣」に”昇格”し、倭の五王時代は「外臣」であるうえ、中華王朝の官職を与えられたという（前掲・栗原『上代日本対外関係の研究』）。いうまでもなく、「外臣・卑弥呼」は前述のとおり、「注目すべき待遇」を受けていた（この外臣といふ地位の付与からいつて卑弥呼と倭の五王はやまと朝廷ではないと私は思料します）。さらにいうまでもなく、六〇七年遣隋使の有名な小野妹子が持参し、聖徳太子自身の起案といわれる（そのように見る代表例としては、内藤湖南『日本文化史研究』講談社、一九七六年）、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙きや」の国書は、対中華対等国家としての意識的選択を示すものであつたことは議論の余地がない。」今、これらの関係を整理すると次の表を得る。ダウンロードは：

<https://docdro.id/KM5DJt7>

2022/01/12 eiya iwata		華夷秩序に於ける中華と周辺の関係図			
	華夷秩序		備考1	備考2	備考3
	冊封体制	朝貢貿易	狭義の朝貢		この赤い境界線が「アジア的粉飾」の境界線。日本は大陸アジアではないといふことを証明する海洋国家としての対中華帝国境界線。「不臣の朝貢国」といふ呼称ですら「朝貢国」といふ文字が不快であるので「絶域国」を名乗るがよからう。
中華	藩属国	外臣国		中国の「礼・法」という価値システムを受容し、中国によって当該の周辺勢力の側に安全保障や経済・文化面での恩恵を与えられる関係を有する存在。これが朝鮮の位置と考へられる。	
周辺	属国	外客臣国			ここが伝統的な対中華帝国と経済的・文化的交流の場合の日本の位置。政治的には冊封体制外である。
	該当せず	絶域国または不臣の朝貢国	広義の朝貢		
			隣対国		

聖徳太子ルールである「対中華対等国家としての意識的選択」の線が上掲表の赤い境界線よりも下の領域であり、聖徳太子はあの国書によつて中華帝国には「アジア的粉飾」的誤解を与へる余地を残さなかつたといふことである。今の愚かなる政治家と霞ヶ関の官僚の選択すべきことは、聖徳太子の名前を歴史の教科書から抹殺することを謀ることではなく、聖徳太子のルールに則つて、日本独自の外交政策を具体的に立案して、これを執行することであることが、これで自明となりました。

聖徳太子以後の日本は「すでに見た周辺諸国の分類でいふ中華への「隣対国」又は「敵国」だったのである。」「敵国」の意味は匹敵する国家といふ意味であることは上述の通り。また、ここでこの引用に関して、上掲表中の用語の定義を、「隣対国」又は「敵国」の定義とともに、改めて示すと次のやうになる。私たちには反省すべき点が多い。勿論、先の大戦後の75年余に対する知的怠惰に関する歴史的反省である。

「とくに漢帝国では、その周辺世界の諸民族・諸地域との関係を、「外臣国」、「(外)客臣国」、「絶域国」(ないし不臣)の朝貢国、「隣対」の国に分類した(たとえば栗原朋信「漢帝国と周辺諸民族」荒松雄ほか編『岩波講座・世界歴史』古代四、岩波書店、一九七〇年、所収、の分類および同『上代日本対外関係の研究』吉川弘文館、一九七八年参照)。

数々の制度的・規範的なあり方を含む中の「指導権」を承認する「外臣国」(『秦律』の用法では、「臣邦」は、中国の「礼・法」という価値システムを受容し、中国によって当該の周辺勢力の側に安全保障や経済・文化面での恩恵を与えられる関係を有する存在であつたとされる。他の史家のより一般的な用法では、中国の、いわゆる「朝貢体制」あるいは「冊封体制」の中に組み入れられた国々ともいえよう(フェアバンク編・前掲書、および西嶋定生『中国古代国家と東アジア世界』東洋大学出版会、一九八三年)。これは、いわば制度・価値観の両面で、「フォーマルな関係をもった朝貢国」ということになる。これを、あえてたとえようとすると、その時間的な永続性や近代的な「国家対等の理念」を別にすれば、このあり方は冷戦後のアメリカにとっての「同盟国」に限りなく類似した存在といえる。」(「3章 中華秩序の膨張論理」同書54ページ)(傍線は引用者)

この著者の最後の一行に傍線を引きましたが、この見解は、私が言語の観点から観察した米中同一性構造論の結論に、図らずも、一致してゐる。要するに、これら二国は共産主義国家なのであり、アメリカも他国を野蛮国とみなしてその華夷秩序を世界普遍性の欠落した土着の民主主義を盾に、あらゆる国に「開

国」と「文明開化」を迫つて来た特に1930年代以降であつたが、そのアメリカ帝国も遂に衰退期に入つたといふことであり、且つさうであれば、中華帝国も今や中華人民共和国といふ名前にはなつてゐるが、二つが同列である以上、一方が衰退すれば他方も衰退といふ成り行きになるのは必定、従ひ、日本はいづれの国家にも追従（ついしょう）すべきでも追従（ついじゅう）すべきでもないことは自明である。わたしたちは歴史といふ教科書を読むべきです。

かくなれば、私たちの国が採用すべき世界史的な国家位置は実に明らかであり、それは、

(1) 東アジアにあつては、対中華帝国に対しては、聖徳太子ルールに則して、「絶域国」又は「不臣の朝貢国」の位置あるいは「隣対」の国の位置を占めて（この位置が最も遠いので此の位置こそ最も望ましい双方に誤解のない、即ちアジア的粉飾の無い位置である）、この不臣の位置を政治的・経済的・文化的に保持することであり、**且つ**（これが肝要）、

(2) 東アジアを含む世界地域にあつては、既に掲げた「日本本位のJaponism for Japan Strategy (JJS)」と題して四角錐図にある優位性ある日本の位置を睨みながら、地球儀でもおくやうにして「近代国家模型図」を机の上に置いて眺めて、中長期戦略を立てることである。この模型図は世界中の近代のみならずそれ以外の国家、たとへば中華帝国といふ古代国家にも通用する模型図です。ローマ帝国でも古代ギリシャの都市国家でも良いやうに出来てゐます。長期戦略の場合には、最低100年・一世紀単位での、日本文明論に立脚した戦略でなければなりません。

アメリカ帝国の弱点については既にディズニーランドであるとして示しましたので、ひとまづ此処までとしておいて（「ディズニーランド」を脱構築する事例は後述します）、中華帝国の弱点は何かといへば、行政官僚が堅固である場合には日本の国の強敵になり得ますが〔註2〕、行政機構が脆弱であるならば、残るのは皇帝だけといふことになるので、今の中華帝国の弱点は国家主席である習近平だといふことになります。ここで、世界個人基準として挙げたことのある人物連鎖を想起して欲しい。これにプーチンを加へます。習近平を動かすプーチンはすぐれた政治家です。

バイデンー習近平ーフランシスコプーチン

〔註2〕

礪波護著『随唐の仏教と国家』および『唐の行政機構と官僚』は大変参考になります。

そして、私の結論は、やはり宗教を軽んじて、宗教を欠いた国家は脆弱であり、確実に滅びるといふものです。何故なら死者がゐないからです。死者を忘れた共同体は滅びます。その歴史に残る最高の実例が、アメリカであり中国である人工国家、人造国家といふわけです。共同体は国家を問はず、生と死の二重構造になつてゐる。

更に加へて、この二大覇権国の現実的な物質的な崩壊の原因は、その国家の会計上の巨大な財政赤字と経常収支の赤字であります（その筈です）、中国がアメリカ・ドルに従属し（ドル・ペッグと呼んでゐる）、アメリカが中国と日本によるドル建ての国債を買つてゐるので倒れずに済んでゐるといふ現実があるのであれば、日本はドル建ての国債の購入をやめて、反対に売りに転ずることが、アメリカと一緒に没落せずに再生するための国家の道です。何故なら、私たち日本民族の太古・古代からの超越論によれば、安部公房の読者には釈迦に説法ですが、通貨には贋の通貨（トークン）ーカジノといふ賭博場に行つてみたら良いーが流通して金銭的な運を賭けてゐるやうに（これは個人の場合の極端な例）、国家が貨幣・moneyを生成して時間の中に存在するためには存在は贋の存在を必要としますので、ドル単一の通貨軸だけでは保たないからです。人民元はおもちゃ銀行の通貨ですから、ドルと等価交換するに値しない。今世界中の人々は我がちに、その贋の通貨を求めて狂奔してゐるといふわけです。日本を主軸にした座標の上で、米と中に関する論点は多数ありますが、それらは専門家にお任せして一旦ここで損得勘定の帳簿を閉ぢることにします。さて、私の以上の考察の結果での此の章の結論は次のものです。

日本の国は、対中国と同じく、アメリカに対しても「不臣の朝貢国」か又は「隣対」の国になるべきなのです。「不臣の朝貢国」の外交の好例が上記のドル建てアメリカ国債売却の提案です。

これが聖徳太子ルール適用の意味するところです。両国に対して聖徳太子ルールの適用を、といふことです。再度お札に聖徳太子を印刷しては如何か。

追記：台湾有事の場合に自衛隊が出動したために、既に中国国内メディアを通じて意図的に間接的に伝達して来てゐるやうに、中国が日本に向けて核ミサイルを発射しますので、この場合の事前準備についてはまた稿を別にして論じません。中国は既に核による先制攻撃をすると軍人の高官が記録に残る形でアメリカに対して明言してゐるので、日本に対しても同じことを考へてゐて、既に事前の工作として日本の政治家・官僚・防衛省の幹部に仄めかしてゐるか明言してゐて、これらの人間たちが沈黙して隠蔽してゐるといふ可能性があります。勿論、マス・メディアは隠蔽して報じないでせう。最大の効果的な戦略は敵国の戦意喪失であるからです。 だつたら日本も仕掛けたら良いのです。ミサイルですから『隣対』の国になつても日本に飛んで来ます。アメリカの核の傘といふ言葉は、日本に核を持たせないための嘘であり詭弁である。何故なら、日本がアメリカに報復として核攻撃すると思つてゐて恐怖してゐるからです。日本一極国家論実現の道は、カク考へれば（洒落です）実に最短の道があり、この道を行かぬ手はありません。何故なら日本の最大の敵は再びアメリカであるこ

とが、この論考を書いてきて明らかになつたからです。如何。私が今総理大臣であつたならば、アメリカの大統領に核ミサイルの最新のを日本に売つてくれと交渉します。売らないと返事をしたら、何故だ？と執拗に聞き返し、徹底的に追及する。そして、その回答如何で、私が納得できる回答なくんば、北朝鮮かイランからでも買ふぞと恫喝する。彼らの心理的なマイナスをプラスにするのです。さうして、この東アジアが日本の発言で動揺してゐる間に時間を稼いで日本は独自に核ミサイルの開発を短日時に完成させる。といふのが、私の描いた最善のシナリオです。最悪のシナリオは？それは、GAME CHANGEせず今のままでゐることです。

4。日本国内個別GAME CHANGE理論

4.1.1 現行日本国憲法無効化論

(続く)

ネット・モナド論 (23)
グレートリセットとは何か？
(version 3.0)

マイケル・レクテンウォルド博士
翻訳：岩田英哉

この論文は今世界で起きてゐるグレートリセットが一体何かを知るためと、今の日本の政権で何が起きてゐるのかを正確に理解するために重要な論文ですので、PJ (Personal Journalist) たる読者に、翻訳してお届けします。私のメモを以下に整理して論点のみ簡単に整理して前座とします。

1. グレートリセットは次の構成員からなつてゐる

- (1) 武漢ウイルス (CORVID-19) - 中華人民共和国
- (2) 気候変動
- (3) SDGsと持続可能性社会
- (4) 国連
- (5) デジタル技術と通信ネットワーク基盤

2. ダボス会議は国連を使つて各国の国境を無視してそれぞれの国内にパートナーシップと云ふ法人格を設立させ (NPOその他)、そこに資金と技術の提供をしてゐる。これが上記2の環境といふ外部からの対国民国家攻撃に並行する、対国民国家内部からの攻撃戦略である。国連は世界各国民国家の敵であるといふことです。国連は我が国の敵である。国内にあるパートナーシップ団体は、従ひ、私たちの敵である。法的規制を考へるべきです。

3. グレートリセットの目的は第四次産業革命である。その有力な手段の一つが電子的技術による支配である。これは現在日本でも進んでゐる (例：デジタル庁、スマート・シティ、デジタル田園都市構想実現会議等々)。

4. これはダボス会議の構成員からいつてみな白人種の富裕層とヨーロッパ地域の貴族たちであり、20世紀までの植民地主義の徹底化である。私たち有色人種は二度と白人種の金融資本家の植民地に身を落として国家ごとEAWACコンプレックス [註] の奴隷になつてはならない。まづ以上のことにNO!といふ声を日本語で発すべき令和4年の春です。

[註]

EAWAC (Europe-America=White people=Anglo-saxon=Christians or Christianity) の複合体といふ意味である。常に世界中の戦争やテロや反乱や暴動はこのコンプレックスの内部要因同士の衝突が原因で起きる。これはハンチントンのいふ文明の衝突「以前」の問題であり、本来は

EAWAC自体が自分で解決すべき問題である。

要するに、

5。上記1の構成因子らと国連と組んでダボス会議から資金提供を受け、技術提供を受けている日本国内の団体は、国民国家としてある日本の敵である。この論文の教へてくれる此の世界普遍性のある、反グローバリズムの視点は非常に重要です。

6。ダボス会議またはグローバリズム用語を覚えて、日々の情報の氾濫に対処することが肝心であること。例：企業全体主義、共産主義資本主義、利害関係者資本主義、等々まだまだ大事な用語が出てきますので暗記して下さい。要するに論文中にも言及が明確になされてあるが、日本の国がこのまま愚かな与党の政策と立法によつて進めば、中国による我が国侵略とは全く別に、日本の国が中国と同じ型の国家になるといふことである。隣の大陸に中華人民共和国といふ、私たちに最悪の例、絶対悪の歴史的な現在する悪例があるわけであるから、私たちは全く正反対に思考し、行動すべきであるといふことがわかります。

7。株主資本主義を否定する場合には（当然さうすべきですが）、更に同時に利害関係者資本主義も否定しなければなりません。正体は同じ枯れ尾花である亡霊は更にウイルスのやうに変異して姿形を変へて今や、マスとネットのメディアを通じて、共産党宣言の第一行のやうに徘徊してあるからです。

その他：

- (1) 論文中に [] を挿入して、意味の付加または簡単な註を入れました。
- (2) また、和訳の後に英文原文を続けてあります。
- (3) この論文中、ダボス会議の使ふ語彙選択上の倒錯と従ひ嘘については敢へて下線を施しました。言葉の意味を歪めて正反対に使つてあるのです。一言でいへば、空虚な言葉、空疎な言葉です。無意味な言葉と、言葉のことですからさう呼んでも良い。私たちは日本語に回帰して、意味不明な言葉は軽々に口にしないことです。

グレートリセットとは何か？

Hillsdale College（ヒルズデール大学発行のImprimis）
2021年12月・第50巻、第12号・マイケル・レクテンウォルド

マイケル・レクテンウォルド最高学術責任者、アメリカの学者



Michael Rectenwaldは、AmericanScholarsの最高学術責任者です。同氏は文学に関する資格を持っています。ピッツバーグ大学で修士号、ケースウエスタンリザーブ大学で修士号と博士号を取得しています。カーネギーメロン大学で文学および文化研究の博士号を取得。ニューヨーク大学、デューク大学、ノースカロライナ中央大学、カーネギーメロン大学、ケースウエスタンリザーブ大学で教鞭をとっています。19世紀の英国世俗主義（例：科学、宗教、文学）を含む多数の本の著者です。また『Google群島』『目覚めを超えて』『思考犯罪』の著者でもあります。

以下は、2021年11月7日にヒルズデール大学で行われた「The Great Reset」（「グレートリセット」）に関する建設的代替案センター会議での講演を基にしています。

グレートリセットは、全体主義の単一世界政府を確立するための広大な左翼の陰謀を想像する陰謀説ですか？いいえ。一部の人々はそれに基づいて陰謀説を紡いだかもしれないということが事実であるにもかかわらず、私たちがこれから見るように、何らかの理由で、グレートリセットは（陰謀説などではなく）本物なのです。

実際、昨年、世界経済フォーラム（WEF：「World Economic Forum」）の創設者兼執行委員長であるクラウスシュワブ（スイスのダボスで毎年開催される世界の政治、経済、文化のエリートで構成される有名な組織）とティエリ・マルレレ

(月刊誌『マンスリー・バロメーター』の共同創設者であり主な著者であり、『COVID-19：The Great Reset』という本を出版しました)が、二人はこの本の中で、グレートリセットを、COVIDパンデミックによって暴露された「資本主義の弱点」に対処する手段として定義しています。

しかし、グレートリセットのアイデアはずつと以前に遡ります。それは少なくとも1971年に「ヨーロッパ経営フォーラム」(「European Management Forum」として設立されたWEFの始まりまでさかのぼることができます。その同じ年に、エンジニアであり経済学者であるシュワブは、彼の最初の本『現代企業の経営』(『Modern Enterprise Management』)を機械工学の領域で刊行したのです。シュワブが後に「利害関係者資本主義」と呼ぶ概念を最初に紹介したのはこの本であり、この本で「現代企業の経営は、長期的な成長と繁栄を達成するために株主だけでなくすべての利害関係者に奉仕しなければならない」と主張したのです。それ以来、シュワブとWEFは利害関係者の資本主義の考えを推進してきました。彼らは、世界中の政府、企業、非政府組織、および国際的な統治機関によって包摂されている利害関係者及び官民パートナーシップと云ふレトリックと政策を信用取引(credit)に使ふことができると云ふことに、これであるのです。

「グレートリセット」という特定のフレーズは、10年以上前に一般に広まり、アメリカの都市研究学者リチャード・フロリダによる2010年の本「グレートリセット」が出版されました。2008年の金融危機の余波で書かれたフロリダの本は、2008年の経済危機は、1870年代の大恐慌や1930年代の大恐慌など、一連の大恐慌の最新のものと主張しました。フロリダは、これらの恐慌を、パラダイム・シフトを起こす体系的なイノベーションと定義したのです〔註〕。

[註]

大恐慌がイノベーションとは狂気の沙汰も金次第といふことがグローバリズムです。中国を使い、ウォール街を使い、東京をつかつて、今に起こすつもりなのです。私たちは備へなければなりません。

フロリダの本が出版されてから4年後、2014年のWEFの年次総会で、シュワブは次のように宣言しました。。。「ダボスで私たちが今年したいと思ふことは、リセットボタンを押すことです」—その後、リセットボタンの画像がWEFのウェブサイトに表示されてゐます。

2018年と2019年に、WEFは現在のグレートリセット・プロジェクトの主なインスピレーションとなった2つのイベントを開催しました。また、明らかな理由から、これは陰謀論者のための新鮮な飼料でもありました。（後者について私を責めないでください。私がしているのは、歴史的事実を関連付けることだけです。）

2018年5月、WEFはジョンズホプキンス健康安全保障センター（Johns Hopkins Center for Health Security）と協力して、全国的なパンデミック対応のシミュレーション（模擬演習）である「CLADEX」を実施しました。具体的には、この演習では、ニパウイルスの遺伝的要素であるCLADE Xと呼ばれる、ヒトパラインフルエンザウイルスの新株の発生を模擬演習しました。模擬演習は、CLADE Xに直面した場合、効果的なワクチンがないことを示すニュースレポートで終了しました〔訳者：これが結論であつたと云ふ意味〕。「専門家によると、最終的には米国で3,000万から4,000万人、世界中で9億人以上、つまり世界人口の12パーセントが死亡する可能性があります。」と云ふ結論で終はつてゐます。明らかに、世界的大流行への準備は整っていました。

2019年10月、WEFはジョンズホプキンスおよびビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団と協力して、新しいコロナウイルスの発生に対する国際的な対応を模擬演習した別のパンデミック演習「イベント201」を実施しました。これは、中国でのCOVIDの発生がニュースになる2か月前、世界保健機構（WHO）がパンデミックを宣言する5か月前であり、無症候性での広がりを組み込むことを含め、将来のCOVIDシナリオに非常に似ているものでした。

CLADE Xとイベント201の模擬演習では、実際のCOVID危機のほぼすべての事態、特に政府、保健機関、メディア、テクノロジー企業、および一般市民による対応が予想され予期されていきました。その対応とその影響には、世界的な封鎖、企業や産業の崩壊、生体認証監視技術の採用、「誤った情報」（misinformation）と戦う（combat：市街戦または遊撃戦）ためのソーシャルメディアの検閲の強調、「権威ある情報源」（authoritative sources）によるソーシャルメディアやレガシーメディアの氾濫、広範な暴動および大量失業が含まれてゐました。

COVIDへの対応として推進されることに加えて、グレートリセットは気候変動への対応として推進されます。2017年、WEFは、「国連の持続可能な開発目標」を達成するために、「私たちはグローバルオペレーティングシステムをリセットする必要があります」というタイトルの論文を発表しました。2019年6月13日、WEFは「持続可能な開発のためのUN 2030アジェンダ」を推進するためのパートナー

シップ（法人格組織）を設立するために国連と覚書（「Memoandum of Understanding」）に署名しました。その後まもなく、WEFは「2030アジェンダのための国連－世界経済フォーラム戦略的パートナーシップ・フレームワーク」を発表し、国連の気候変動アジェンダへの資金提供を約束し、国連が「第4次産業革命のニーズを満たす」ことを支援することを約束しました。」これには「デジタル・ガバナンス」（「電子技術による支配・統治」のための資産と専門知識の提供を含んでゐます。）

2020年6月の第50回年次総会で、WEFはグレートリセットの正式な立ち上げを発表し、1か月後、シュワブとマレットはCOVIDとグレートリセットに関する本を出版しました。この本は、COVIDが「掌握できる機会」について書いてあるのだと宣言しました。「この前例のない機会を利用して、私たちの世界を再想像（reimagine）する必要があります」。「このユニークな一回限りの機会の窓を掌握しなければならない。」そして、「利用するには、その瞬間を捉える必要があります」。そして、「パンデミックに対して「自然に」 [註] 回復力のある業界に身を置くことができるに十分に幸運な人々」にとつては—ここでApple、Google、Facebook、Amazonなどのビッグテック企業を考へて下さい—「危機はより耐えられるものであつたのみならず、最大多数にとって苦痛の時に利益となる機会の源でさへあつたのです。」

〔註〕

これは人為的にとりか人工的にとりかふべきである。そん後の文言を読むと、イギリスのベンサムの述べた民主主義の原理である最大多数の最大幸福の全否定であることがわかります。

グレートリセットは、私が「企業社会主義」と呼び、イタリアの哲学者ジョルジョ・アガンベンが「共産主義資本主義」と呼んだ、途方もない経済的融合、つまりシュワブの利害関係者資本主義の到来を告げることを目的としています。

簡単に言えば、利害関係者資本主義には、株主ではなく利害関係者、つまり企業行動から利益を得るまたは失う立場にある個人やグループに利益をもたらすための、企業の行動修正が含まれます。利害関係者資本主義は、パンデミックや気候変動などの環境問題への企業の対応だけでなく、「生態系内のすでに脆弱な共同体への[企業]の取り組み（commitment）を再考することも要求してゐます」。これは、グレートリセットの「社会正義」の側面です。これに準拠するために、政府、銀行、資産運用会社は「環境・社会・ガバナンス（ESG）指標」を使用して、これに目覚めない企業や商売を市場から徹底的に排除します。ESG指標は、本質的に社会的信用スコアであり、このスコアは、目覚めないまたは準拠していない

ものから、生産の所有権と生産管理を遠ざけることを推進するために使用されま
す。

WEFの多くの強力な「戦略的パートナー」の1つである、世界最大の資産運用会
社であるBlackRock、Incは、利害関係者モデルに厳格にと後れを取っています。
ブラックロックのCEOであるラリー・フィンクは、2021年に「世界中の」CEO
に宛てた手紙の中で、「気候リスクは投資リスクである」と宣言しました。そし
て「持続可能な指標を使つた投資（index investment）の創造によつて、気候リ
スクに対応してゐる企業への投資に向けた資金の流れを加速した。」とフィンク
は書いています。

「私たちは、私たちのクライアントは、あなたの会社の株主であるならば、あな
たがすべての利害関係者のために永続的で持続可能な価値を創造することができ
れば利益を得ると長い間信じてきました。。。[しかし]ますます多くの投
資家が持続可能性に焦点を当てた企業に投資を傾けることを選択するにつれて、
私たちが見ている地殻変動はさらに加速するでしょう。そして、これは資本の配
分方法に劇的な影響を与えるので此の理由から、すべての経営陣と取締役会は、
これが自社の株式にどのように影響するかを検討する必要があります。」

フィンクの手紙は、CEOたちへの報告書以上のものです。それは暗黙の脅威で
す。即ち、目覚せよ、そうでなければ「一体どうなるかは以上のことから明らか
である」。

グレートリセットに関する最近の本の中で、シュワブとマレレットは「新自由主
義」に対して「利害関係者資本主義」を投げかけ、後者を「アイデアと政策のコー
パス [corpus：体の意味、人間を侮蔑して死体と云ふ意味もかけてゐる]」と定
義しています。。。連帯よりも競争、政府の介入よりも創造的破壊、社会福祉よ
りも経済成長を支持する。」言い換えれば、「新自由主義」とは、自由な企業シ
ステムを指します。そのシステムに反対することで、利害関係者資本主義は、国
家との企業協力と経済への政府による介入の大幅な増加を伴います。[註]

[註]

新自由主義反対といふ声を上げるものの中には、グローバリストがゐる現実性のあることをこの
段落は言つてゐることに注意。

グレートリセットの支持者は、私たちの経済的災難に責任のある「新自由主義」
を保持しています。しかし実際には、産業と産業内のプレーヤーに対する政府に

よる依怙鼯員一以前はコーポラティズムまたは経済ファシズムとして知られていたものが、シュワブと彼の同盟国がWEFで古いものだ価値が下がったとしてみながら、実はこのコーポラティズムと経済ファシズムが彼らの実際の源泉であつたのです。[ですから、ダボス会議のグローバリズムは経済ファシズムです。]

承認された企業は必ずしも独占的なモノポリーではありませんが、グレートリセットの傾向は独占とモノポリーに向かっています。つまり、非本質的または非現実的と見なされる産業や生産者を排除しながら、生産と流通を可能な限り少数の優遇企業に帰属させます。このリセットを実現するために、シュワブは次のように書いています。「米国から中国までのすべての国が参加し、石油やガスから技術まで、あらゆる産業が変革されなければなりません。」

グレートリセットの目標を説明するもう1つの方法は、「中国の特徴を備えた資本主義」です。これは、収益性の高い独占と国家を上、社会主義を下に置く2層経済です。

数十年前、中国の経済の営利部門への依存の高まりは、中国共産党（CCP）によってもはや確実に否定できなくなったため、中国の指導部は、経済システムを説明するスローガン「中国の特徴を備えた社会主義」を承認しました。鄧小平によって作成されたこのフレーズは、社会主義政治システムの下でのCCPの営利目的の開発の許可を合理化することを目的としていました。CCPは、中国経済の民営化は、共産主義社会への道のりの一時的な段階であり、必要に応じて100年も続くと考えました。党首は、中国が後進農耕国であったときに社会主義が導入されたのが早すぎたため、このアプローチが中国で必要であったと主張しています。中国は資本家によるブースターショット（爆発的立ち上げのための一撃）を必要としていました。

社会主義のイデオロギー的な偽装を取り除くと、中国のシステムは、資本主義の経済発展によってますます資金提供されている社会主義または共産主義国家に相当します。旧ソビエト連邦と現代中国の違いは、社会主義経済が失敗したことが明らかになったとき、前者は社会主義経済の偽装をあきらめたが、後者はそうではなかったということである。

グレートリセットは、西洋における中国のシステムの発展を表していますが、実際にはその逆です。中国の政治階級は社会主義政治システムから始まり、その後私有の営利生産を導入したが、西側は資本主義から始まり、現在は中国式の政治システムを実施しているからです。この中国式のシステムには、一方では経済への国家の介入が大幅に増加し、他方では中国政府が人口を管理するために使用する

る一種の権威主義的措置が含まれています。

シュワブとマレレは、「ヨーロッパとアメリカの過去5世紀」が私たちに何かを教えてくれたとしたら、それは「深刻な危機が国家の力を高めることに貢献している」と書いています。常にそうであり、COVID-19パンデミックと異なるはずの理由はありません。」

西側政府が採用した厳格な封鎖措置は、WEFの企業社会主義者が夢見ることしかできなかった目標を達成することに成功しました。とりわけ、中小企業の破壊、国家が支持する企業独占者の競争相手の排除です。経済教育財団（Foundation for Economic Education）によると、米国だけでも、封鎖のために何百万もの中小企業が店のドアを閉めました。Yelpのデータによると、これらの閉鎖の60%は現在恒久的です。一方、Amazon、Apple、Facebook、Googleなどの企業は記録的な利益を享受しました。

グレートリセット・アジェンダを前進させる他の進展には、自由な移民、その他の合法的な国境通過のための渡航制限令、連邦準備制度の無制限のお金の印刷とその後のインフレ、課税の増加、国家への依存の増加、サプライチェーンの破壊、ワクチンの絶対命令による義務化による諸制限と失業、及び個人の「炭素手当」（carbon allowance）の見通しが含まれています。[炭素手当をいひ出す国内企業が出てくるでせうが、不買運動を起こすべきか、議会が法的規制をすべきであるか]

このような政策は、グレートリセットの「公平性」の側面を反映しています。この公平性には、世界の貧しい地域の人々と比較して、米国のような裕福な国の人々の経済的地位を下げる必要があります。「目覚めたイデオロギー」（woke ideology）の機能の1つは、先進国の大多数が自分たちの富について罪があると感じさせることです。これは、エリートが下向きにリセットすることを目的としています。但し、毎年ダボスにプライベートジェットで飛んでくるために金持ちであることが必要なエリートたちのための注意書きは除いて、です。

グレートリセットの企業の利害関係者モデルは、そのガバナンスおよび地政学的モデルと重複しています。国家と優遇（依怙鼻眞）企業は官民パートナーシップで結合され、一緒にガバナンスを制御します。この企業と国家のハイブリッドは、国家の政府の構成員にはほとんど責任がありません。

ガバナンス（政府機能）はますます民営化されているだけでなく、さらに重要なことに、企業が政府や政府間組織への主要な付加物として、公の業務の代理をま

かされていることです。国家はそれによって、巨大な企業資産の追加によって拡張、強化、および増強されます。このように、企業は私が「政府の総体らしきもの」(governmentalities)と呼んでいるものになります。そうでなければ、厄介な有権者に答える義務のない、国家機関として振る舞う民間組織です。これらの企業は多国籍企業であるため、一世界政府が正式に制定されたかどうかにかかわらず、国家は本質的にグローバリストになります。

恰も経済的および政府のリセットが十分に劇的ではなかったかの如く、技術的なリセットも、実際、現実的にディストピアのSF小説のように読めます。これは、第4次産業革命(略して4-IR)に基づいています。第1次、第2次、および第3次の産業革命は、機械的、電氣的、およびデジタル革命でした。4-IRは、ビッグデータ、人工知能、機械学習、量子コンピューティング、遺伝学、ナノテクノロジー、ロボット工学など、既存の分野と新しい分野の融合を示しています。予見される結果は、物理的、デジタル的、生物学的世界の融合であり、人間の定義を含む、私たち自身と世界を理解するオントロジー(存在論)への挑戦を提示します。

これについては何もオリジナルはありません。レイ・カーツワイルのようなトランスヒューマニストやシンギュラリタリアン(技術的特異点の予言者)は、これらや他の革命的な発展をずっと前に予測していました。グローバル主義者の4-IRのビジョンの違いは、それをグレートリセットの終わりに合はせて装備品として利用しようとする試みです。

既存の4-IRの開発が将来を指し示すものである場合にはそれが人間の幸福に寄与するという主張は誤りです。これらの開発には、ユーザーに所定の予め決められたニュースや広告を提供し、禁止されたコンテンツをダウンランクまたは排除するインターネット・アルゴリズムが含まれるからです。ソーシャルメディアの中身を検閲し、「危険な」個人や組織をデジタル・グラグ[グラグとはソ連時代の矯正労働収容所のこと]に委託するアルゴリズム。検索エンジンの入力に基づく「キーワード・ワラント」(キーワード差押/家宅捜査/逮捕状)。COVIDに関する規則違反の証跡を追跡し、犯罪者を警察に報告するアプリ。ワクチン未接種の反体制派やその他の反体制派を特定して一斉検挙するためのスキャナーを備えたロボット警察。居住者がそこでは常時監視され(monitored)、定期監視され(surveilled)、記録されるといふデジタル・エンティティなのであり、そして、あらゆる動きに関するデータが収集、照合、保存され、デジタルIDとソーシャルクレジットスコアに添付されるスマートシティ。

つまり、4-IRテクノロジーは、NSAによる監視を子供の遊びのように見せかける一種の技術管理に人間をさらします。シュワブは、私たちの思考や記憶を「デー

「タマイニング」するために、人間の脳をクラウドに直接接続することを目的とした開発を応援しています。成功した場合、これは、人間の自律性を脅かし、自由意志を損なう意思決定に対する技術的習熟を構成することになります。

4-IRは、人間と機械の融合を加速し、遺伝情報を含むすべての情報が共有され、すべての行動、思考、動機が知られ、予測され、場合によっては予め排除される世界を実現しようとしています。企業社会主義をテクノクラートの手から奪ひ取らない限り、4-IRは最終的には仮想空間での、避けられない、体と心の刑務所になるでしょう。

社会秩序の観点から、グレートリセットは共有された運命に含まれること

(inclusion) [註] を約束します。しかし、いわゆる「ネチズン」の従属は、経済的および政治的権利の剥奪、自己および他者に対する過剰な警戒心、社会的孤立、またはハンナ・アーレントが世界規模で「組織化された孤独」と呼んだものを意味します。この組織化された孤独は、封鎖、マスク、社会的距離、そしてワクチン未接種者の社会的排除にすでに現れています。Ad Councilの2020年3月の公共サービス広告のタイトルである「AloneTogether」は、この組織化された孤独感を完璧に捉えています。

[註]

inclusion：今回の東京オリンピックの終会の標語。この用語は今回の東京オリンピックがグローバリズムのダボス会議に密かに乗っ取られてきたことを意味してゐます。国会議事堂内と経済界と官僚たちと電通の中に犯罪者を探せ。

私の最近の本、『Google群島』（『Google Archipelago』）[これはソルジェニーツィンの小説『収容所列島』の題名を思はせる]で、私は左派の権威主義が、初期の世界システムの最先端にあるビッグデジタルと私の呼んでいるもののこれらは政治的イデオロギーと方法論であるとはっきり書いて主張しました。ビッグデジタルは、新興の企業社会主義全体主義（an emerging corporate-socialist totalitarianism）のコミュニケーション、イデオロギー、および技術部門です。グレートリセットは、この世界システムを確立するプロジェクトに付けられた名前です。[註]

[註]

大手IT企業のGAFAM以下のIT企業がこの役割を日々果たしてゐると云ふことを述べてゐる。誰か『Google群島』（『Google Archipelago』）を日本語に訳すものはゐないか？

シュワブとWEFが予測したように、COVID危機はグレートリセットを加速させました。独占的企業は上から経済への掌握力を合体させて強化しましたが、他方同時に、社会主義は下にゐる私たちと云ふ残りの人々のために進歩し続けています。Big Digital、Big Pharma（大手製薬会社）、主流メディア、国内および国際的な保健機関、およびグレートリセットに準拠する人々と協力して、これまで民主的な西側諸国は、一特にオーストラリア、ニュージーランド、オーストリアを考えれば、中国をモデルにした全体主義体制に変わりつつあります。

しかし、私は希望のメモで終わらしましょう。グレートリセットの目標は、自由市場だけでなく、個人の自由と自由意志の抹消に依存しているため、おそらく皮肉なことに、それは持続不可能だからです。全体主義の以前の試みのように、グレートリセットは究極の失敗に運命づけられています。しかし、それは、以前の試みのように、目覚めた [註] その後に多くの破壊を残さないという意味ではありません。これが、今、そして全力を尽くして反対する理由です。

[註]

Wakeには目覚める、気づくと云ふ意味の他に、ジェームス・ジョイスの小説の題名にあるやうに、夜通し起きてゐる、ですから場合によつては御通夜と云ふ意味もある。お金といふ世界統一言語で奢つた人類、否EAWACコンプレックスは再びエホバの神といふ唯一絶対神の怒りに触れて、その金融バベルの塔を破壊されて、お金は再び各国通貨に分解して、国民国家が蘇生することでせう。EUの塔も自壊するでう。反グローバリズム運動とは、彼らの複合的な世界では、この旧約聖書的目標実現のための運動です。しかし、私たちにとつてはさうではない。日本の国にとつて、私たち国民 (people) にとつて—もはやここまで来ると言葉の意味が転倒して、私たち人民 (people) とすら言ひたくなりますが—、この運動は一体何か？と自問自答すれば、それは、バベルの塔に代表されるEAWAC複合体の崩壊促進運動であるといふことになります。とすれば、ここにユダヤ人と日本人の連携して戦ふ場所と意義があるのではないだらうか。如何か。もし古代にユダヤ人の複数の支族が日本に帰化してゐるといふのであれば尚更に。この場合、日本が組むべきユダヤ人は国家を建てたイスラエル・ユダヤであり、金流と共に流浪の民である国際金融資本左翼ユダヤではありません。

What Is the Great Reset?

December 2021 • Volume 50, Number 12 • Michael Rectenwald

Michael Rectenwald Chief Academic Officer, American Scholars

Michael Rectenwald is the chief academic officer for American Scholars. He

has a B.A. from the University of Pittsburgh, an M.A. from Case Western Reserve University, and a Ph.D. in Literary and Cultural Studies from Carnegie Mellon University. He has taught at New York University, Duke University, North Carolina Central University, Carnegie Mellon University, and Case Western Reserve University. He is the author of numerous books, including *Nineteenth-Century British Secularism: Science, Religion, and Literature*; *Google Archipelago*; *Beyond Woke*; and *Thought Criminal*.

The following is adapted from a talk delivered at Hillsdale College on November 7, 2021, during a Center for Constructive Alternatives conference on “The Great Reset.”

Is the Great Reset a conspiracy theory imagining a vast left-wing plot to establish a totalitarian one-world government? No. Despite the fact that some people may have spun conspiracy theories based on it—with some reason, as we will see—the Great Reset is real.

Indeed, just last year, Klaus Schwab, founder and executive chairman of the World Economic Forum (WEF)—a famous organization made up of the world’s political, economic, and cultural elites that meets annually in Davos, Switzerland—and Thierry Malleret, co-founder and main author of the *Monthly Barometer*, published a book called *COVID-19: The Great Reset*. In the book, they define the Great Reset as a means of addressing the “weaknesses of capitalism” that were purportedly exposed by the COVID pandemic.

But the idea of the Great Reset goes back much further. It can be traced at least as far back as the inception of the WEF, originally founded as the European Management Forum, in 1971. In that same year, Schwab, an engineer and economist by training, published his first book, *Modern Enterprise Management in Mechanical Engineering*. It was in this book that Schwab first introduced the concept he would later call “stakeholder capitalism,” arguing “that the management of a modern enterprise must serve not only shareholders but all stakeholders to achieve long-term growth and prosperity.” Schwab and the WEF have promoted the idea of stakeholder capitalism ever since. They can take credit for the stakeholder and public-private partnership rhetoric and policies embraced by

governments, corporations, nongovernmental organizations, and international governance bodies worldwide.

The specific phrase “Great Reset” came into general circulation over a decade ago, with the publication of a 2010 book, *The Great Reset*, by American urban studies scholar Richard Florida. Written in the aftermath of the 2008 financial crisis, Florida’s book argued that the 2008 economic crash was the latest in a series of Great Resets—including the Long Depression of the 1870s and the Great Depression of the 1930s—which he defined as periods of paradigmshifting systemic innovation.

Four years after Florida’s book was published, at the 2014 annual meeting of the WEF, Schwab declared: “What we want to do in Davos this year . . . is to push the reset button”—and subsequently the image of a reset button would appear on the WEF’s website.

In 2018 and 2019, the WEF organized two events that became the primary inspiration for the current Great Reset project—and also, for obvious reasons, fresh fodder for conspiracy theorists. (Don’t blame me for the latter—all I’m doing is relating the historical facts.)

In May 2018, the WEF collaborated with the Johns Hopkins Center for Health Security to conduct “CLADE X,” a simulation of a national pandemic response. Specifically, the exercise simulated the outbreak of a novel strain of a human parainfluenza virus, with genetic elements of the Nipah virus, called CLADE X. The simulation ended with a news report stating that in the face of CLADE X, without effective vaccines, “experts tell us that we could eventually see 30 to 40 million deaths in the U.S. and more than 900 million around the world—twelve percent of the global population.” Clearly, preparation for a global pandemic was in order.

In October 2019, the WEF collaborated with Johns Hopkins and the Bill and Melinda Gates Foundation on another pandemic exercise, “Event 201,” which simulated an international response to the outbreak of a novel coronavirus. This was two months before the COVID outbreak in China became news and five months before the World Health Organization declared it a pandemic, and it closely resembled the future COVID scenario, including incorporating the idea of asymptomatic spread.

The CLADE X and Event 201 simulations anticipated almost every eventuality of the actual COVID crisis, most notably the responses by governments, health agencies, the media, tech companies, and elements of the public. The responses and their effects included worldwide lockdowns, the collapse of businesses and industries, the adoption of biometric surveillance technologies, an emphasis on social media censorship to combat “misinformation,” the flooding of social and legacy media with “authoritative sources,” widespread riots, and mass unemployment.

In addition to being promoted as a response to COVID, the Great Reset is promoted as a response to climate change. In 2017, the WEF published a paper entitled, “We Need to Reset the Global Operating System to Achieve the [United Nations Sustainable Development Goals].” On June 13, 2019, the WEF signed a Memorandum of Understanding with the United Nations to form a partnership to advance the “UN 2030 Agenda for Sustainable Development.” Shortly after that, the WEF published the “United Nations-World Economic Forum Strategic Partnership Framework for the 2030 Agenda,” promising to help finance the UN’s climate change agenda and committing the WEF to help the UN “meet the needs of the Fourth Industrial Revolution,” including providing assets and expertise for “digital governance.”

In June 2020, at its 50th annual meeting, the WEF announced the Great Reset’s official launch, and a month later Schwab and Malleret published their book on COVID and the Great Reset. The book declared that COVID represents an “opportunity [that] can be seized”; that “we should take advantage of this unprecedented opportunity to reimagine our world”; that “the moment must be seized to take advantage of this unique window of opportunity”; and that “[f]or those fortunate enough to find themselves in industries ‘naturally’ resilient to the pandemic”—think here of Big Tech companies like Apple, Google, Facebook, and Amazon—“the crisis was not only more bearable, but even a source of profitable opportunities at a time of distress for the majority.”

The Great Reset aims to usher in a bewildering economic amalgam—Schwab’s stakeholder capitalism—which I have called “corporate socialism” and Italian philosopher Giorgio Agamben has called “communist capitalism.”

In brief, stakeholder capitalism involves the behavioral modification of corporations to benefit not shareholders, but stakeholders—individuals and groups that stand to benefit or lose from corporate behavior. Stakeholder capitalism requires not only corporate responses to pandemics and ecological issues such as climate change, “but also rethinking [corporations’] commitments to already-vulnerable communities within their ecosystems.” This is the “social justice” aspect of the Great Reset. To comply with that, governments, banks, and asset managers use the Environmental, Social, and Governance (ESG) index to squeeze non-woke corporations and businesses out of the market. The ESG index is essentially a social credit score that is used to drive ownership and control of production away from the non-woke or noncompliant.

One of the WEF’s many powerful “strategic partners,” BlackRock, Inc., the world’s largest asset manager, is solidly behind the stakeholder model. In a 2021 letter to CEOs, BlackRock CEO Larry Fink declared that “climate risk is investment risk,” and “the creation of sustainable index investments has enabled a massive acceleration of capital towards companies better prepared to address climate risk.” The COVID pandemic, Fink wrote, accelerated the flow of funds toward sustainable investments:

We have long believed that our clients, as shareholders in your company, will benefit if you can create enduring, sustainable value for all of your stakeholders. . . . As more and more investors choose to tilt their investments towards sustainability-focused companies, the tectonic shift we are seeing will accelerate further. And because this will have such a dramatic impact on how capital is allocated, every management team and board will need to consider how this will impact their company’s stock.

Fink’s letter is more than a report to CEOs. It is an implicit threat: be woke or else.

In their recent book on the Great Reset, Schwab and Malleret pit “stakeholder capitalism” against “neoliberalism,” defining the latter as “a corpus of ideas and policies . . . favouring competition over solidarity, creative destruction over government intervention, and economic growth over social welfare.” In other words, “neoliberalism” refers to the free enterprise system. In opposing that system, stakeholder capitalism entails

corporate cooperation with the state and vastly increased government intervention in the economy.

Proponents of the Great Reset hold “neoliberalism” responsible for our economic woes. But in truth, the governmental favoring of industries and players within industries—what used to be known as corporatism or economic fascism—has been the real source of what Schwab and his allies at the WEF decry.

While approved corporations are not necessarily monopolies, the tendency of the Great Reset is toward monopolization—vesting as much control over production and distribution in as few favored corporations as possible, while eliminating industries and producers deemed non-essential or inimical. To bring this reset about, Schwab writes, “[e]very country, from the United States to China, must participate, and every industry, from oil and gas to tech, must be transformed.”

Another way of describing the goal of the Great Reset is “capitalism with Chinese characteristics”—a two-tiered economy, with profitable monopolies and the state on top and socialism for the majority below.

Several decades ago, as China’s growing reliance on the for-profit sectors of its economy could no longer be credibly denied by the Chinese Communist Party (CCP), its leadership approved the slogan “socialism with Chinese characteristics” to describe its economic system. Formulated by Deng Xiaoping, the phrase was meant to rationalize the CCP’s allowance of for-profit development under a socialist political system. The CCP considered the privatization of the Chinese economy to be a temporary phase—lasting as long as 100 years if necessary—on the way to a communist society. Party leaders maintain that this approach has been necessary in China because socialism was introduced too early there, when China was a backward agrarian country. China needed a capitalist booster shot.

Stripped of its socialist ideological pretensions, the Chinese system amounts to a socialist or communist state increasingly funded by capitalist economic development. The difference between the former Soviet Union and contemporary China is that when it became obvious that a socialist economy had failed, the former gave up its socialist economic pretenses,

while the latter has not.

The Great Reset represents the development of the Chinese system in the West, but in reverse. Whereas the Chinese political class began with a socialist political system and then introduced privately held for-profit production, the West began with capitalism and is now implementing a Chinese-style political system. This Chinese-style system includes vastly increased state intervention in the economy, on the one hand, and on the other, the kind of authoritarian measures that the Chinese government uses to control its population.

Schwab and Malleret write that if “the past five centuries in Europe and America” have taught us anything, it is that “acute crises contribute to boosting the power of the state. It’s always been the case and there is no reason it should be different with the COVID-19 pandemic.”

The draconian lockdown measures employed by Western governments managed to accomplish goals of which corporate socialists in the WEF could only dream—above all, the destruction of small businesses, eliminating competitors for corporate monopolists favored by the state. In the U.S. alone, according to the Foundation for Economic Education, millions of small businesses closed their doors due to the lockdowns. Yelp data indicates that 60 percent of those closures are now permanent. Meanwhile companies like Amazon, Apple, Facebook, and Google enjoyed record gains.

Other developments that advance the Great Reset agenda have included unfettered immigration, travel restrictions for otherwise legal border crossing, the Federal Reserve’s unrestrained printing of money and the subsequent inflation, increased taxation, increased dependence on the state, broken supply chains, the restrictions and job losses due to vaccine mandates, and the prospect of personal carbon allowances.

Such policies reflect the “fairness” aspect of the Great Reset—fairness requires lowering the economic status of people in wealthier nations like the U.S. relative to that of people in poorer regions of the world. One of the functions of woke ideology is to make the majority in developed countries feel guilty about their wealth, which the elites aim to reset downwards—except, one notices, for the elites themselves, who need to be rich in order

to fly in their private jets to Davos each year.

The Great Reset's corporate stakeholder model overlaps with its governance and geopolitical model: states and favored corporations are combined in public-private partnerships and together have control of governance. This corporate-state hybrid is largely unaccountable to the constituents of national governments.

Governance is not only increasingly privatized, but also and more importantly, corporations are deputized as major additions to governments and intergovernmental bodies. The state is thereby extended, enhanced, and augmented by the addition of enormous corporate assets. As such, corporations become what I have called "governmentalities"—otherwise private organizations wielded as state apparatuses, with no obligation to answer to pesky voters. Since these corporations are multinational, the state essentially becomes globalist, whether or not a one-world government is ever formalized.

As if the economic and governmental resets were not dramatic enough, the technological reset reads like a dystopian science fiction novel. It is based on the Fourth Industrial Revolution—or 4-IR for short. The first, second, and third industrial revolutions were the mechanical, electrical, and digital revolutions. The 4-IR marks the convergence of existing and emerging fields, including Big Data, artificial intelligence, machine learning, quantum computing, genetics, nanotechnology, and robotics. The foreseen result will be the merging of the physical, digital, and biological worlds, which presents a challenge to the ontologies by which we understand ourselves and the world, including the definition of a human being.

There is nothing original about this. Transhumanists and Singularitarians (prophets of technological singularity) such as Ray Kurzweil forecasted these and other revolutionary developments long ago. What's different about the globalists' vision of 4-IR is the attempt to harness it to the ends of the Great Reset.

If already existing 4-IR developments are any indication of the future, then the claim that it will contribute to human happiness is false. These developments include Internet algorithms that feed users prescribed news

and advertisements and downrank or exclude banned content; algorithms that censor social media content and consign “dangerous” individuals and organizations to digital gulags; “keyword warrants” based on search engine inputs; apps that track and trace COVID violations and report offenders to the police; robot police with scanners to identify and round up the unvaccinated and other dissidents; and smart cities where residents are digital entities to be monitored, surveilled, and recorded, and where data on their every move is collected, collated, stored, and attached to a digital identity and a social credit score.

In short, 4-IR technologies subject human beings to a kind of technological management that makes surveillance by the NSA look like child’s play. Schwab goes so far as to cheer developments that aim to connect human brains directly to the cloud for the sake of “data mining” our thoughts and memories. If successful, this would constitute a technological mastery over decisionmaking that would threaten human autonomy and undermine free will.

The 4-IR seeks to accelerate the merging of humans and machines, resulting in a world in which all information, including genetic information, is shared, and every action, thought, and motivation is known, predicted, and possibly precluded. Unless taken out of the hands of corporate-socialist technocrats, the 4-IR will eventually lead to a virtual and inescapable prison of body and mind.

In terms of the social order, the Great Reset promises inclusion in a shared destiny. But the subordination of so-called “netizens” implies economic and political disenfranchisement, a hyper-vigilance over self and others, and social isolation—or what Hannah Arendt called “organized loneliness”—on a global scale. This organized loneliness is already manifest in lockdowns, masking, social distancing, and the social exclusion of the unvaccinated. The title of the Ad Council’s March 2020 public service announcement—“Alone Together” perfectly captures this sense of organized loneliness.

In my recent book, *Google Archipelago*, I argued that leftist authoritarianism is the political ideology and modus operandi of what I call Big Digital, which is on the leading edge of a nascent world system. Big Digital is the communications, ideological, and technological arm of an emerging

corporate-socialist totalitarianism. The Great Reset is the name that has since been given to the project of establishing this world system.

Just as Schwab and the WEF predicted, the COVID crisis has accelerated the Great Reset. Monopolistic corporations have consolidated their grip on the economy from above, while socialism continues to advance for the rest of us below. In partnership with Big Digital, Big Pharma, the mainstream media, national and international health agencies, and compliant populations, hitherto democratic Western states—think especially of Australia, New Zealand, and Austria—are being transformed into totalitarian regimes modeled after China.

But let me end on a note of hope. Because the goals of the Great Reset depend on the obliteration not only of free markets, but of individual liberty and free will, it is, perhaps ironically, unsustainable. Like earlier attempts at totalitarianism, the Great Reset is doomed to ultimate failure. That doesn't mean, however, that it won't, again like those earlier attempts, leave a lot of destruction in its wake—which is all the more reason to oppose it now and with all our might.

縄文紀元論

Topologyで日本人を読み解く（31）

5.25 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲

5.26 日高見国と播磨国の関係：ダイダラボッチ

目次

I 縄文紀元日本語論

1. 日本語と漢語の関係

Intermezzo：何故日本にはキリスト教徒が全人口の1%しかみないのか？

2. 日本語の音義と概念の関係：五十音表とは何か

3. 五十音表を記号化する

4. 日本人の言語宇宙

5. 古事記の宇宙観

5.1 高天原とは何か1

5.2 カミとは何か1

5.3 高天原とは何か2

5.4 日本語の特殊の中の普遍

5.5 海の民のお祭りと超越論の関係

5.6 天照大神とは何か

5.7 月読命とは何か

5.7.1 月とは何か

5.7.2 月読命とは何か

5.7.3 月読神社とは何か

5.7.4 ヤシロとは何か

5.7.5 「鹿座神影図」を読み解く

5.7.6 磐座と注連縄の関係

5.7.7 亀の甲羅とは何か

5.7.8 習合とは何か

5.8 カタカナとひらかなの関係

Intermezzo 2：海風之大刀（アマナギ・ノ・タチ）は一体どんな姿をしてみるのが

5.9 日本位相習合史

5.10 何故国家は単数または複数の神とともに生まれるのか

5.11 かごめかごめの歌は一体何を歌っているのか

5.12 縄文土偶とは一体何か

5.13 習合といふ漢意をやまところでは何といふのか

5.13.1 位相史のための紀元の分類

5.13.2 淤能碁呂島とは何か

5.15 縄文土器とは何か

5.16 大祓へを読み解く

5.16.1 何故私たちは御祓を必要とするのか

5.16.2 大祓へに唱へられる「聞こし召す」とは何か

5.16.3 「聞こし召す」前に「しろし召す」がある

(1) 第一段：高天原八百万神大祓ひ会議

(2) 第二段：大倭日高見国内の天津罪と国津罪の分類と大祓

(3) 第三段：大倭日高見国は大祓の結果どうなつたか

5.16.4 八の音義は何を意味するか

Intermezzo 3 伊勢神宮とは何か

Intermezzo 3-1 伊勢神宮をやまと言葉で読む

5.16.4-1 八の音義は何を意味するか2



青字は既論の章、赤字は今回論ずる章、黒字はこれから論じる章

- 5.16.5 誰が「しろし召し」誰が「聞こし召す」のか
- 5.17 いほりとは何か
- 5.18 「蟲めづる姫君」はカタカナとひらかなを如何に使ひ分けてゐるか
- 5.19 クラとは何か
- 5.22 「日本列島位相史」の最新版を
- 5.23 神武天皇のやまとことばの意味は何か
- 5.24 世界史の中の神武天皇
- 5.25 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲
- 5.26 日高見国と播磨国の関係：ダイダラボッチ
- 5.27 日本人はどこから来たか

5.25 日高見国と日向国の関係：三浦一族の活動範囲

次号を待たれたし

5.26 日高見国と播磨国の関係：ダイダラボッチ

編集後記

●巻頭詩（35）：孤独より 其の七：安部公房：沈黙時代の安部公房といふ感じがします。存在の中に隠れ棲んでゐる。●『都市への回路』論（6）：（4）「試験管ベビー」として生まれた副院長の秘書の女：よく考へてゐる安部公房といふ感じがします。いふことはありません。人間関係の崩壊点に立つ女性です。フランスのTVドラマを見てゐて、このやうな女性がフランスには出現するのではないかと思ひました。といふのはフランスでは男の同性愛者同士の結婚が合法化されてゐて、それでは子供はどうするかといふと、これまた他の男性の精子を別の女性に受胎させて生まれた子供を養子にするといふ複雑な手続きを現実には彼奴等は実行してゐるからです。何か生きてゐる男も女も、フランス人の世界では、この愛情のない男女が生きてゐる世界だとみえます。実際彼奴等は簡単に男女の秘め事を致してしまふのだ。●SF作家荒巻義雄氏との賀状のやりとり：これも頂いた年賀状メールに往信して、同氏の了解を戴き、掲載したものです。おもひもかけぬ令和4年予測となりました。●『文章読本』論（11）：井上ひさし（2）：おやすみします。●第一回オンライン安部公房読書会報告：読書会は成功裏に終りました。また企画します。これが読みたいといふ作品があればご連絡下さい。●私の本棚（39）：西村幸祐/ロバート・D・エルドリッチ共著『中国侵攻で機能不全に陥る日米安保』を読む：良い対談でした。日米の個人が、お互ひに専門家とはいへ非対称ではなく（今流行りの言葉）、対称的な議論になつてゐることが、両国の関係の深化を示してゐます。しかし、誰か日本人がアメリカは敵国だと今いはねばならぬといふ役目を私が引き受けて次の日本一極国家論の今回の文章とはなりました。●日本一極国家論（続篇）：GAME CHANGE理論（4）：自分でもおもひがけない展開の文章となりました。それには上記の対談と「グレードリセット」の論文を読んだ影響が濃厚です。日本人の知らぬまにダボス会議は東京オリンピックまで乗つ取つてゐたとは。とにかく、あなたの身を守るのは言葉です。意味不明の英語は徹底的に追求せよ。カタカナ語も同様です。Inclusion? ふざけるな! といひたいのである。グローバリズムなるものは人間を侮蔑してゐる。●ネット・モナド論（23）：グレートリセットとは何か?：マイケル・レクテンウォルド博士の論文です。とにかくお読み下さい。世界で跳梁跋扈してゐるグローバリズムが陰謀論ではないことがよくわかります。東京オリンピックのその礎いてき実例です。

差出人:

安部公房の広場

〒182-0003東京都調布市若葉町
「閉ざされた無限」

安部公房の広場

連絡先: civa.iwata@gmail.com



【もぐら通信の収蔵機関】

国立国会図書館
「何處にも無い図書館」

【もぐら通信の編集方針】

1. もぐら通信は、安部公房ファンの参集と交歓の場を提供し、その手助けや下働きをすることを通して、そこに喜びを見出すものです。
2. もぐら通信は、安部公房という人間とその思想及びその作品の意義と価値を広く知ってもらうように努め、その共有を喜びとするものです。
3. もぐら通信は、安部公房に関する新しい知見の発見に努め、それを広く紹介し、その共有を喜びとするものです。
4. 編集者自身が楽しんで、遊び心を以て、もぐら通信の編集及び発行を行うものです。